

市民の食育に関するアンケート調査
報告書

令和6年9月

福岡市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 調査結果利用上の注意	1
II 調査結果	2
1 基本属性	2
2 食育について	3
(1) 食育という言葉や意味の認知度	3
(2) 食育への関心度	6
(3) 食育月間・食育の日の認知度	9
3 食事のとり方について	11
(1) 朝食の摂取状況	11
(2) 朝食を食べない理由	14
(3) 朝食の内容	16
(4) 食事の速さ	18
(5) よく噛んで食べているか	21
(6) 食生活への評価	24
(7) 主食・主菜・副菜がそろった食事の接種状況	26
(8) 主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由	29
4 食に関わる習慣について	32
(1) 生活習慣病予防・改善等の実践状況について	32
(2) 食生活の改善や食育推進のために飲食店や職場・学校の食堂、市販のお弁当などに望むこと	37
(3) 一日の全ての食事を一人で食べることがあるか	39
5 郷土の食と食文化について	41
(1) 福岡の郷土料理の認知度	41
(2) 行事食や郷土料理を作ったり食べたりしているか	45
6 食品ロスについて	47
(1) 「食品ロス」の認知度	47
(2) 食品ロスを軽減するために実践していること	50
7 食の安全について	53
(1) 安全な食生活を送るための取り組みの実践状況	53

8	地産地消について.....	61
	(1) 農水産物の入手経路.....	61
	(2) 農水産物は市内産や県内産を買うようにしているか.....	63
	(3) 市内産や県内産のものを買わない理由.....	65
9	農林漁業体験について.....	67
	(1) 自分や家族で農林漁業体験に参加した人の有無.....	67
10	食に関する情報への関心について.....	70
	(1) 食に関する情報で関心があるもの.....	70
11	新型コロナウイルス感染症の影響について.....	72
	(1) 食生活の質の低下や、食費を切り詰めざるを得なかった状況の有無.....	72

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、令和4年度に策定した「第4次福岡市食育推進計画」の中間評価を着実かつ効率的に行うために実施するものである。

2 調査設計

- | | |
|-----------|-------------------------|
| (1) 調査地域 | 福岡市全域 |
| (2) 調査対象者 | 福岡市に居住する満18歳以上の男女3,500人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査期間 | 令和6年6月17日～令和6年6月28日 |
| (3) 有効回収数 | 1,240（有効回答率35.4%） |

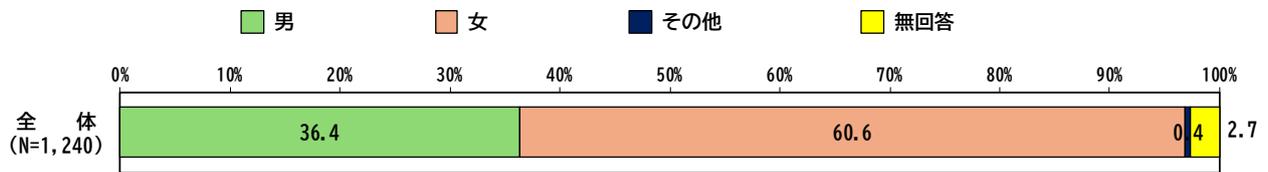
3 調査結果利用上の注意

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する質問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。同様に、2つ以上の回答を要する質問（複数回答）の場合、その回答数の合計は数表上の「全体」の値と異なる場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率計算上の基数（標本数）である。
N：標本全数
n：該当数（その質問に回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合などは『』としている。
- (5) 属性別の分析等において、基数（標本数）が少ないもの（目安として30サンプル未満）については、分析コメントを割愛する場合がある。
- (6) 以下のとおりこれまでに実施した過去の調査と比較分析を行っている。前回、前々回の調査結果の記載がない質問は、今回調査での新規の質問である。
 - ・令和3年3月 市民の食育に関するアンケート調査
 - ・平成27年11～12月 市民の食育に関するアンケート調査
- (7) 国の全国調査と比較しているが、出典は以下のとおりである。
 - ・令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）
 - ・令和5年度 第2回消費者生活意識調査（消費者庁 消費者教育推進課 食品ロス削減推進室）

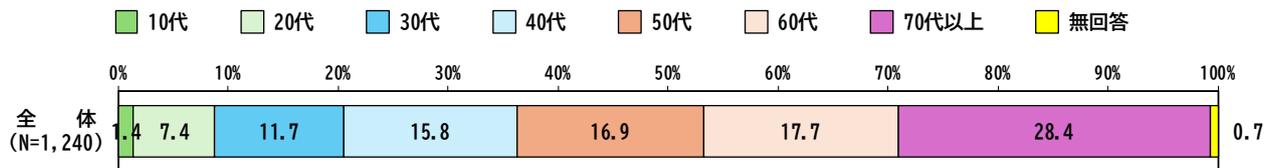
II 調査結果

1 基本属性

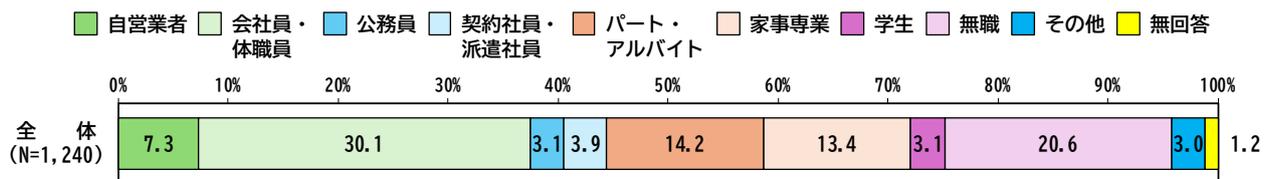
(1) 性別



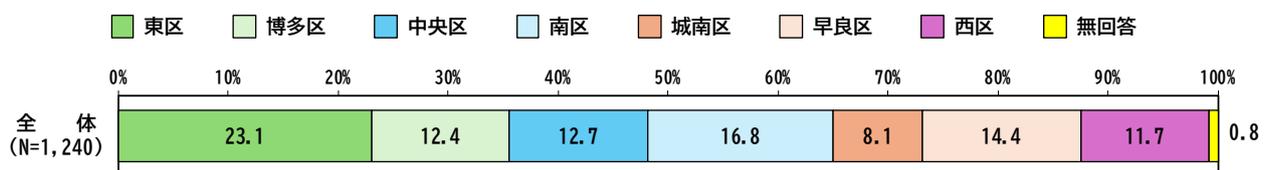
(2) 年齢



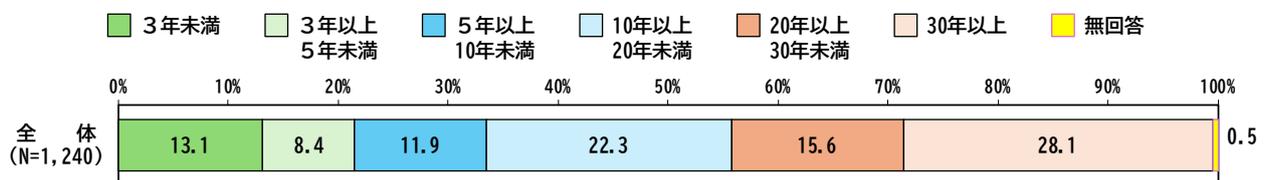
(3) 職業



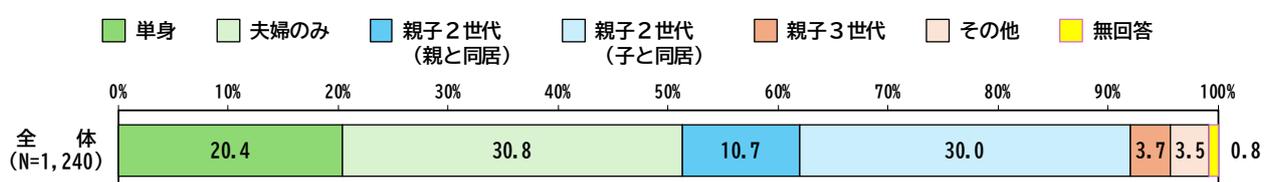
(4) 居住区



(5) 居住年数



(6) 家族構成



2 食育について

(1) 食育という言葉や意味の認知度

問1 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

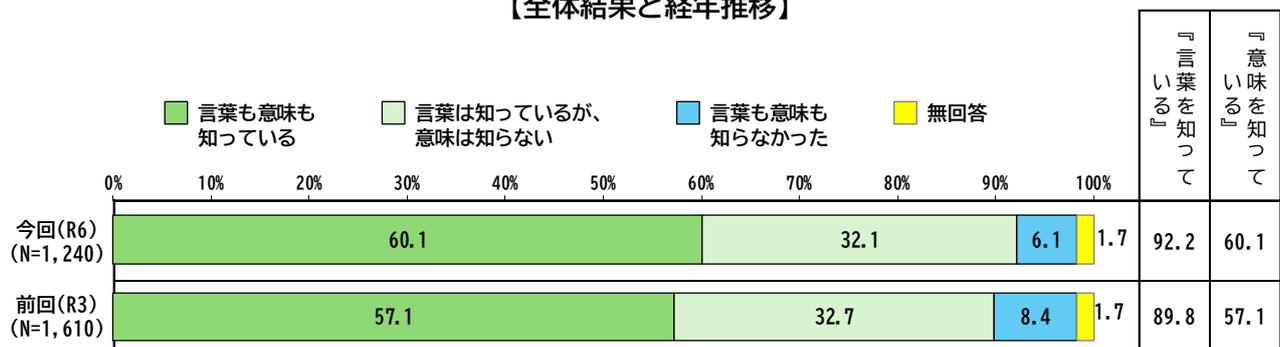
■全体結果

「食育」という言葉やその意味については、「言葉も意味も知っている」が60.1%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が32.1%、「言葉も意味も知らなかった」が6.1%となっており、『言葉を知っている』は92.2%、『意味を知っている』は60.1%となっている。

■経年推移

『言葉を知っている』は、前回 89.8%、今回 92.2%、『意味を知っている』は、前回 57.1%、今回 60.1%となっており、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



(注1) 『言葉を知っている』 = 「言葉も意味も知っている」 + 「言葉は知っているが、意味は知らない」

(注2) 『意味を知っている』 = 「言葉も意味も知っている」

■属性別特徴

- 性別にみると、女性では『言葉を知っている』が95.7%と男性86.5%より高く、『意味を知っている』も65.9%と男性49.7%より高くなっている。
- 年齢別にみると、『言葉を知っている』は70代以上で86.1%となっているが、他の年齢層は9割台にあり、大きな差はみられない。また、『意味を知っている』は40代、50代では7割台だが、20代、60代では5割台、70代以上では4割台と低く、年齢層による差がみられる。
- 男性年齢別にみると、『言葉を知っている』は50代以上で、『意味を知っている』は20代、60代以上で他の年齢層に比べ低くなっている。
- 女性年齢別にみると、『言葉を知っている』は全年齢層で9割台（60代は100%）と高くなっているが、『意味を知っている』は20代、70代以上では5割台と他の年齢層に比べ低くなっている。

【属性別食育という言葉や意味の認知度（性別、年齢別、性・年齢別）】

単位：%

		サンプル数	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない	無回答	『言葉を知っている』	『意味を知っている』
全体		1240	60.1	32.1	6.1	1.7	92.2	60.1
性別	男性	451	49.7	36.8	12.4	1.1	86.5	49.7
	女性	751	65.9	29.8	2.4	1.9	95.7	65.9
	その他	5	80.0	20.0	-	-	100.0	80.0
	無回答	33	66.7	21.2	6.1	6.1	87.9	66.7
年齢別	10代	17	52.9	47.1	-	-	100.0	52.9
	20代	92	52.2	40.2	6.5	1.1	92.4	52.2
	30代	145	62.1	33.8	3.4	0.7	95.9	62.1
	40代	196	70.9	25.5	3.1	0.5	96.4	70.9
	50代	210	74.8	18.6	4.3	2.4	93.4	74.8
	60代	219	57.5	37.4	5.0	-	94.9	57.5
	70代以上	352	48.9	37.2	10.8	3.1	86.1	48.9
	無回答	9	44.4	22.2	11.1	22.2	66.6	44.4
男性年齢別	10代	8	62.5	37.5	-	-	100.0	62.5
	20代	33	45.5	48.5	6.1	-	94.0	45.5
	30代	43	51.2	39.5	9.3	-	90.7	51.2
	40代	69	63.8	31.9	4.3	-	95.7	63.8
	50代	79	69.6	17.7	11.4	1.3	87.3	69.6
	60代	88	39.8	47.7	12.5	-	87.5	39.8
	70代以上	131	36.6	39.7	20.6	3.1	76.3	36.6
女性年齢別	10代	9	44.4	55.6	-	-	100.0	44.4
	20代	58	55.2	36.2	6.9	1.7	91.4	55.2
	30代	98	66.3	31.6	1.0	1.0	97.9	66.3
	40代	121	75.2	21.5	2.5	0.8	96.7	75.2
	50代	126	77.0	19.8	-	3.2	96.8	77.0
	60代	127	69.3	30.7	-	-	100.0	69.3
	70代以上	211	55.5	36.5	4.7	3.3	92.0	55.5
		無回答	1	100.0	-	-	-	100.0

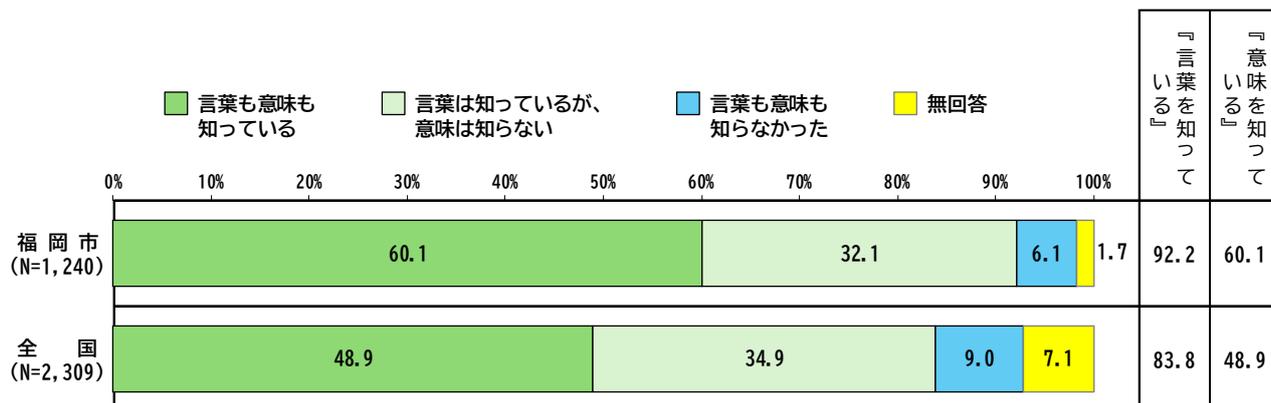
(※) 10代はサンプル数が少ないため、分析では触れないようにする。(以下、同様。)

《全国調査との比較》

全国調査と比較すると、「言葉も意味も知っている」は、福岡市では60.1%、全国では48.9%となっており、福岡市の方が11.2ポイント高くなっている。

また、「言葉は知っているが、意味は知らない」は、福岡市では32.1%、全国では34.9%となっており、全国の方が2.8ポイント高くなっている。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問1 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。（〇は1つだけ）

(2) 食育への関心度

問 1-2 《問1で「1」「2」と回答した方におたずねします。》

あなたは、食育について関心がありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

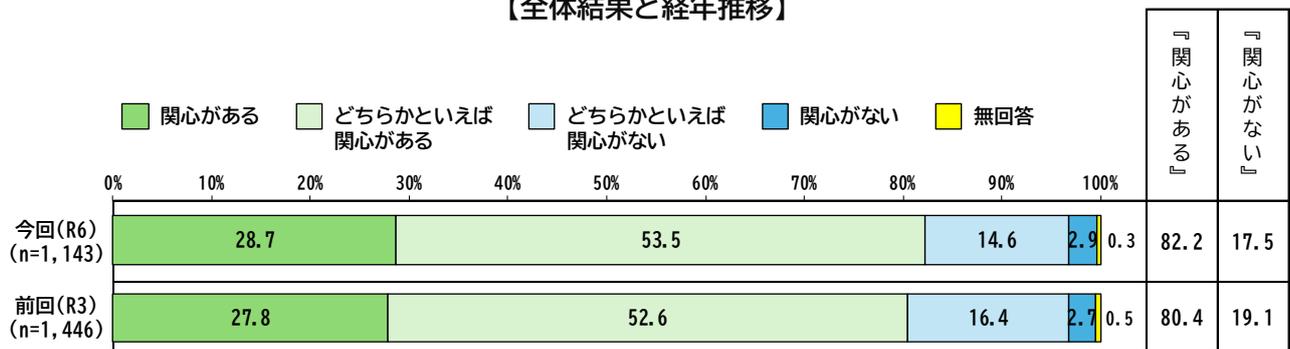
■全体結果

食育の言葉や意味を知っている人について、食育に対する関心を尋ねたところ、「関心がある」が28.7%、「どちらかといえば関心がある」が53.5%、両者を合計した『関心がある』は82.2%となっている。一方、『関心がない』は17.5%（「関心がない」2.9%+「どちらかといえば関心がない」14.6%）となっている。

■経年推移

『関心がある』は、前回80.4%、今回82.2%となっており、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



(注1) 『関心がある』 = 「関心がある」 + 「どちらかといえば関心がある」

(注2) 『関心がない』 = 「関心がない」 + 「どちらかといえば関心がない」

■属性別特徴

- 性別にみると、女性では『関心がある』が87.2%と、男性73.1%より高くなっている。
- 年齢別にみると、20代で『関心がある』が76.5%と他の年齢層に比べ低くなっている。
- 男性年齢別にみると、20代で『関心がある』が6割台、30代以上でも7割台と、全体の8割台よりも低くなっている。
- 女性年齢別にみると、50代で『関心がある』が92.6%と他の年齢層に比べ高くなっている。

【属性別食育への関心度】

単位：％

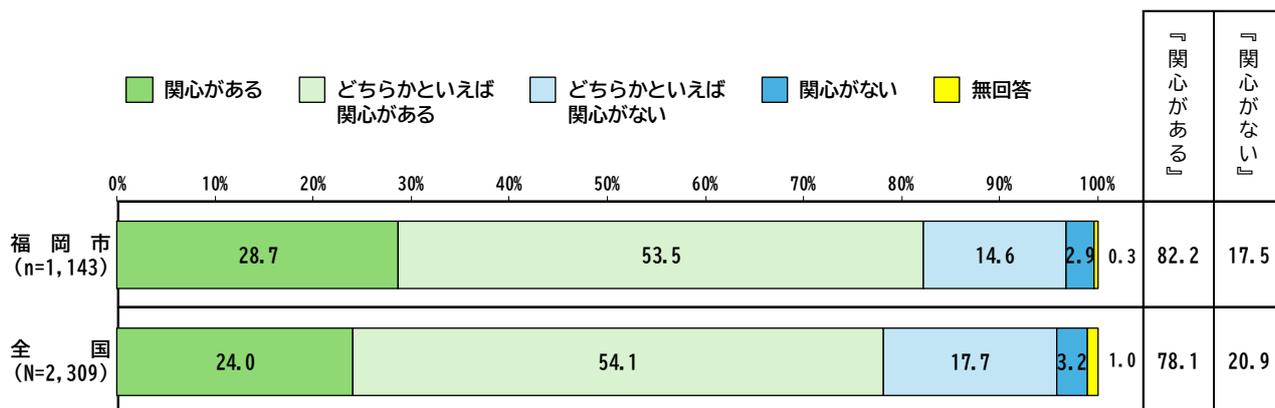
	サンプル数	関心がある	どちらかといえば関心がある		どちらかといえば関心がない		無回答	『関心がある』	『関心がない』
			どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない			
全 体	1143	28.7	53.5	14.6	2.9	0.3	82.2	17.5	
性別	男性	390	25.4	47.7	20.0	6.2	0.8	73.1	26.2
	女性	719	30.2	57.0	11.7	1.0	0.1	87.2	12.7
	その他	5	80.0	20.0	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	29	27.6	48.3	17.2	6.9	-	75.9	24.1
年齢別	10代	17	5.9	47.1	41.2	5.9	-	53.0	47.1
	20代	85	22.4	54.1	17.6	4.7	1.2	76.5	22.3
	30代	139	25.2	56.8	14.4	3.6	-	82.0	18.0
	40代	189	30.2	53.4	14.8	1.6	-	83.6	16.4
	50代	196	32.1	54.6	11.7	1.5	-	86.7	13.2
	60代	208	24.0	56.3	15.9	3.4	0.5	80.3	19.3
	70代以上	303	33.3	49.8	13.2	3.0	0.7	83.1	16.2
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	16.7	-	66.6	33.4
男性年齢別	10代	8	-	50.0	37.5	12.5	-	50.0	50.0
	20代	31	19.4	48.4	22.6	6.5	3.2	67.8	29.1
	30代	39	23.1	56.4	7.7	12.8	-	79.5	20.5
	40代	66	24.2	48.5	24.2	3.0	-	72.7	27.2
	50代	69	31.9	43.5	20.3	4.3	-	75.4	24.6
	60代	77	15.6	54.5	22.1	6.5	1.3	70.1	28.6
	70代以上	100	34.0	41.0	18.0	6.0	1.0	75.0	24.0
女性年齢別	10代	9	11.1	44.4	44.4	-	-	55.5	44.4
	20代	53	22.6	58.5	15.1	3.8	-	81.1	18.9
	30代	96	26.0	57.3	16.7	-	-	83.3	16.7
	40代	117	33.3	56.4	9.4	0.9	-	89.7	10.3
	50代	122	31.1	61.5	7.4	-	-	92.6	7.4
	60代	127	29.1	58.3	11.8	0.8	-	87.4	12.6
	70代以上	194	33.5	53.6	10.8	1.5	0.5	87.1	12.3
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	0.0

《全国調査との比較》

全国調査と比較すると、『関心がある』は、福岡市では 82.2%だが、全国では 78.1%となっており、福岡市の方が4.1ポイント高くなっている。

ただし、本問は、福岡市では、食育の「言葉も意味も知っている」、または「言葉は知っているが、意味は知らない」と回答した人が対象であるのに対し、全国調査では全員が回答対象となっていることにも留意する必要がある。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問2（全員回答）あなたは、「食育」に関心がありますか、それとも関心がありませんか。
（○は1つだけ）

(3) 食育月間・食育の日の認知度

問2 あなたは、「食育月間（毎年6月）」「食育の日（毎月19日）」を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

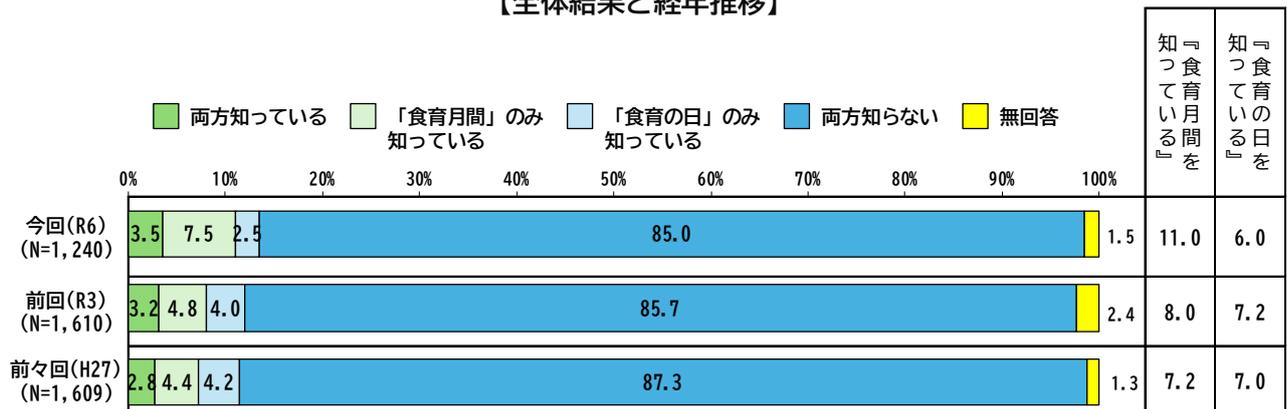
■全体結果

食育月間と、食育の日については、「両方知っている」は3.5%、「食育月間」のみ知っているが7.5%、「食育の日」のみ知っているが2.5%と、いずれも1割に満たず、「両方知らない」が85.0%と最も高くなっている。したがって、『食育月間を知っている』は11.0%、『食育の日を知っている』は6.0%にとどまっている。

■経年推移

- 『食育月間を知っている』は、前々回7.2%、前回8.0%、今回は11.0%と増加傾向にある。また、『食育の日を知っている』は、前々回7.0%、前回7.2%、今回6.0%と、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



(注1) 『食育月間を知っている』 = 「両方知っている」 + 「食育月間のみ知っている」

(注2) 『食育の日を知っている』 = 「両方知っている」 + 「食育の日のみ知っている」

■属性別特徴

- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、70代以上で『食育月間を知っている』が15.9%と年齢層の中で最も高く、『食育の日を知っている』は20代の7.6%に次いで7.4%と高くなっている。
- 男性年齢別にみると、30代、40代で『食育月間を知っている』、『食育の日を知っている』が1割台と、他の年齢層よりも高くなっている。
- 女性年齢別にみると、70代以上で『食育月間を知っている』が19.9%、『食育の日を知っている』が8.0%と年齢層の中で最も高くなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心がある人の方が関心がない人よりも、『食育月間を知っている』、『食育の日を知っている』が高くなっている。

【属性別食育月間・食育の日の認知度】

単位：％

		サンプル数	両方知っている	「食育月間」 知っているのみ	「食育の日」 知っているのみ	両方知らない	無回答	知「食育月間」 知っている	知「食育の日」 知っている
全 体		1240	3.5	7.5	2.5	85.0	1.5	11.0	6.0
性別	男性	451	4.0	4.0	2.2	88.2	1.6	8.0	6.2
	女性	751	3.2	9.5	2.7	83.2	1.5	12.7	5.9
	その他	5	20.0	20.0	-	60.0	-	40.0	20.0
	無回答	33	3.0	9.1	3.0	84.8	-	12.1	6.0
年齢別	10代	17	5.9	11.8	5.9	76.5	-	17.7	11.8
	20代	92	2.2	3.3	5.4	89.1	-	5.5	7.6
	30代	145	4.1	6.2	2.8	86.2	0.7	10.3	6.9
	40代	196	4.6	6.1	1.5	87.2	0.5	10.7	6.1
	50代	210	2.4	4.3	1.9	89.5	1.9	6.7	4.3
	60代	219	3.2	6.4	0.9	87.7	1.8	9.6	4.1
	70代以上	352	4.0	11.9	3.4	78.4	2.3	15.9	7.4
	無回答	9	-	22.2	-	77.8	-	22.2	0.0
男性年齢別	10代	8	-	12.5	-	87.5	-	12.5	0.0
	20代	33	3.0	-	3.0	93.9	-	3.0	6.0
	30代	43	7.0	4.7	2.3	86.0	-	11.7	9.3
	40代	69	8.7	2.9	1.4	87.0	-	11.6	10.1
	50代	79	2.5	2.5	2.5	89.9	2.5	5.0	5.0
	60代	88	3.4	1.1	-	92.0	3.4	4.5	3.4
	70代以上	131	2.3	7.6	3.8	84.7	1.5	9.9	6.1
女性年齢別	10代	9	11.1	11.1	11.1	66.7	-	22.2	22.2
	20代	58	-	5.2	6.9	87.9	-	5.2	6.9
	30代	98	3.1	7.1	3.1	85.7	1.0	10.2	6.2
	40代	121	2.5	6.6	1.7	88.4	0.8	9.1	4.2
	50代	126	2.4	5.6	1.6	88.9	1.6	8.0	4.0
	60代	127	2.4	10.2	1.6	85.0	0.8	12.6	4.0
	70代以上	211	5.2	14.7	2.8	74.4	2.8	19.9	8.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	0.0
食育への 関心度別	関心がある	939	4.4	8.7	2.9	82.9	1.2	13.1	7.3
	関心がない	200	1.5	4.0	2.0	91.5	1.0	5.5	3.5
	知らない	76	-	-	-	98.7	1.3	0.0	0.0
	無回答	25	-	12.0	-	72.0	16.0	12.0	0.0

3 食事のとり方について

(1) 朝食の摂取状況

問3 あなたはふだん朝食を食べますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

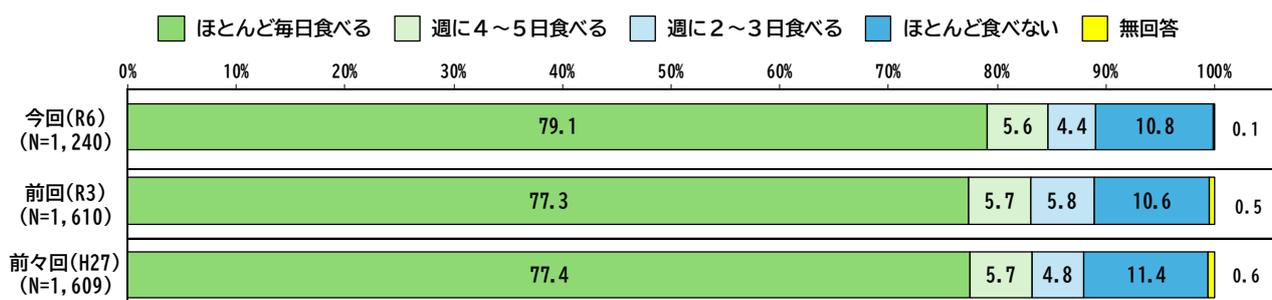
■全体結果

朝食の摂取状況としては、「ほとんど毎日食べる」が79.1%と最も高い。次いで「週に4～5日食べる」が5.6%、「週に2～3日食べる」が4.4%、「ほとんど食べない」が10.8%となっている。

■経年推移

「ほとんど毎日食べる」は、前々回77.4%、前回77.3%、今回79.1%となっており、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別にみると、女性では「ほとんど毎日食べる」が83.1%と、男性72.3%より高くなっている。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど「ほとんど毎日食べる」割合が高くなる傾向がみられる。20代では「ほとんど毎日食べる」が59.8%と低くなっている。
- 男性年齢別にみると、「ほとんど毎日食べる」が、20代で45.5%、50代で57.0%と低くなっている。また、20代では「ほとんど食べない」が36.4%と他の年齢層に比べて高くなっている。
- 女性年齢別にみると、年齢が上がるほど「ほとんど毎日食べる」が高くなっている。
- 職業別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、学生(66.7%)、会社員・団体職員(69.2%)で、他の職業に比べ低くなっている。
- 家族構成別にみると、単身世帯で「ほとんど毎日食べる」が68.8%と他の世帯よりも低くなっている。

【属性別朝食の摂取状況】

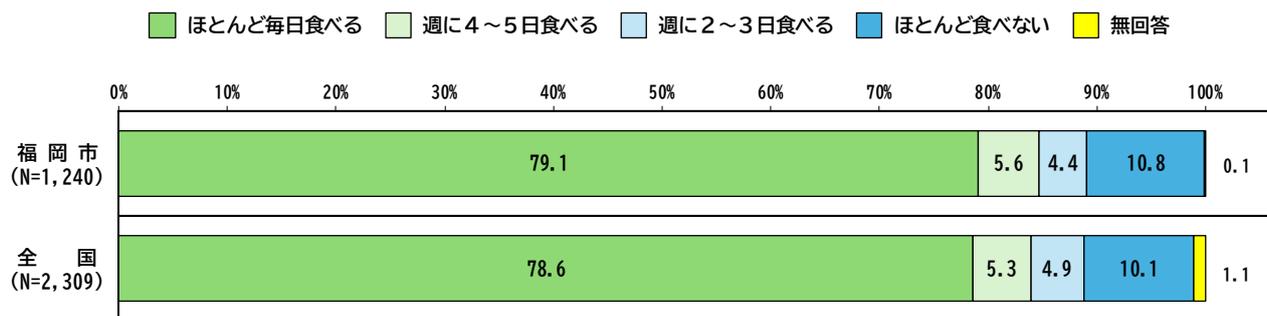
単位：%

		サンプル数	ほとんど毎日食べる	週に4～5日食べる	週に2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答
全 体		1240	79.1	5.6	4.4	10.8	0.1
性別	男性	451	72.3	5.5	4.2	18.0	-
	女性	751	83.1	5.7	4.4	6.7	0.1
	その他	5	40.0	20.0	-	40.0	-
	無回答	33	87.9	3.0	6.1	3.0	-
年齢別	10代	17	76.5	-	17.6	5.9	-
	20代	92	59.8	8.7	9.8	21.7	-
	30代	145	71.7	6.9	6.9	14.5	-
	40代	196	74.5	4.6	6.1	14.8	-
	50代	210	73.3	9.0	4.3	13.3	-
	60代	219	82.6	5.5	1.8	10.0	-
	70代以上	352	90.6	3.4	2.0	3.7	0.3
	無回答	9	100.0	-	-	-	-
男性年齢別	10代	8	62.5	-	25.0	12.5	-
	20代	33	45.5	12.1	6.1	36.4	-
	30代	43	62.8	2.3	7.0	27.9	-
	40代	69	69.6	5.8	4.3	20.3	-
	50代	79	57.0	11.4	6.3	25.3	-
	60代	88	80.7	1.1	2.3	15.9	-
	70代以上	131	87.8	4.6	1.5	6.1	-
女性年齢別	10代	9	88.9	-	11.1	-	-
	20代	58	69.0	6.9	12.1	12.1	-
	30代	98	74.5	9.2	7.1	9.2	-
	40代	121	77.7	3.3	6.6	12.4	-
	50代	126	83.3	7.9	3.2	5.6	-
	60代	127	85.0	7.9	1.6	5.5	-
	70代以上	211	92.4	2.8	1.9	2.4	0.5
無回答	1	100.0	-	-	-	-	
職業別	自営業者	91	78.0	11.0	2.2	8.8	-
	会社員・団体職員	373	69.2	7.5	5.6	17.7	-
	公務員	39	76.9	7.7	7.7	7.7	-
	契約社員・派遣社員	48	87.5	4.2	2.1	6.3	-
	パート・アルバイト	176	82.4	4.0	3.4	10.2	-
	家事専業	166	87.3	3.0	3.6	6.0	-
	学生	39	66.7	2.6	15.4	15.4	-
	無職	256	86.7	3.9	2.3	6.6	0.4
	その他	37	78.4	10.8	5.4	5.4	-
無回答	15	86.7	-	6.7	6.7	-	
家族構成別	単身	253	68.8	7.9	6.3	16.6	0.4
	夫婦のみ	382	84.8	5.5	2.4	7.3	-
	親子2世代（親と同居）	133	77.4	3.0	9.0	10.5	-
	親子2世代（子と同居）	372	81.2	4.8	3.2	10.8	-
	親子3世代	46	80.4	4.3	2.2	13.0	-
	その他	44	75.0	11.4	6.8	6.8	-
無回答	10	80.0	-	10.0	10.0	-	

《全国調査との比較》

全国調査と比較すると、「ほとんど毎日食べる」は、福岡市では79.1%、全国では78.6%となっており、大きな差はみられない。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問6 あなたは、ふだん朝食を食べますか。（○は1つだけ）

(2) 朝食を食べない理由

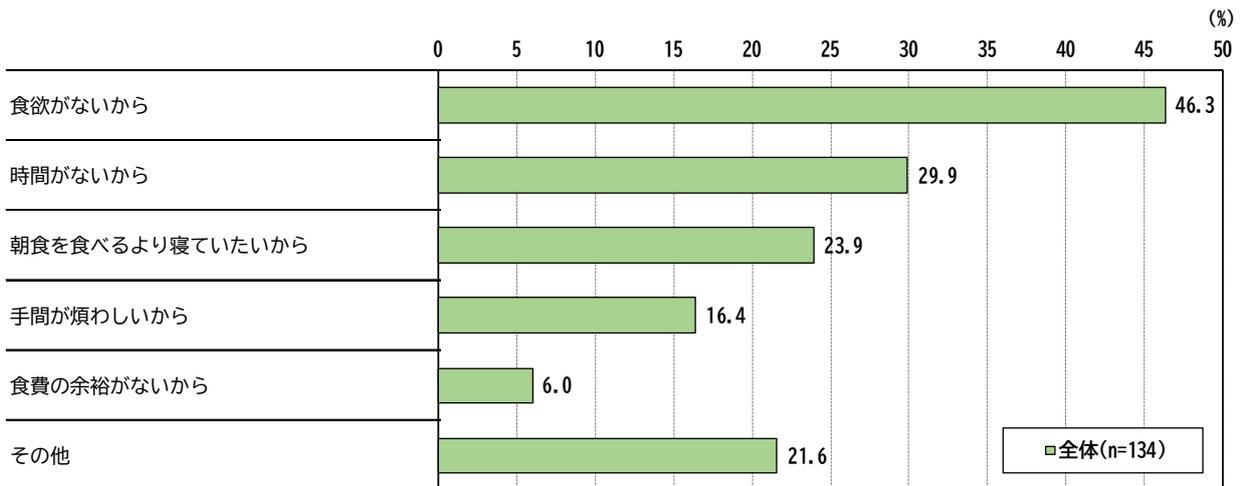
問3-2 《問3で「4」と回答した方におたずねします。》

朝食を食べない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

朝食を食べない理由としては、「食欲がないから」が46.3%と最も高い。次いで「時間がないから」が29.9%、「朝食を食べるより寝ていたいから」が23.9%の順となっている。

【全体結果】



■属性別特徴

- 性別にみると、「食欲がないから」、「時間がないから」は男性よりも女性が高く、「朝食を食べるより寝ていたいから」、「手間が煩わしいから」は女性よりも男性が高くなっている。

【属性別朝食を食べない理由】

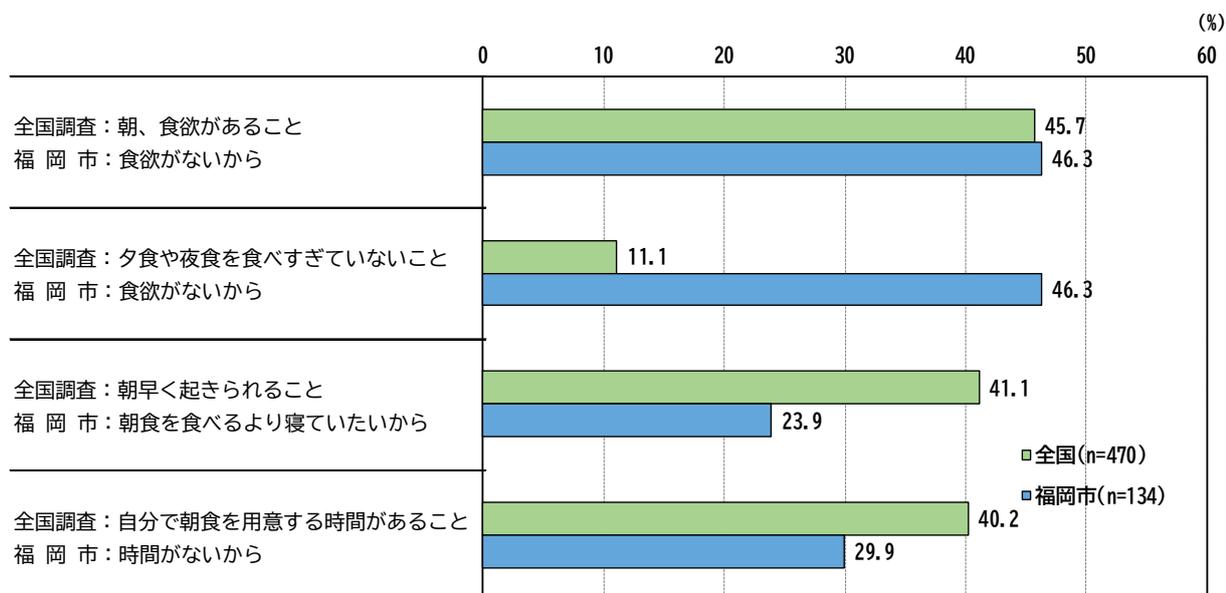
		サンプル数	食欲がないから	時間がないから	寝朝 て食 を食 べ る よ り	か ら 手 間 が 煩 わ し い	食 費 の 余 裕 が な い か ら	そ の 他
全 体		134	46.3	29.9	23.9	16.4	6.0	21.6
性 別	男性	81	44.4	28.4	27.2	22.2	7.4	18.5
	女性	50	52.0	34.0	20.0	8.0	4.0	22.0
	その他	2	-	-	-	-	-	100.0
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0
年 齢 別	10代	1	100.0	-	-	-	-	-
	20代	20	25.0	50.0	60.0	10.0	10.0	25.0
	30代	21	52.4	42.9	28.6	9.5	-	14.3
	40代	29	58.6	27.6	6.9	17.2	6.9	13.8
	50代	28	46.4	32.1	21.4	25.0	3.6	28.6
	60代	22	50.0	18.2	9.1	18.2	4.5	27.3
	70代以上	13	30.8	-	30.8	15.4	15.4	23.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

単位：%

《全国調査との比較》

全国調査とは、質問内容、選択肢が異なるが、回答選択肢に類似するものがあるため、参考資料として下図に示す。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 朝食を「2週に4～5日食べる」、「3週に2～3日食べる」、「4 ほとんど食べない」と答えた方に
問6-1 あなたが朝食を食べるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

(3) 朝食の内容

問4 今日の朝食は何を食べましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

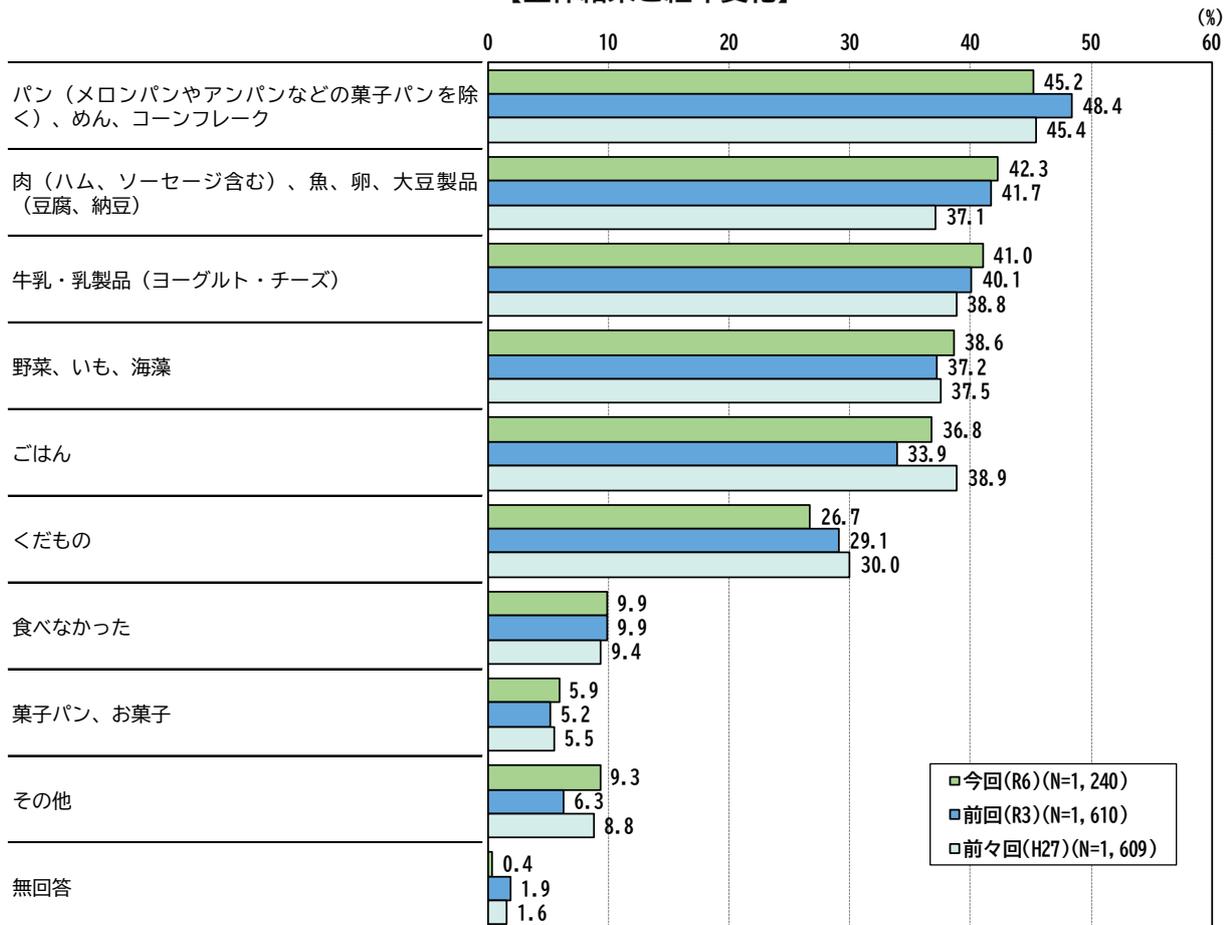
■全体結果

朝食の内容としては、「パン（メロンパンやアンパンなどの菓子パンを除く）、めん、コーンフレーク」が45.2%と最も高い。次いで「肉（ハム、ソーセージ含む）、魚、卵、大豆製品（豆腐、納豆）」が42.3%、「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズ）」が41.0%、「野菜、いも、海藻」が38.6%、「ごはん」が36.8%、「くだもの」が26.7%の順となっている。

■経年推移

「肉（ハム、ソーセージ含む）、魚、卵、大豆製品（豆腐、納豆）」（前々回 37.1%、前回 41.7%、今回 42.3%）、「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズ）」（前々回 38.8%、前回 40.1%、今回 41.0%）は増加傾向にあり、「くだもの」（前々回 30.0%、前回 29.3%、今回 26.7%）は減少傾向にある。

【全体結果と経年変化】



■属性別特徴

- 性別にみると、各食品とも概ね女性の方が男性よりも高くなっているが、中でも、「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズ）」（女性 45.5%－男性 32.8%）、「パン（メロンパンやアンパンなどの菓子パンを除く）めん、コーンフレーク」（女性 48.3%－男性 39.0%）、「くだもの」（女性 30.1%－男性 20.8%）で差が大きくなっている。
- 年齢別にみると、60代以上で「パン（メロンパンやアンパンなどの菓子パンを除く）、めん、コーンフレーク」、「肉（ハム、ソーセージ含む）、魚、卵、大豆製品（豆腐、納豆）」、「野菜、いも、海藻」、「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズ）」、「くだもの」が、他の年齢層に比べて高くなっている。
- 家族構成別にみると、夫婦のみ世帯で、「肉（ハム、ソーセージ含む）、魚、卵、大豆製品（豆腐、納豆）」、「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズ）」、「野菜、いも、海藻」、「くだもの」が、他の世帯に比べて高くなっている。

【属性別朝食の内容】

単位：%

		サンプル数	めん、コーンフレーク	パン（メロンパンやアンパンなどの菓子パンを除く）	肉（ハム、ソーセージ含む）、魚、卵、大豆製品（豆腐、納豆）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズ）	野菜、いも、海藻	ごはん	くだもの	食べなかった	菓子パン、お菓子	その他	無回答
全体		1240	45.2	42.3	41.0	38.6	36.8	26.7	9.9	5.9	9.3	0.4	
性別	男性	451	39.0	39.0	32.8	34.6	38.1	20.8	15.3	6.4	8.9	0.7	
	女性	751	48.3	44.5	45.5	40.6	36.4	30.1	6.9	5.7	9.3	0.1	
	その他	5	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	
	無回答	33	60.6	39.4	51.5	51.5	30.3	30.3	3.0	3.0	15.2	-	
年齢別	10代	17	41.2	35.3	35.3	35.3	47.1	17.6	11.8	5.9	-	-	
	20代	92	31.5	30.4	27.2	20.7	37.0	19.6	21.7	5.4	7.6	1.1	
	30代	145	41.4	33.8	31.0	22.8	34.5	17.2	13.8	5.5	10.3	-	
	40代	196	39.8	37.2	32.1	28.1	37.8	15.8	13.3	7.7	9.7	0.5	
	50代	210	45.2	32.4	37.6	27.1	28.6	18.1	12.4	8.6	9.5	-	
	60代	219	53.4	47.5	43.8	45.2	31.5	30.6	8.2	5.0	8.7	0.5	
	70代以上	352	48.9	54.0	54.0	57.7	43.8	41.5	3.1	4.0	9.7	0.6	
無回答	9	33.3	77.8	55.6	77.8	77.8	33.3	-	11.1	11.1	-		
家族構成別	单身	253	43.1	28.9	41.9	32.0	30.4	24.1	14.6	5.9	8.3	0.8	
	夫婦のみ	382	45.8	49.2	46.1	45.8	39.5	33.2	7.3	3.9	9.7	0.3	
	親子2世代（親と同居）	133	44.4	40.6	37.6	37.6	35.3	23.3	13.5	8.3	8.3	-	
	親子2世代（子と同居）	372	45.7	45.2	37.1	37.4	39.2	25.0	7.3	6.7	9.7	0.5	
	親子3世代	46	34.8	45.7	32.6	34.8	50.0	17.4	10.9	6.5	15.2	-	
	その他	44	65.9	31.8	45.5	27.3	13.6	20.5	13.6	6.8	4.5	-	
	無回答	10	30.0	70.0	40.0	60.0	60.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	

(4) 食事の速さ

問5 あなたはふだん食べるのが速いですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

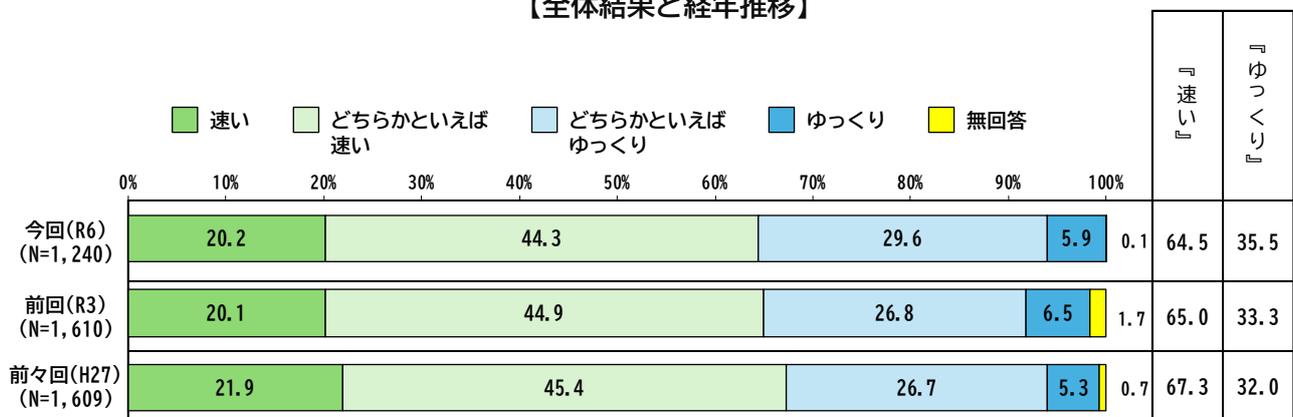
■全体結果

食事の速さについてみると、「速い」が20.2%、「どちらかといえば速い」が44.3%、両者合計した『速い』は64.5%となっている。一方、『ゆっくり』は35.5%（「ゆっくり」5.9%+「どちらかといえばゆっくり」29.6%）となっている。

■経年推移

『速い』は、前々回67.3%、前回65.0%、今回64.5%と、減少傾向にある。

【全体結果と経年推移】



(注1)『速い』 = 「速い」 + 「どちらかといえば速い」

(注2)『ゆっくり』 = 「ゆっくり」 + 「どちらかといえばゆっくり」

■属性別特徴

- 性別にみると、男性では『速い』が69.6%と、女性62.1%より高くなっている。
- 年齢別にみると、30～50代で『速い』が7割前後と他の年齢層に比べて高く、20代、70代以上では5割台と他の年齢層に比べて低くなっている。
- 男性年齢別にみると、20代では『速い』が69.7%だが、年齢が上がるとともに高くなり、50代で83.5%と最も高くなり、その後は減少し、70代以上では57.3%となっている。
- 女性年齢別にみると、20代、70代以上では『速い』が5割台、30～60代では6割台となっており、男性に比べると、年齢層での差は小さくなっている。

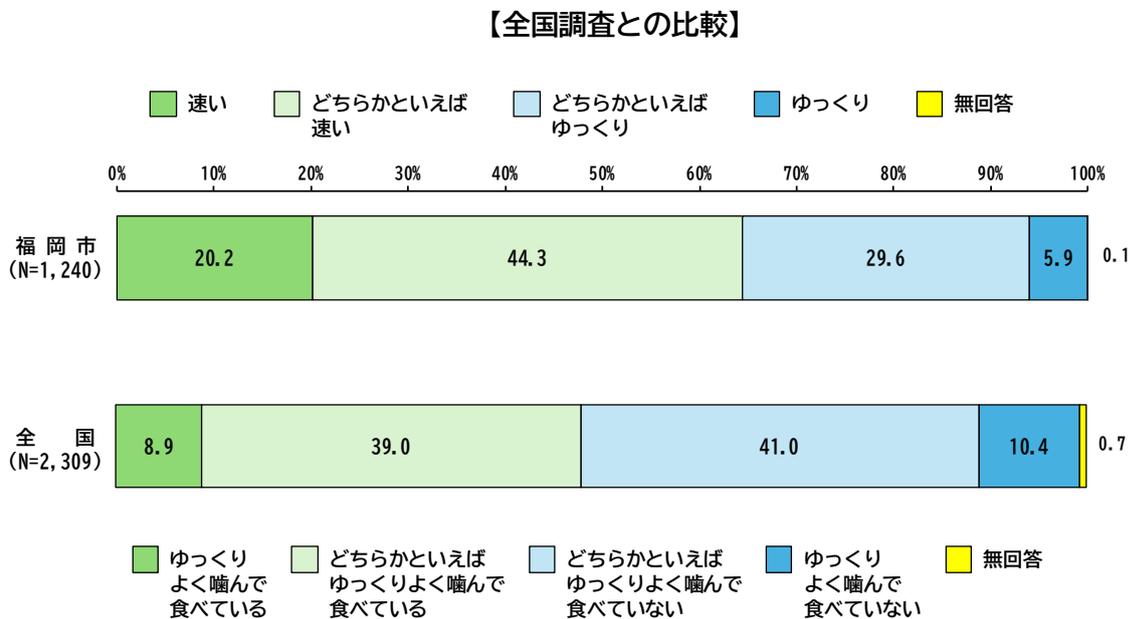
【属性別食事の速さ】

単位：％

		サンプル数	速 い	速 い ど ち ら か と い え ば	ゆ ど ち ら か と い え ば ゆ っ く り	ゆ っ く り	無 回 答	『速 い』	『ゆ っ く り』
全 体		1240	20.2	44.3	29.6	5.9	0.1	64.5	35.5
性 別	男性	451	24.8	44.8	24.6	5.8	-	69.6	30.4
	女性	751	17.4	44.7	32.0	5.7	0.1	62.1	37.7
	その他	5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	60.0	40.0
	無回答	33	18.2	27.3	45.5	9.1	-	45.5	54.6
年 齢 別	10代	17	17.6	52.9	11.8	17.6	-	70.5	29.4
	20代	92	23.9	32.6	31.5	12.0	-	56.5	43.5
	30代	145	26.9	44.8	23.4	4.8	-	71.7	28.2
	40代	196	26.5	43.4	27.0	3.1	-	69.9	30.1
	50代	210	23.8	50.0	23.3	2.9	-	73.8	26.2
	60代	219	15.5	49.8	30.6	4.1	-	65.3	34.7
	70代以上	352	13.9	40.6	36.9	8.2	0.3	54.5	45.1
	無回答	9	11.1	33.3	33.3	22.2	-	44.4	55.5
男 性 年 齢 別	10代	8	12.5	37.5	12.5	37.5	-	50.0	50.0
	20代	33	30.3	39.4	27.3	3.0	-	69.7	30.3
	30代	43	30.2	48.8	16.3	4.7	-	79.0	21.0
	40代	69	29.0	50.7	15.9	4.3	-	79.7	20.2
	50代	79	29.1	54.4	15.2	1.3	-	83.5	16.5
	60代	88	22.7	42.0	28.4	6.8	-	64.7	35.2
	70代以上	131	19.1	38.2	35.1	7.6	-	57.3	42.7
女 性 年 齢 別	10代	9	22.2	66.7	11.1	-	-	88.9	11.1
	20代	58	20.7	29.3	34.5	15.5	-	50.0	50.0
	30代	98	25.5	42.9	26.5	5.1	-	68.4	31.6
	40代	121	24.0	40.5	33.1	2.5	-	64.5	35.6
	50代	126	21.4	48.4	26.2	4.0	-	69.8	30.2
	60代	127	9.4	55.9	32.3	2.4	-	65.3	34.7
	70代以上	211	11.4	42.7	37.0	8.5	0.5	54.1	45.5
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	0.0	100.0

《全国調査との比較》

全国調査とは、質問内容、選択肢が異なるが、回答内容に類似するものがあるため、参考資料として下図に示す。



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）
 全国調査質問 問13 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。（○は1つだけ）

(5) よく噛んで食べているか

問6 あなたはふだんよく噛んで食べていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

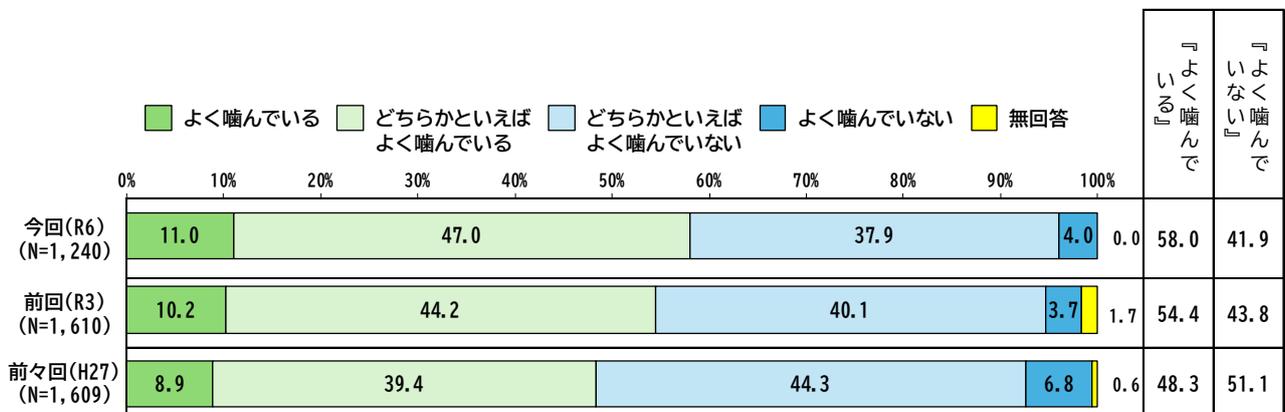
■全体結果

よく噛んでいるかどうかをみると、「よく噛んでいる」が11.0%、「どちらかといえばよく噛んでいる」が47.0%、両者を合計した『よく噛んでいる』は58.0%となっている。一方、『よく噛んでいない』は41.9%（「よく噛んでいない」4.0%+「どちらかといえばよく噛んでいない」37.9%）となっている。

■経年推移

『よく噛んでいる』は、前々回48.3%、前回54.4%、今回58.0%と、増加傾向にある。

【全体結果と経年推移】



(注1) 『よく噛んでいる』 = 「よくかんでいる」 + 「どちらかといえばよく噛んでいる」

(注2) 『よく噛んでいない』 = 「よく噛んでいない」 + 「どちらかといえばよく噛んでいない」

■属性別特徴

- 性別みると、女性では「どちらかといえばよく噛んでいる」が49.0%と、男性43.5%より高くなっている。
- 年齢別にみると、40代で『よく噛んでいる』が49.0%と年齢層の中で最も低く、70代以上で69.3%、20代で62.0%と高くなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『よく噛んでいる』が60.3%だが、関心のない人では50.0%と低くなっている。
- 朝食頻度別にみると、ほとんど毎日食べる人、週に4～5日食べる人では『よく噛んでいる』は6割前後だが、週に2～3日食べる人では44.5%、ほとんど食べない人では50.0%と低くなっている。

【属性別よく噛んで食べているか】

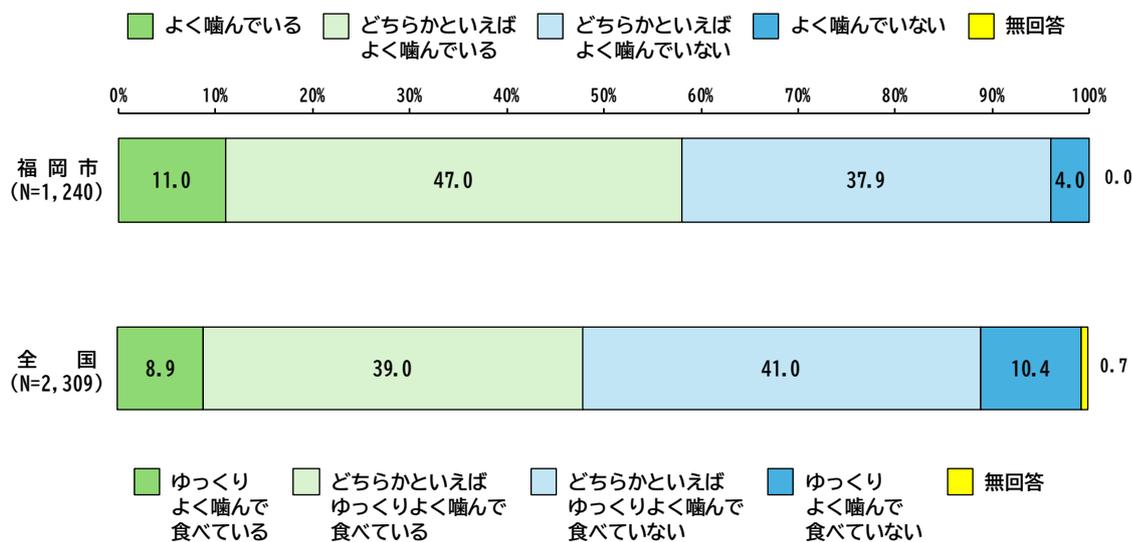
単位：%

		サンプル数	よく噛んでいる	どちらかといえよ く噛んでいる	どちらかといえよ く噛んでいない	よく噛んでいない	『よく噛んで いる』	『よく噛んで いない』
全 体		1240	11.0	47.0	37.9	4.0	58.0	41.9
性別	男性	451	12.0	43.5	38.1	6.4	55.5	44.5
	女性	751	10.5	49.0	37.9	2.5	59.5	40.4
	その他	5	20.0	20.0	60.0	-	40.0	60.0
	無回答	33	9.1	54.5	30.3	6.1	63.6	36.4
年齢別	10代	17	23.5	41.2	29.4	5.9	64.7	35.3
	20代	92	18.5	43.5	30.4	7.6	62.0	38.0
	30代	145	10.3	42.1	42.1	5.5	52.4	47.6
	40代	196	7.7	41.3	44.4	6.6	49.0	51.0
	50代	210	6.2	44.3	47.1	2.4	50.5	49.5
	60代	219	9.1	47.5	40.2	3.2	56.6	43.4
	70代以上	352	14.8	54.5	28.4	2.3	69.3	30.7
	無回答	9	11.1	55.6	22.2	11.1	66.7	33.3
食育への 関心度別	関心がある	939	11.7	48.6	36.5	3.2	60.3	39.7
	関心がない	200	9.0	41.0	44.0	6.0	50.0	50.0
	知らない	76	7.9	43.4	38.2	10.5	51.3	48.7
	無回答	25	12.0	48.0	40.0	-	60.0	40.0
朝食頻度別	ほとんど毎日食べる	981	11.4	48.3	37.0	3.3	59.7	40.3
	週に4～5日食べる	70	14.3	47.1	37.1	1.4	61.4	38.5
	週に2～3日食べる	54	9.3	35.2	48.1	7.4	44.5	55.5
	ほとんど食べない	134	7.5	42.5	40.3	9.7	50.0	50.0
	無回答	1	-	-	100.0	-	0.0	100.0

《全国調査との比較》

全国調査とは、質問内容、選択肢が異なるが、回答内容に類似するものがあるため、参考資料として下図に示す。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問13 あなたは、ふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。（○は1つだけ）

(6) 食生活への評価

問7 あなたは、ご自身の現在の食生活についてどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ
 選び、番号に○をつけてください。

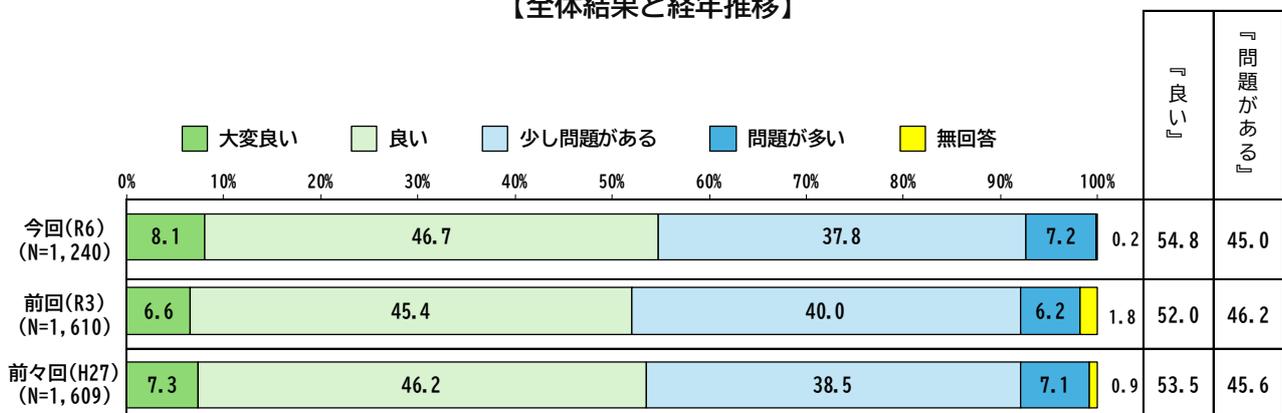
■全体結果

自身の食生活への評価としては、「大変良い」が 8.1%、「良い」が 46.7%、両者を合計した『良い』は 54.8%となっている。一方、『問題がある』は 45.0%（「問題が多い」7.2%+「少し問題がある」37.8%）となっている。

■経年推移

『良い』は、前々回 53.5%、前回 52.0%、今回 54.8%となっており、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



(注1)『良い』 = 「大変良い」 + 「良い」

(注2)『問題がある』 = 「問題が多い」 + 「少し問題がある」

■属性別特徴

- 性別にみると、女性では「良い」が 48.2%と、男性 42.8%より高くなっている。
- 年齢別にみると、20～50代では『良い』は4割台だが、60代では 59.4%、70代以上では 68.5%と高くなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『良い』が 58.3%だが、関心のない人では 40.5%と低くなっている。
- 朝食頻度別にみると、頻度が高いほど『良い』が高く、ほとんど食べない人の 28.4%に対し、ほとんど毎日食べる人では 61.3%と高くなっている。

【属性別食生活への評価】

単位：%

		サンプル数	大変良い	良い	少し問題がある	問題が多い	無回答	『良い』	『問題がある』
全 体		1240	8.1	46.7	37.8	7.2	0.2	54.8	45.0
性別	男性	451	10.9	42.8	37.5	8.6	0.2	53.7	46.1
	女性	751	6.4	48.2	38.9	6.3	0.3	54.6	45.2
	その他	5	20.0	20.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0
	無回答	33	6.1	69.7	18.2	6.1	-	75.8	24.3
年齢別	10代	17	5.9	52.9	29.4	11.8	-	58.8	41.2
	20代	92	7.6	40.2	37.0	14.1	1.1	47.8	51.1
	30代	145	5.5	35.2	49.7	9.7	-	40.7	59.4
	40代	196	7.1	39.3	42.9	10.7	-	46.4	53.6
	50代	210	10.0	36.7	46.7	6.2	0.5	46.7	52.9
	60代	219	7.3	52.1	37.0	3.7	-	59.4	40.7
	70代以上	352	8.8	59.7	26.4	4.8	0.3	68.5	31.2
	無回答	9	22.2	44.4	22.2	11.1	-	66.6	33.3
食育への 関心度別	関心がある	939	8.6	49.7	35.0	6.4	0.2	58.3	41.4
	関心がない	200	4.5	36.0	49.5	10.0	-	40.5	59.5
	知らない	76	10.5	40.8	36.8	11.8	-	51.3	48.6
	無回答	25	8.0	36.0	52.0	-	4.0	44.0	52.0
朝食頻度別	ほとんど毎日食べる	981	9.3	52.0	34.1	4.3	0.3	61.3	38.4
	週に4～5日食べる	70	1.4	32.9	51.4	14.3	-	34.3	65.7
	週に2～3日食べる	54	-	29.6	53.7	16.7	-	29.6	70.4
	ほとんど食べない	134	6.0	22.4	50.7	20.9	-	28.4	71.6
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	0.0	100.0

(7) 主食・主菜・副菜がそろった食事の接種状況

問8 あなたが1日に2回以上主食・主菜・副菜をそろえて食べる日は、週に何日ありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

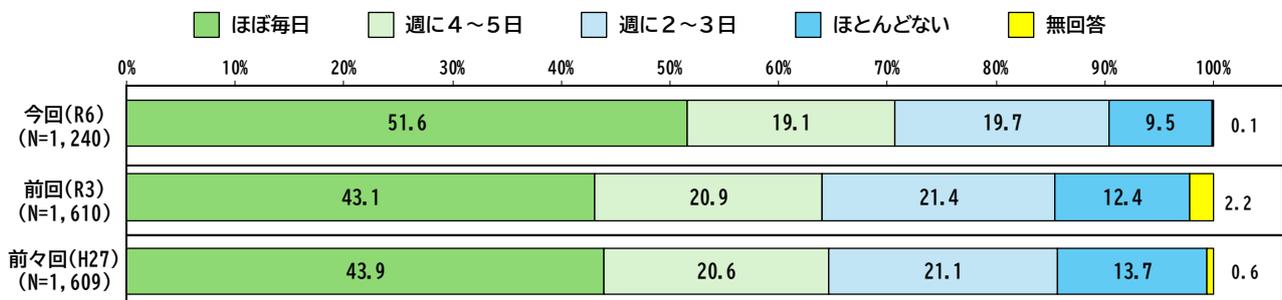
■全体結果

1日に2回以上主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度としては、「ほぼ毎日」が51.6%と最も高く、次いで「週に2～3日」が19.7%、「週に4～5日」が19.1%、「ほとんどない」が9.5%となっている。

■経年推移

「ほぼ毎日」が、前々回、前回の4割台から、今回は51.6%と半数を超えるようになっている。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど、「ほぼ毎日」が高くなり、年齢が下がるほど「ほとんどない」が高くなっている。
- 男性年齢別にみると、60代以上で「ほぼ毎日」が5～6割、50代で「週に2～3回」が32.9%、30代で「ほとんどない」が27.9%と他の年齢層に比べて高くなっている。
- 女性年齢別にみると、年齢が上がるほど、「ほぼ毎日」が高くなり、年齢が下がるほど「ほとんどない」が高くなっている。
- 家族構成別にみると、夫婦のみ世帯では、「ほぼ毎日」が62.8%と他の世帯に比べて高くなっている。また、単身世帯、その他の世帯では「週に2～3回」が3割前後と他の世帯に比べて高くなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人は「ほぼ毎日」が54.2%だが、関心のない人では39.5%と低く、「ほとんどない」が20.5%と高くなっている。
- 朝食頻度別にみると、頻度の高い人ほど「ほぼ毎日」や「週に4～5日」が高くなるが、頻度の少ない人では「週に2～3日」、「ほとんどない」が高くなっている。

【属性別主食・主菜・副菜がそろった食事の摂取状況】

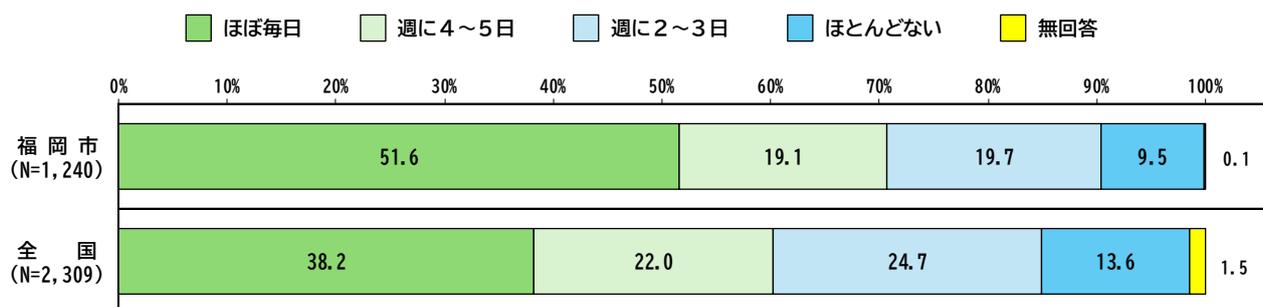
単位：%

		サンプル数	ほぼ毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんどない	無回答
全 体		1240	51.6	19.1	19.7	9.5	0.1
性別	男性	451	48.8	17.1	21.7	12.4	-
	女性	751	53.7	20.0	18.8	7.5	0.1
	その他	5	20.0	20.0	20.0	40.0	-
	無回答	33	48.5	27.3	12.1	12.1	-
年齢別	10代	17	47.1	29.4	5.9	17.6	-
	20代	92	31.5	19.6	30.4	18.5	-
	30代	145	36.6	19.3	25.5	18.6	-
	40代	196	42.3	24.0	21.4	12.2	-
	50代	210	44.3	17.6	29.0	9.0	-
	60代	219	59.4	17.8	15.5	7.3	-
	70代以上	352	68.8	17.0	11.1	2.8	0.3
	無回答	9	22.2	33.3	22.2	22.2	-
男性年齢別	10代	8	37.5	25.0	12.5	25.0	-
	20代	33	36.4	21.2	24.2	18.2	-
	30代	43	37.2	11.6	23.3	27.9	-
	40代	69	36.2	21.7	23.2	18.8	-
	50代	79	36.7	19.0	32.9	11.4	-
	60代	88	58.0	10.2	20.5	11.4	-
	70代以上	131	64.1	18.3	14.5	3.1	-
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
女性年齢別	10代	9	55.6	33.3	-	11.1	-
	20代	58	29.3	17.2	34.5	19.0	-
	30代	98	36.7	22.4	27.6	13.3	-
	40代	121	45.5	25.6	20.7	8.3	-
	50代	126	49.2	16.7	26.2	7.9	-
	60代	127	59.8	22.8	12.6	4.7	-
	70代以上	211	72.0	15.6	9.5	2.4	0.5
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
家族構成別	単身	253	34.8	19.8	30.8	14.6	-
	夫婦のみ	382	62.8	15.2	15.2	6.8	-
	親子2世代（親と同居）	133	48.9	21.1	17.3	12.8	-
	親子2世代（子と同居）	372	54.6	21.5	16.4	7.5	-
	親子3世代	46	56.5	23.9	17.4	2.2	-
	その他	44	36.4	18.2	29.5	13.6	2.3
	無回答	10	20.0	20.0	30.0	30.0	-
食育への関心度別	関心がある	939	54.2	19.8	18.8	7.1	-
	関心がない	200	39.5	17.5	22.5	20.5	-
	知らない	76	50.0	17.1	22.4	10.5	-
	無回答	25	56.0	12.0	20.0	8.0	4.0
朝食頻度別	ほとんど毎日食べる	981	59.4	18.9	15.0	6.6	0.1
	週に4～5日食べる	70	21.4	30.0	34.3	14.3	-
	週に2～3日食べる	54	25.9	22.2	37.0	14.8	-
	ほとんど食べない	134	20.9	13.4	39.6	26.1	-
	無回答	1	-	100.0	-	-	-

《全国調査との比較》

全国調査と比較すると、「ほとんど毎日」は、福岡市では 51.6%だが、全国では 38.2%となっており、福岡市の方が 13.4 ポイント高くなっている。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問5 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（〇は1つだけ）

(8) 主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由

問8-2 <<問8で「2」「3」「4」と回答した方におたずねします。>>

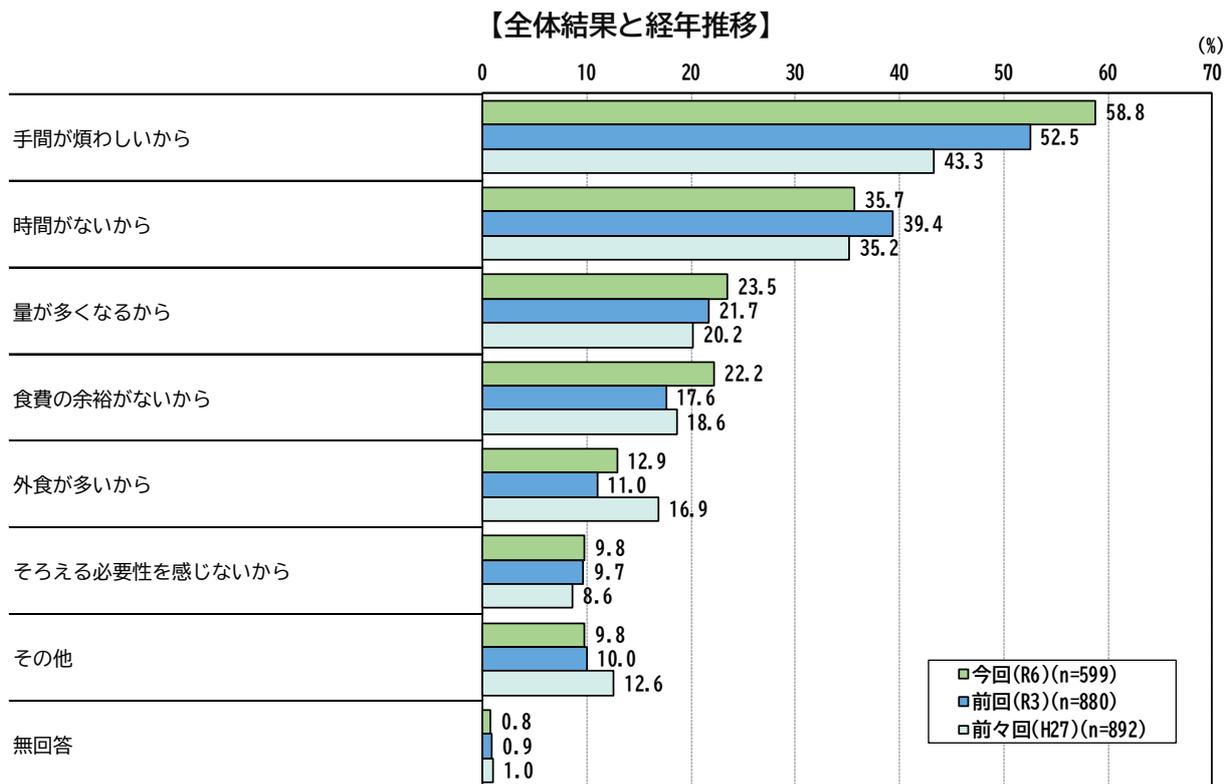
主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由としては、「手間が煩わしいから」が58.8%と最も高い。次いで「時間がないから」が35.7%、「量が多くなるから」が23.5%、「食費の余裕がないから」が22.2%の順となっている。

■経年推移

「手間が煩わしいから」(前々回43.3%、前回52.5%、今回58.8%)、「量が多くなるから」(前々回20.2%、前回21.7%、今回23.5%)、「そろえる必要性を感じないから」(前々回8.6%、前回9.7%、今回9.8%)は増加傾向にある。



■属性別特徴

- 性別にみると、男女とも「手間が煩わしいから」が最も高いが、特に女性で64.6%と高い。また、「時間がないから」も女性では41.5%と、男性26.4%より高くなっている。
- 年齢別にみると、年齢が下がるほど「手間が煩わしいから」が高くなっている。また、50代以下では「時間がないから」が60代以上に比べ高くなっている。
- 男性年齢別にみると、20代では「手間が煩わしいから」、「食費の余裕がないから」、30代・40代では「時間がないから」、70代以上では「量が多くなるから」が他の年齢層に比べ高くなっている。

る。また、40代、50代、60代では「外食が多いから」も他の年齢層に比べ高くなっている。

- 女性年齢別にみると、60代以上に比べて50代以下で「手間が煩わしいから」が6～7割台、「時間がないから」が5割台と高くなっている。また、70代以上では「量が多くなるから」が他の年齢層に比べ高くなっている。
- 家族構成別にみると、単身、親子3世代、その他世帯で「手間が煩わしいから」が6割台、親子2世代（子どもと同居）、親子3世代、その他世帯で「時間がないから」が4割台と他の世帯に比べ高くなっている。

【属性別主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由】

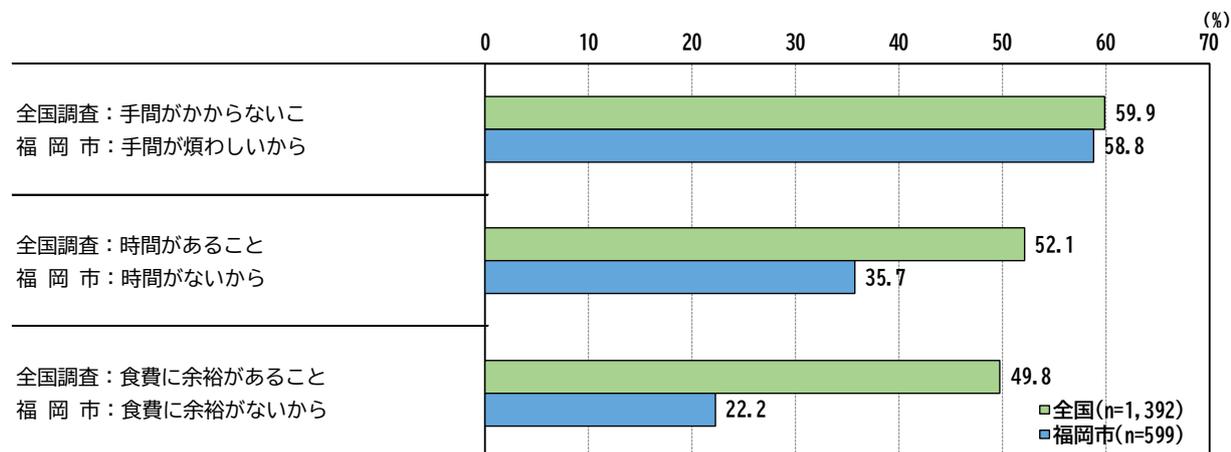
単位：%

		サンプル数	手間が煩わしいから	時間がないから	量が多くなるから	ら食費の余裕がないから	外食が多いから	じそろえないから 必要性を感じないから	その他	無回答
全 体		599	58.8	35.7	23.5	22.2	12.9	9.8	9.8	0.8
性別	男性	231	50.2	26.4	20.3	20.3	17.3	16.0	8.2	0.9
	女性	347	64.6	41.5	25.6	23.9	10.1	4.9	11.0	0.6
	その他	4	50.0	50.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0	-
	無回答	17	58.8	41.2	23.5	5.9	11.8	23.5	5.9	5.9
年齢別	10代	9	77.8	44.4	11.1	22.2	-	-	-	-
	20代	63	66.7	44.4	11.1	36.5	14.3	6.3	6.3	-
	30代	92	65.2	52.2	25.0	25.0	10.9	7.6	2.2	-
	40代	113	61.9	49.6	17.7	19.5	17.7	8.0	11.5	-
	50代	117	58.1	45.3	19.7	20.5	17.1	7.7	13.7	0.9
	60代	89	53.9	16.9	25.8	18.0	12.4	19.1	10.1	-
	70代以上	109	49.5	8.3	39.4	20.2	6.4	11.0	12.8	2.8
	無回答	7	42.9	14.3	14.3	14.3	-	14.3	14.3	14.3
男性年齢別	10代	5	80.0	40.0	20.0	40.0	-	-	-	-
	20代	21	66.7	28.6	4.8	38.1	9.5	4.8	4.8	-
	30代	27	48.1	40.7	18.5	14.8	14.8	14.8	-	-
	40代	44	50.0	45.5	11.4	18.2	25.0	13.6	11.4	-
	50代	50	54.0	30.0	14.0	16.0	22.0	12.0	12.0	2.0
	60代	37	45.9	8.1	21.6	21.6	21.6	32.4	2.7	-
	70代以上	47	40.4	8.5	42.6	19.1	8.5	17.0	12.8	2.1
女性年齢別	10代	4	75.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	20代	41	68.3	51.2	14.6	36.6	17.1	7.3	7.3	-
	30代	62	72.6	56.5	29.0	27.4	8.1	4.8	3.2	-
	40代	66	69.7	51.5	21.2	19.7	12.1	3.0	10.6	-
	50代	64	60.9	56.3	25.0	25.0	14.1	3.1	15.6	-
	60代	51	58.8	23.5	27.5	15.7	5.9	9.8	15.7	-
	70代以上	58	56.9	6.9	36.2	22.4	5.2	3.4	13.8	3.4
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
家族構成別	単身	165	67.3	30.9	18.8	29.1	13.3	9.7	8.5	0.6
	夫婦のみ	142	48.6	27.5	28.9	12.0	12.7	14.8	12.0	0.7
	親子2世代（親と同居）	68	54.4	38.2	20.6	23.5	14.7	11.8	5.9	1.5
	親子2世代（子と同居）	169	58.0	43.8	24.3	24.3	14.8	5.9	8.3	1.2
	親子3世代	20	65.0	40.0	45.0	10.0	10.0	5.0	5.0	-
	その他	27	66.7	48.1	14.8	33.3	-	7.4	29.6	-
	無回答	8	75.0	37.5	12.5	-	-	12.5	12.5	-

《全国調査との比較》

全国調査とは、質問内容、選択肢が異なるが、回答選択肢に類似するものがあるため、参考資料として下図に示す。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問5 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（〇は1つだけ）
 【問5で「2週に4～5日」、「3週に2～3日」、「4 ほとんどない」と答えた方に】
 問5-1 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

4 食に関わる習慣について

(1) 生活習慣病予防・改善等の実践状況について

問9 あなたはふだん生活習慣病予防や改善のために、①～⑤のことについてどの程度実践していますか。あてはまるものを1つずつ選び○をつけてください。

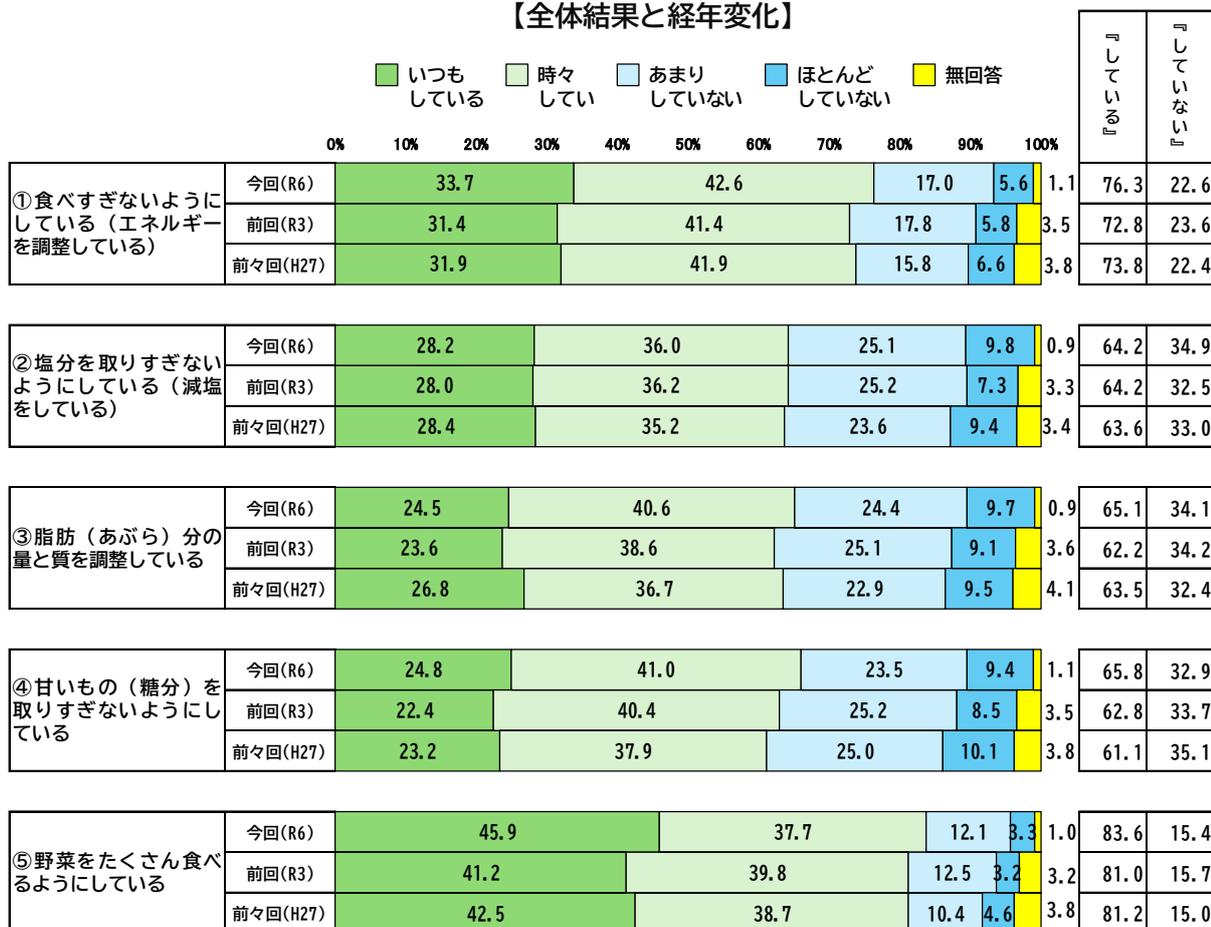
■全体結果

ふだん生活習慣病予防や改善のため実践（『している』）していることとしては、「⑤野菜をたくさん食べるようにしている」が83.6%と最も高い。次いで「①食べすぎないようにしている（エネルギーを調整している）」が76.3%、「④甘いもの（糖分）を取りすぎないようにしている」が65.8%、「③脂肪（あぶら）分の量と質を調整している」が65.1%、「②塩分を取りすぎないようにしている（減塩をしている）」が64.2%の順となっている。

■経年推移

『している』をみると、前々回、前回、今回と「⑤野菜をたくさん食べるようにしている」は8割台、「①食べすぎないようにしている（エネルギーを調整している）」は7割台、「②塩分を取りすぎないようにしている（減塩をしている）」、「③脂肪（あぶら）分の量と質を調整している」、「④甘いもの（糖分）を取りすぎないようにしている」は6割台で推移しており、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年変化】



(注1) 『している』 = 「いつもしている」 + 「時々している」

(注2) 『していない』 = 「ほとんどしていない」 + 「あまりしていない」

■属性別特徴

- いずれの行為においても、性別にみると、男性より女性、年齢別にみると、年齢が上がるほど、食育への関心度別にみると、関心のある人ほど、『している』が高くなる傾向にある。

① 食べすぎないようにしている（エネルギーを調整している）

単位：％

		サンプル数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答	『している』	『していない』
全 体		1240	33.7	42.6	17.0	5.6	1.1	76.3	22.6
性別	男性	451	31.9	40.1	19.3	7.3	1.3	72.0	26.6
	女性	751	34.5	44.2	15.8	4.5	0.9	78.7	20.3
	その他	5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	60.0	40.0
	無回答	33	42.4	39.4	12.1	3.0	3.0	81.8	15.1
年齢別	10代	17	29.4	29.4	17.6	23.5	-	58.8	41.1
	20代	92	25.0	41.3	17.4	15.2	1.1	66.3	32.6
	30代	145	20.7	46.2	27.6	4.8	0.7	66.9	32.4
	40代	196	26.5	48.0	16.3	9.2	-	74.5	25.5
	50代	210	33.3	47.1	16.2	3.3	-	80.4	19.5
	60代	219	35.6	45.7	14.2	3.2	1.4	81.3	17.4
	70代以上	352	44.9	34.9	14.8	3.1	2.3	79.8	17.9
	無回答	9	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	44.4	44.4
関食 心度 への	関心がある	939	34.9	44.4	15.0	4.9	0.7	79.3	19.9
	関心がない	200	31.0	36.0	23.0	8.0	2.0	67.0	31.0
	知らない	76	28.9	35.5	27.6	6.6	1.3	64.4	34.2
	無回答	25	24.0	48.0	12.0	8.0	8.0	72.0	20.0

② 塩分を取りすぎないようにしている（減塩をしている）

単位：％

		サンプル数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答	『している』	『していない』
全 体		1240	28.2	36.0	25.1	9.8	0.9	64.2	34.9
性別	男性	451	21.5	34.4	28.2	14.9	1.1	55.9	43.1
	女性	751	31.4	37.2	23.7	7.1	0.7	68.6	30.8
	その他	5	20.0	20.0	60.0	-	-	40.0	60.0
	無回答	33	48.5	36.4	9.1	3.0	3.0	84.9	12.1
年齢別	10代	17	11.8	29.4	23.5	35.3	-	41.2	58.8
	20代	92	17.4	23.9	33.7	23.9	1.1	41.3	57.6
	30代	145	11.0	33.8	33.1	22.1	-	44.8	55.2
	40代	196	19.9	40.3	27.0	12.8	-	60.2	39.8
	50代	210	19.0	40.5	33.3	7.1	-	59.5	40.4
	60代	219	37.4	34.2	21.9	5.0	1.4	71.6	26.9
	70代以上	352	42.9	36.9	15.6	2.8	1.7	79.8	18.4
	無回答	9	44.4	22.2	22.2	-	11.1	66.6	22.2
関食 心度 への	関心がある	939	30.0	37.5	24.1	7.8	0.6	67.5	31.9
	関心がない	200	21.0	31.0	29.5	17.5	1.0	52.0	47.0
	知らない	76	25.0	27.6	30.3	15.8	1.3	52.6	46.1
	無回答	25	28.0	48.0	12.0	4.0	8.0	76.0	16.0

③ 脂肪（あぶら）分の量と質を調整している

単位：%

		サンプル数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答	『している』	『していない』
全 体		1240	24.5	40.6	24.4	9.7	0.9	65.1	34.1
性別	男性	451	19.3	36.6	29.9	13.3	0.9	55.9	43.2
	女性	751	27.7	42.5	21.7	7.5	0.7	70.2	29.2
	その他	5	-	80.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	無回答	33	27.3	45.5	9.1	12.1	6.1	72.8	21.2
年齢別	10代	17	11.8	41.2	23.5	23.5	-	53.0	47.0
	20代	92	18.5	27.2	33.7	20.7	-	45.7	54.4
	30代	145	9.0	41.4	29.0	20.7	-	50.4	49.7
	40代	196	17.9	45.9	23.0	12.8	0.5	63.8	35.8
	50代	210	22.4	46.7	27.1	3.8	-	69.1	30.9
	60代	219	25.1	46.6	21.5	5.5	1.4	71.7	27.0
	70代以上	352	37.5	34.1	21.0	5.7	1.7	71.6	26.7
	無回答	9	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1	44.4	44.4
関食 心育への 度別の	関心がある	939	26.7	42.7	22.9	7.1	0.5	69.4	30.0
	関心がない	200	15.5	35.5	29.0	18.5	1.5	51.0	47.5
	知らない	76	19.7	31.6	28.9	18.4	1.3	51.3	47.3
	無回答	25	28.0	28.0	28.0	8.0	8.0	56.0	36.0

④ 甘いもの（糖分）を取りすぎないようにしている

単位：%

		サンプル数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答	『している』	『していない』
全 体		1240	24.8	41.0	23.5	9.4	1.1	65.8	32.9
性別	男性	451	26.6	34.6	27.7	10.2	0.9	61.2	37.9
	女性	751	24.0	45.1	20.8	9.1	1.1	69.1	29.9
	その他	5	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	無回答	33	18.2	36.4	30.3	9.1	6.1	54.6	39.4
年齢別	10代	17	5.9	41.2	11.8	41.2	-	47.1	53.0
	20代	92	21.7	35.9	20.7	20.7	1.1	57.6	41.4
	30代	145	19.3	36.6	26.9	17.2	-	55.9	44.1
	40代	196	24.0	39.8	24.5	11.2	0.5	63.8	35.7
	50代	210	25.2	44.3	22.9	7.6	-	69.5	30.5
	60代	219	27.9	45.2	20.5	5.0	1.4	73.1	25.5
	70代以上	352	27.6	41.2	24.7	4.5	2.0	68.8	29.2
	無回答	9	11.1	11.1	44.4	11.1	22.2	22.2	55.5
関食 心育への 度別の	関心がある	939	25.7	42.4	23.1	8.0	0.9	68.1	31.1
	関心がない	200	23.0	35.5	24.5	15.5	1.5	58.5	40.0
	知らない	76	21.1	35.5	28.9	13.2	1.3	56.6	42.1
	無回答	25	20.0	52.0	16.0	4.0	8.0	72.0	20.0

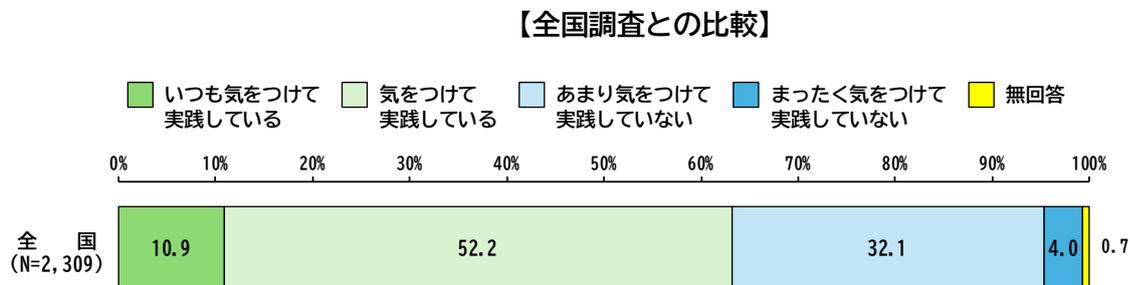
⑤ 野菜をたくさん食べるようにしている

単位：%

		サンプル数	いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答	『している』	『していない』
全 体		1240	45.9	37.7	12.1	3.3	1.0	83.6	15.4
性別	男性	451	36.8	39.7	16.9	5.5	1.1	76.5	22.4
	女性	751	51.1	36.1	9.9	2.0	0.9	87.2	11.9
	その他	5	40.0	60.0	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	51.5	42.4	-	3.0	3.0	93.9	3.0
年齢別	10代	17	35.3	41.2	17.6	5.9	-	76.5	23.5
	20代	92	31.5	41.3	19.6	7.6	-	72.8	27.2
	30代	145	35.2	44.1	17.2	2.8	0.7	79.3	20.0
	40代	196	39.3	43.4	12.2	5.1	-	82.7	17.3
	50代	210	46.2	41.0	11.4	1.4	-	87.2	12.8
	60代	219	48.9	38.8	7.8	2.7	1.8	87.7	10.5
	70代以上	352	56.0	28.1	11.1	2.8	2.0	84.1	13.9
	無回答	9	55.6	33.3	-	-	11.1	88.9	0.0
食育への関心度別	関心がある	939	50.1	37.5	9.9	1.9	0.6	87.6	11.8
	関心がない	200	29.0	39.5	22.0	7.5	2.0	68.5	29.5
	知らない	76	38.2	38.2	13.2	9.2	1.3	76.4	22.4
	無回答	25	48.0	28.0	12.0	4.0	8.0	76.0	16.0

《全国調査との比較》

全国調査とは、質問内容、選択肢が異なるが、回答選択肢に類似するものがあるため、参考資料として下図に示す。



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問12 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。（○は1つだけ）

(2) 食生活の改善や食育推進のために飲食店や職場・学校の食堂、市販のお弁当などに望むこと

問 10 食生活の改善や食育推進のため、あなたは、飲食店や職場・学校の食堂、市販のお弁当などに、どのようなことを望みますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

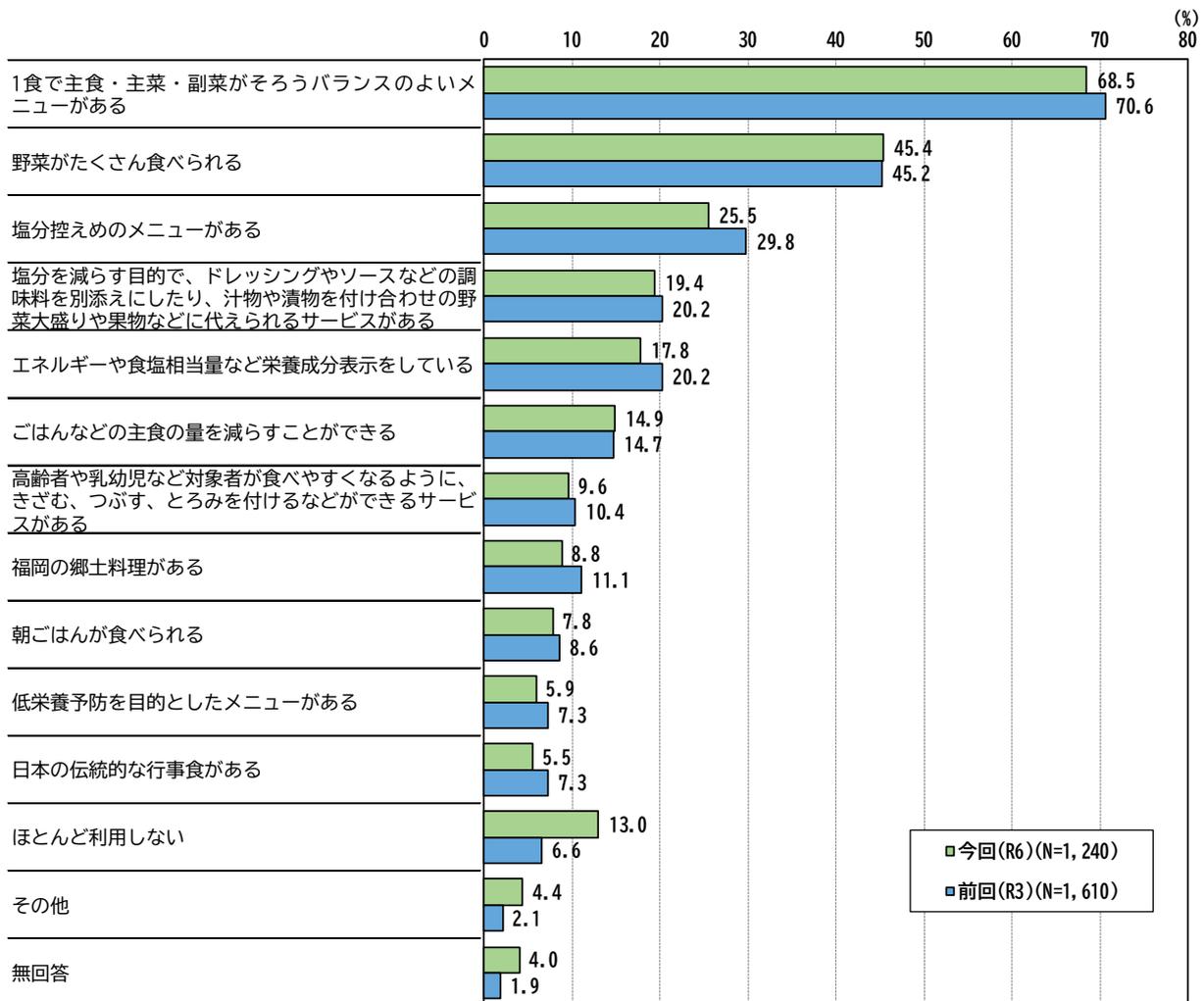
■全体結果

食生活の改善や食育推進のため、飲食店や職場・学校の食堂、市販の弁当などに望むこととしては、「1食で主食・主菜・副菜がそろそろバランスのよいメニューがある」が68.5%と最も高い。次いで「野菜がたくさん食べられる」が45.4%、「塩分控えめのメニューがある」が25.5%の順となっている。

■経年推移

「ほとんど利用しない」が前回の6.6%から13.0%に6.4ポイント増加している以外は、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年変化】



■属性別特徴

- 性別にみると、女性の方が男性よりも「1食で主食・主菜・副菜がそろそろバランスのよいメニューがある」(男性 63.4%－女性 72.4%)、「野菜がたくさん食べられる」(男性 40.4%－女性 48.1%)が高くなっている。
- 年齢別にみると、20代、30代、50代で「1食で主食・主菜・副菜がそろそろバランスのよいメニューがある」が7割台、30～50代では「野菜がたくさん食べられる」が5～6割台と他の年齢層よりも高くなっている。また、年齢が上がるほど「塩分控えめのメニューがある」が高くなっている。

【属性別食生活の改善や食育推進のために飲食店や職場・学校の食堂、市販のお弁当などに望むこと】

		サンプル数	1食で主食・主菜・副菜がそろそろバランスのよいメニューがある	野菜がたくさん食べられる	塩分控えめのメニューがある	塩分を減らす目的で、ドレッシングやソースなどの調味料を別添えにしたり、汁物や漬物を付け合わせの野菜大盛りや果物などに代えられるサービスがある	エネルギーや食塩相当量など栄養成分表示をしている	ごはんなどの主食の量を減らすことができる	高齢者や乳幼児など対象者が食べやすくなるように、きざむ、つぶす、とろみを付けるなどができるサービスがある	福岡の郷土料理がある	朝ごはんが食べられる	低栄養予防を目的としたメニューがある	日本の伝統的な行事食がある	ほとんど利用しない	その他	無回答
全 体		1240	68.5	45.4	25.5	19.4	17.8	14.9	9.6	8.8	7.8	5.9	5.5	13.0	4.4	4.0
性別	男性	451	63.4	40.4	25.3	17.3	16.6	10.6	8.6	11.3	11.3	6.7	5.3	15.5	4.4	4.2
	女性	751	72.4	48.1	26.0	20.6	18.5	17.4	10.1	7.6	5.9	5.5	5.5	11.1	4.3	3.9
	その他	5	20.0	80.0	20.0	60.0	20.0	-	20.0	-	-	40.0	40.0	-	-	-
	無回答	33	57.6	48.5	18.2	15.2	18.2	18.2	9.1	3.0	6.1	-	3.0	24.2	6.1	3.0
年齢別	10代	17	70.6	35.3	29.4	17.6	17.6	17.6	-	5.9	11.8	-	-	11.8	5.9	-
	20代	92	73.9	47.8	12.0	18.5	18.5	13.0	8.7	6.5	15.2	9.8	7.6	5.4	7.6	3.3
	30代	145	77.9	61.4	17.2	14.5	13.8	18.6	9.0	7.6	9.0	9.0	4.1	5.5	1.4	4.8
	40代	196	69.9	58.2	24.0	15.3	17.9	14.8	6.1	8.7	9.7	7.1	8.7	4.6	6.1	5.1
	50代	210	74.3	52.9	24.8	24.8	16.2	15.2	9.0	11.0	8.6	4.8	6.2	6.7	4.8	2.9
	60代	219	68.5	42.0	30.1	22.4	24.2	13.2	10.5	10.0	5.9	5.0	6.8	16.4	2.3	1.8
	70代以上	352	59.1	29.5	31.3	18.8	16.5	14.5	12.2	8.2	4.8	4.5	2.8	24.4	4.5	5.4
	無回答	9	66.7	33.3	-	33.3	11.1	22.2	11.1	-	11.1	-	-	11.1	11.1	-
職業別	自営業者	91	72.5	50.5	24.2	19.8	14.3	11.0	9.9	8.8	7.7	7.7	9.9	8.8	3.3	5.5
	会社員・団体職員	373	70.5	54.2	25.7	17.2	15.5	12.3	7.8	9.4	11.3	7.0	6.7	7.5	2.4	5.4
	公務員	39	84.6	56.4	28.2	15.4	20.5	17.9	2.6	5.1	7.7	2.6	17.9	2.6	7.7	-
	契約社員・派遣社員	48	68.8	50.0	18.8	16.7	20.8	29.2	12.5	10.4	6.3	4.2	2.1	8.3	6.3	6.3
	パート・アルバイト	176	73.3	48.9	25.0	25.0	19.9	15.9	11.9	8.0	5.1	5.1	5.7	9.1	5.7	1.7
	家事専業	166	70.5	44.6	24.1	20.5	21.1	16.3	10.8	6.6	4.8	4.2	3.6	19.3	4.8	3.6
	学生	39	69.2	35.9	15.4	25.6	20.5	12.8	2.6	12.8	15.4	2.6	2.6	7.7	7.7	-
	無職	256	58.2	28.5	30.9	18.4	16.4	16.4	11.3	8.6	6.3	6.6	2.7	23.4	3.9	4.7
	その他	37	62.2	40.5	16.2	16.2	24.3	10.8	8.1	16.2	8.1	8.1	5.4	16.2	10.8	-
	無回答	15	66.7	46.7	20.0	26.7	20.0	13.3	13.3	6.7	-	-	-	20.0	6.7	-

(3) 一日の全ての食事を一人で食べることがあるか

問 11 あなたは、一日の全ての食事を一人で食べることがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

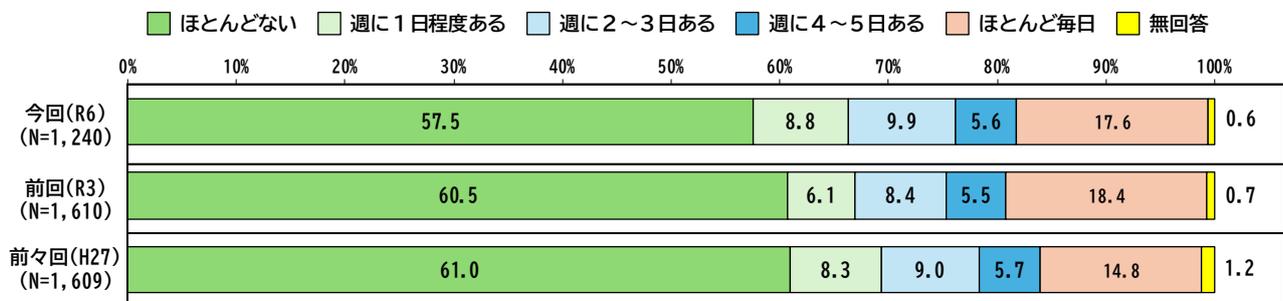
■全体結果

一日の全ての食事を一人で食べる頻度としては、「ほとんどない」が57.5%と最も高い。次いで「ほとんど毎日」が17.6%、「週に2～3日ある」が9.9%、「週に1日程度ある」が8.8%、「週に4～5日ある」が5.6%となっている。

■経年推移

「ほとんどない」は、前々回61.0%、前回60.5%、今回57.5%と減少傾向にある。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、20代、70代以上で「ほとんど毎日」が2割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 男性年齢別にみると、20代「ほとんど毎日」が27.3%と他の年齢層に比べ高くなっている。また、60代以上では「ほとんどない」が6割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 女性年齢別にみると、20代、60代、70歳以上で「ほとんど毎日」が2割台と他の年齢層に比べ高くなっている。また、30代、40代以上では「ほとんどない」が6割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 家族構成別にみると、単身世帯では「ほとんど毎日」が63.2%と他の世帯に比べ高くなっている。また、親子2世代（親と同居）世帯では「ほとんどない」が58.6%と他の世帯に比べ低くなっている。
- 朝食頻度別にみると、朝食をほとんど毎日食べている人では、「ほとんどない」が62.0%と他の食べる頻度に比べ高くなっている。

【属性別）一日の全ての食事を一人で食べることもあるか】

単位：%

		サンプル数	ほとんどない	週に1日程度ある	週に2～3日ある	週に4～5日ある	ほとんど毎日	無回答
全 体		1240	57.5	8.8	9.9	5.6	17.6	0.6
性別	男性	451	55.7	8.2	10.9	6.4	18.4	0.4
	女性	751	58.7	8.7	9.5	5.5	17.2	0.5
	その他	5	60.0	20.0	-	-	20.0	-
	無回答	33	54.5	18.2	9.1	-	15.2	3.0
年齢別	10代	17	47.1	23.5	23.5	-	5.9	-
	20代	92	42.4	8.7	18.5	7.6	22.8	-
	30代	145	60.7	6.9	11.7	6.9	13.8	-
	40代	196	60.2	7.1	9.2	8.2	14.3	1.0
	50代	210	55.2	11.9	10.5	7.6	14.8	-
	60代	219	60.7	6.8	11.0	2.7	18.7	-
	70代以上	352	59.1	9.1	5.4	4.3	21.0	1.1
	無回答	9	33.3	11.1	22.2	-	22.2	11.1
男性年齢別	10代	8	50.0	12.5	25.0	-	12.5	-
	20代	33	42.4	9.1	18.2	3.0	27.3	-
	30代	43	48.8	9.3	16.3	4.7	20.9	-
	40代	69	46.4	11.6	10.1	11.6	18.8	1.4
	50代	79	50.6	8.9	7.6	13.9	19.0	-
	60代	88	67.0	4.5	11.4	2.3	14.8	-
	70代以上	131	61.8	7.6	8.4	3.8	17.6	0.8
女性年齢別	10代	9	44.4	33.3	22.2	-	-	-
	20代	58	43.1	6.9	19.0	10.3	20.7	-
	30代	98	65.3	6.1	9.2	8.2	11.2	-
	40代	121	67.8	5.0	8.3	6.6	11.6	0.8
	50代	126	57.9	12.7	12.7	4.0	12.7	-
	60代	127	55.1	8.7	11.0	3.1	22.0	-
	70代以上	211	58.3	9.0	3.8	4.7	22.7	1.4
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-
家族構成別	単身	253	6.3	7.1	13.0	9.9	63.2	0.4
	夫婦のみ	382	70.4	9.9	8.4	5.0	5.8	0.5
	親子2世代（親と同居）	133	58.6	10.5	15.0	5.3	9.8	0.8
	親子2世代（子と同居）	372	77.4	8.1	6.7	4.0	3.8	-
	親子3世代	46	65.2	8.7	10.9	4.3	10.9	-
	その他	44	63.6	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5
	無回答	10	40.0	10.0	20.0	-	20.0	10.0
朝食頻度別	ほとんど毎日食べる	981	62.0	8.4	8.3	5.1	15.8	0.5
	週に4～5日食べる	70	42.9	10.0	14.3	10.0	22.9	-
	週に2～3日食べる	54	35.2	9.3	18.5	7.4	25.9	3.7
	ほとんど食べない	134	41.8	11.2	16.4	6.7	23.9	-
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-

5 郷土の食と食文化について

(1) 福岡の郷土料理の認知度

問12 あなたは、次の福岡の郷土料理について知っていますか。あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

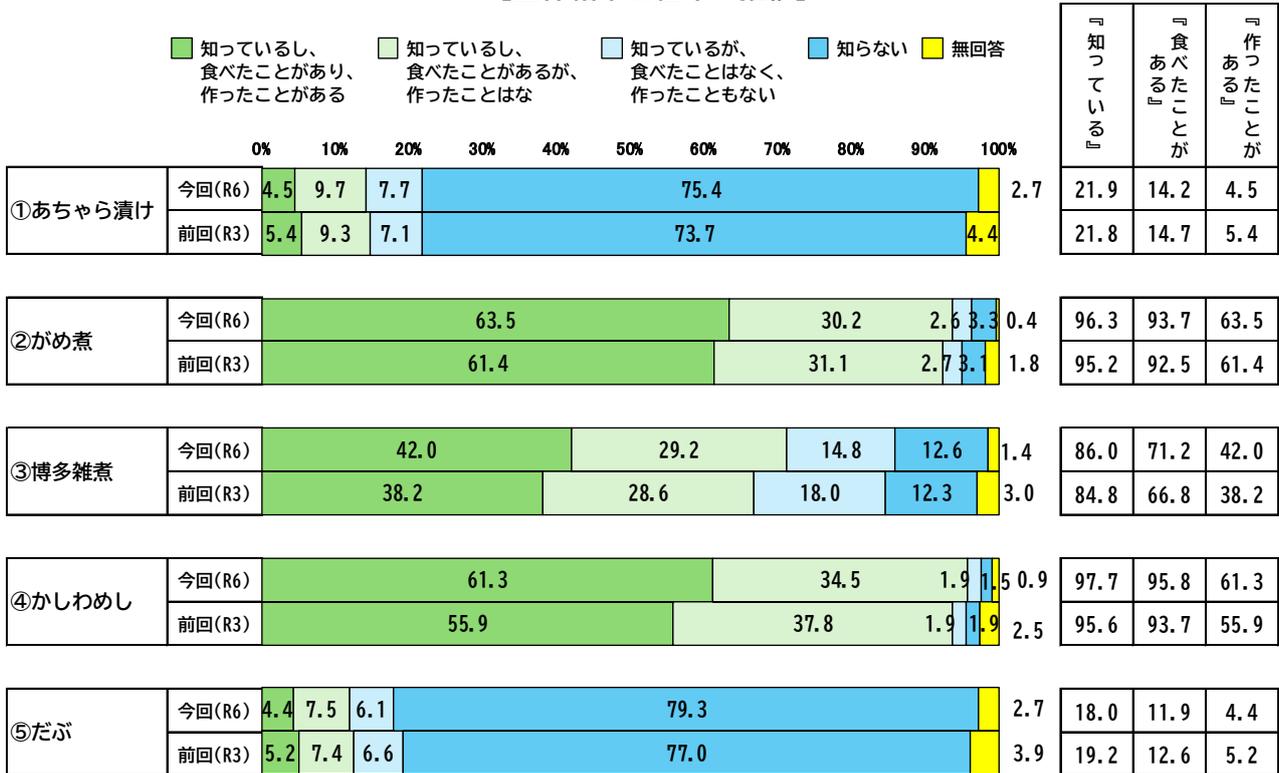
■全体結果

福岡の郷土料理については、「④かしわめし」、「②がめ煮」、「③博多雑煮」については、8～9割は知っており、食べてことや作ったことのある人も多くなっているが、「⑤だぶ」や「①あちゃら漬け」は『知っている』は2程度となっている。

■経年推移

④かしわめし、②がめ煮、③博多雑煮は、『知っている』、『食べたことがある』、『作ったことがある』が前回より増加しているが、①あちゃら漬け、⑤だぶは前回より減少している。

【全体結果と経年、推移】



(注1) 『知っている』 = 「知っているし、食べたことがあり、作ったことがある」 + 「知っているし、食べたことがあるが、作ったことはない」 + 「知っているが、食べたことはなく、作ったこともない」

(注2) 『食べたことがある』 = 「知っているし、食べたことがあり、作ったことがある」 + 「知っているし、食べたことがあるが、作ったことはない」

(注3) 『作ったことがある』 = 「知っているし、食べたことがあり、作ったことがある」

■属性別特徴

- 性別にみると、女性の方が男性よりも『知っている』、『食べたことがある』、『作ったことがある』が高くなっている。中でも『作ったことがある』は、②がめ煮、③博多雑煮、④かしわめしで、男女の差が大きい。

- 年齢別にみると、⑤だぶを除き、年齢が上がるほど『知っている』、『食べたことがある』、『作ったことがある』が高くなる傾向にあるが、『作ったことがある』で、その傾向が顕著である。

【属性別福岡の郷土料理の認知度】

① あちゃら漬け

単位：％

	サンプル数	た	た	た	知らない	無回答	『知っている』	『食べたことがある』	『作ったことがある』	
		た	た	た						
全体	1240	4.5	9.7	7.7	75.4	2.7	21.9	14.2	4.5	
性別	男性	451	3.1	7.5	4.7	81.4	3.3	15.3	10.6	3.1
	女性	751	5.5	11.1	9.3	72.2	2.0	25.9	16.6	5.5
	その他	5	-	-	20.0	80.0	-	20.0	0.0	0.0
	無回答	33	3.0	9.1	9.1	66.7	12.1	21.2	12.1	3.0
年齢別	10代	17	-	5.9	5.9	88.2	-	11.8	5.9	0.0
	20代	92	-	2.2	4.3	92.4	1.1	6.5	2.2	0.0
	30代	145	2.8	2.1	3.4	91.7	-	8.3	4.9	2.8
	40代	196	3.6	4.6	6.6	84.7	0.5	14.8	8.2	3.6
	50代	210	1.0	9.0	4.8	85.2	-	14.8	10.0	1.0
	60代	219	6.4	15.5	9.1	67.1	1.8	31.0	21.9	6.4
	70代以上	352	8.2	14.8	11.6	58.0	7.4	34.6	23.0	8.2
	無回答	9	-	-	11.1	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0

② がめ煮

単位：％

	サンプル数	た	た	た	知らない	無回答	『知っている』	『食べたことがある』	『作ったことがある』	
		た	た	た						
全体	1240	63.5	30.2	2.6	3.3	0.4	96.3	93.7	63.5	
性別	男性	451	37.5	53.4	3.5	4.9	0.7	94.4	90.9	37.5
	女性	751	79.0	16.4	2.1	2.4	0.1	97.5	95.4	79.0
	その他	5	60.0	20.0	-	20.0	-	80.0	80.0	60.0
	無回答	33	69.7	27.3	-	-	3.0	97.0	97.0	69.7
年齢別	10代	17	17.6	52.9	5.9	23.5	-	76.4	70.5	17.6
	20代	92	32.6	47.8	7.6	12.0	-	88.0	80.4	32.6
	30代	145	50.3	37.9	3.4	8.3	-	91.6	88.2	50.3
	40代	196	55.1	37.8	4.1	3.1	-	97.0	92.9	55.1
	50代	210	67.1	28.6	2.4	1.9	-	98.1	95.7	67.1
	60代	219	71.7	26.5	0.5	1.4	-	98.7	98.2	71.7
	70代以上	352	77.3	19.9	1.4	0.3	1.1	98.6	97.2	77.3
	無回答	9	44.4	44.4	-	-	11.1	88.8	88.8	44.4

③ 博多雑煮

単位：%

		サンプル数	た た 知 つ て い る し、 作 食 つ べ	作 た 知 つ て い る し、 食 べ	た た 知 つ て い る が、 作 食 つ べ	知 ら な い	無 回 答	『 知 つ て い る 』	『 食 べ た こ と が あ る 』	『 作 つ た こ と が あ る 』
全 体		1240	42.0	29.2	14.8	12.6	1.4	86.0	71.2	42.0
性 別	男性	451	27.1	43.5	12.0	15.7	1.8	82.6	70.6	27.1
	女性	751	51.0	21.2	16.4	10.5	0.9	88.6	72.2	51.0
	その他	5	40.0	20.0	-	40.0	-	60.0	60.0	40.0
	無回答	33	42.4	18.2	21.2	12.1	6.1	81.8	60.6	42.4
年 齢 別	10代	17	11.8	41.2	-	47.1	-	53.0	53.0	11.8
	20代	92	21.7	30.4	16.3	30.4	1.1	68.4	52.1	21.7
	30代	145	27.6	29.7	18.6	24.1	-	75.9	57.3	27.6
	40代	196	25.0	39.3	16.8	18.9	-	81.1	64.3	25.0
	50代	210	38.6	34.8	16.7	10.0	-	90.1	73.4	38.6
	60代	219	57.5	25.6	11.0	5.0	0.9	94.1	83.1	57.5
	70代以上	352	57.4	21.6	13.4	4.0	3.7	92.4	79.0	57.4
	無回答	9	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	66.6	33.3	11.1

④ かしわめし

単位：%

		サンプル数	た た 知 つ て い る し、 作 食 つ べ	作 た 知 つ て い る し、 食 べ	た た 知 つ て い る が、 作 食 つ べ	知 ら な い	無 回 答	『 知 つ て い る 』	『 食 べ た こ と が あ る 』	『 作 つ た こ と が あ る 』
全 体		1240	61.3	34.5	1.9	1.5	0.9	97.7	95.8	61.3
性 別	男性	451	39.7	53.4	2.9	2.2	1.8	96.0	93.1	39.7
	女性	751	74.3	23.4	1.2	0.8	0.3	98.9	97.7	74.3
	その他	5	60.0	20.0	-	20.0	-	80.0	80.0	60.0
	無回答	33	60.6	30.3	3.0	3.0	3.0	93.9	90.9	60.6
年 齢 別	10代	17	17.6	70.6	11.8	-	-	100.0	88.2	17.6
	20代	92	39.1	54.3	1.1	5.4	-	94.5	93.4	39.1
	30代	145	50.3	46.9	0.7	1.4	0.7	97.9	97.2	50.3
	40代	196	55.1	41.3	1.5	2.0	-	97.9	96.4	55.1
	50代	210	64.8	31.9	1.9	1.4	-	98.6	96.7	64.8
	60代	219	68.0	29.2	0.9	1.4	0.5	98.1	97.2	68.0
	70代以上	352	71.6	23.3	2.8	-	2.3	97.7	94.9	71.6
	無回答	9	33.3	44.4	-	11.1	11.1	77.7	77.7	33.3

⑤ だぶ

単位：%

		サンプル数	た こと が あ る	知 つ て い る し 、 作 っ た こ と は あ る が 、 食 べ な い	知 つ て い る が 、 作 っ た こ と は な く 、 食 べ な い	知 ら な い	無 回 答	『 知 つ て い る 』	『 食 べ た こ と が あ る 』	『 作 っ た こ と が あ る 』
全 体		1240	4.4	7.5	6.1	79.3	2.7	18.0	11.9	4.4
性別	男性	451	2.4	6.7	4.0	83.8	3.1	13.1	9.1	2.4
	女性	751	5.7	7.9	7.3	76.8	2.3	20.9	13.6	5.7
	その他	5	-	-	-	100.0	-	0.0	0.0	0.0
	無回答	33	-	12.1	9.1	69.7	9.1	21.2	12.1	0.0
年齢別	10代	17	5.9	23.5	-	70.6	-	29.4	29.4	5.9
	20代	92	-	10.9	4.3	83.7	1.1	15.2	10.9	0.0
	30代	145	2.8	7.6	2.8	86.2	0.7	13.2	10.4	2.8
	40代	196	2.0	6.1	9.2	82.7	-	17.3	8.1	2.0
	50代	210	3.3	8.1	7.1	81.4	-	18.5	11.4	3.3
	60代	219	6.4	9.6	6.8	76.3	0.9	22.8	16.0	6.4
	70代以上	352	6.8	5.1	5.7	74.4	8.0	17.6	11.9	6.8
	無回答	9	-	-	-	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0

(2) 行事食や郷土料理を作ったり食べたりしているか

問 13 あなたは、季節や地域の行事のときの行事食や福岡の郷土料理を作ったり食べたりしていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

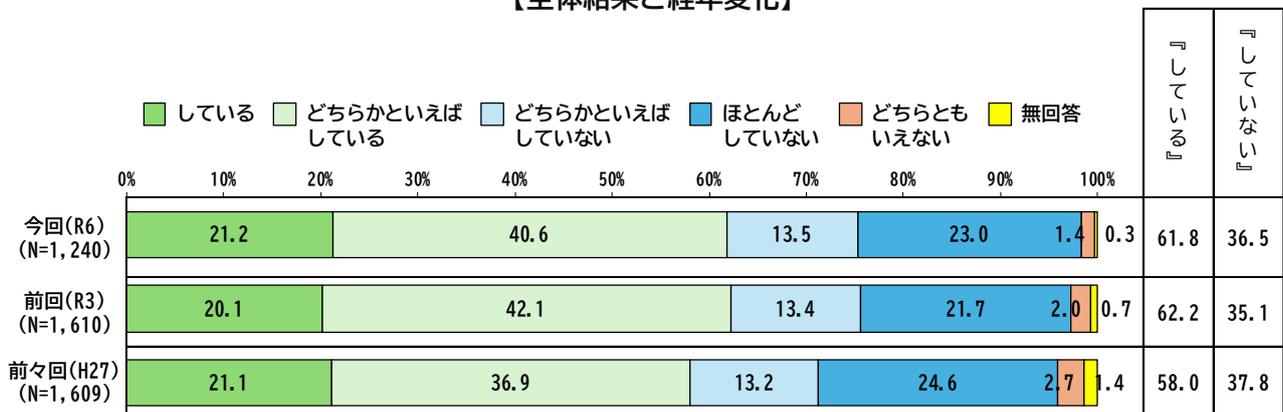
■全体結果

季節や地域の行事のときの行事食や福岡の郷土料理を作ったり食べたりすることについては、「している」が21.2%、「どちらかといえばしている」が40.6%、両者を合計した『している』は61.8%となっている。一方、『していない』は36.5%（「ほとんどしていない」23.0%+「どちらかといえばしていない」13.5%）となっている。

■経年推移

『している』は、前々回 58.8%、前回 62.2%、今回 61.8%となっており、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年変化】



(注1) 『している』 = 「している」 + 「どちらかといえばしている」

(注2) 『していない』 = 「ほとんどしていない」 + 「どちらかといえばしていない」

■属性別特徴

- 性別にみると、女性では『している』が67.6%と、男性52.3%より高くなっている。
- 年齢別にみると、60代以上で『している』が6割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 男性年齢別にみると、50代で『している』が35.5%と年齢層の中で最も低く、70代以上で61.1%と年齢層の中で最も高い。
- 女性年齢別にみると、60代以上で『している』が7割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 家族構成別にみると、親子2世代（親と同居）、親子3世代世帯で『している』が7割台と他の世帯に比べ高くなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人で『している』が66.6%と、関心のない人43.0%、知らない人55.2%よりも高くなっている。

【属性別行事食や郷土料理を作ったり食べたりしているか】

単位：％

		サンプル数	している	どちらかといえ ばし	どちらかといえ ばし	ほとんどして いない	どちらともい えない	無 回 答	『している』	『していない』
全 体		1240	21.2	40.6	13.5	23.0	1.4	0.3	61.8	36.5
性別	男性	451	17.5	34.8	15.3	29.9	2.0	0.4	52.3	45.2
	女性	751	23.3	44.3	12.4	18.6	1.1	0.3	67.6	31.0
	その他	5	-	60.0	-	40.0	-	-	60.0	40.0
	無回答	33	27.3	30.3	18.2	24.2	-	-	57.6	42.4
年齢別	10代	17	23.5	47.1	5.9	23.5	-	-	70.6	29.4
	20代	92	16.3	40.2	9.8	29.3	4.3	-	56.5	39.1
	30代	145	20.0	39.3	15.2	24.8	0.7	-	59.3	40.0
	40代	196	18.9	40.8	10.2	29.1	1.0	-	59.7	39.3
	50代	210	18.1	34.8	17.6	28.6	1.0	-	52.9	46.2
	60代	219	22.8	44.3	12.8	17.8	1.8	0.5	67.1	30.6
	70代以上	352	25.0	42.3	14.2	16.5	1.1	0.9	67.3	30.7
無回答	9	22.2	22.2	11.1	44.4	-	-	44.4	55.5	
男性年齢別	10代	8	-	62.5	12.5	25.0	-	-	62.5	37.5
	20代	33	18.2	36.4	12.1	30.3	3.0	-	54.6	42.4
	30代	43	11.6	39.5	18.6	27.9	2.3	-	51.1	46.5
	40代	69	21.7	27.5	13.0	34.8	2.9	-	49.2	47.8
	50代	79	8.9	26.6	22.8	40.5	1.3	-	35.5	63.3
	60代	88	18.2	37.5	13.6	27.3	2.3	1.1	55.7	40.9
70代以上	131	22.9	38.2	13.0	23.7	1.5	0.8	61.1	36.7	
女性年齢別	10代	9	44.4	33.3	-	22.2	-	-	77.7	22.2
	20代	58	15.5	43.1	8.6	27.6	5.2	-	58.6	36.2
	30代	98	22.4	40.8	14.3	22.4	-	-	63.2	36.7
	40代	121	16.5	48.8	8.3	26.4	-	-	65.3	34.7
	50代	126	24.6	37.3	15.1	22.2	0.8	-	61.9	37.3
	60代	127	26.0	48.8	11.8	11.8	1.6	-	74.8	23.6
	70代以上	211	26.5	45.5	14.2	11.8	0.9	0.9	72.0	26.0
無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0	
居住区別	東区	287	20.2	39.7	14.6	23.7	1.4	0.3	59.9	38.3
	博多区	154	24.7	33.1	9.1	32.5	0.6	-	57.8	41.6
	中央区	158	17.7	39.9	17.7	22.8	1.3	0.6	57.6	40.5
	南区	208	16.8	48.1	12.5	20.7	1.9	-	64.9	33.2
	城南区	100	20.0	45.0	14.0	17.0	3.0	1.0	65.0	31.0
	早良区	178	25.3	39.9	13.5	20.8	0.6	-	65.2	34.3
	西区	145	26.2	37.9	13.1	20.7	1.4	0.7	64.1	33.8
	無回答	10	10.0	40.0	10.0	40.0	-	-	50.0	50.0
家族構成別	単身	253	11.1	32.4	12.6	40.3	3.6	-	43.5	52.9
	夫婦のみ	382	24.6	39.8	14.7	19.6	0.8	0.5	64.4	34.3
	親子2世代（親と同居）	133	28.6	44.4	11.3	15.0	0.8	-	73.0	26.3
	親子2世代（子と同居）	372	21.2	46.8	13.7	17.7	0.3	0.3	68.0	31.4
	親子3世代	46	34.8	43.5	10.9	8.7	2.2	-	78.3	19.6
	その他	44	15.9	31.8	18.2	27.3	4.5	2.3	47.7	45.5
	無回答	10	10.0	20.0	10.0	60.0	-	-	30.0	70.0
食育への 関心度別	関心がある	939	22.9	43.7	13.1	19.3	0.9	0.2	66.6	32.4
	関心がない	200	13.0	30.0	15.5	38.0	3.5	-	43.0	53.5
	知らない	76	19.7	35.5	11.8	28.9	2.6	1.3	55.2	40.7
	無回答	25	28.0	24.0	20.0	24.0	-	4.0	52.0	44.0

6 食品ロスについて

(1)「食品ロス」の認知度

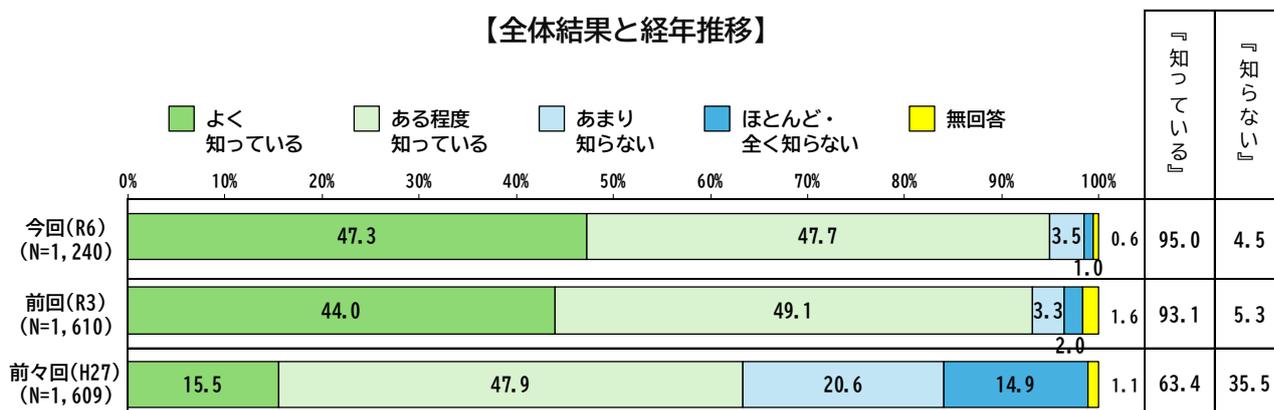
問 14 あなたは、「食品ロス」という問題を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

「食品ロス」という問題については、「よく知っている」が47.3%、「ある程度知っている」が47.7%、両者を合計した『知っている』は95.0%となっている。一方、『知らない』は4.5%（「ほとんど・全く知らない」1.0%+「あまり知らない」3.5%）となっている。

■経年推移

『知っている』は、前々回の63.4%から前回は93.1%に大幅に増加したが、今回は95.0%となっており、前回から大きな変化はみられない。



(注1)『知っている』 = 「よく知っている」 + 「ある程度知っている」
 (注2)『知らない』 = 「ほとんど、まったく知らない」 + 「あまり知らない」

■属性別特徴

- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、60代以上で「よく知っている」、20代、30代、40代、50代で「ある程度知っている」が5割台と他の年齢層に比べ高くなっているが、『知っている』はすべての年齢層で9割台となっている。
- 男性年齢別にみると、40代で『知っている』が8割台と他の年齢層に比べ低くなっている。
- 女性年齢別にみると、『知っている』がすべての年齢層で9割台となっている。

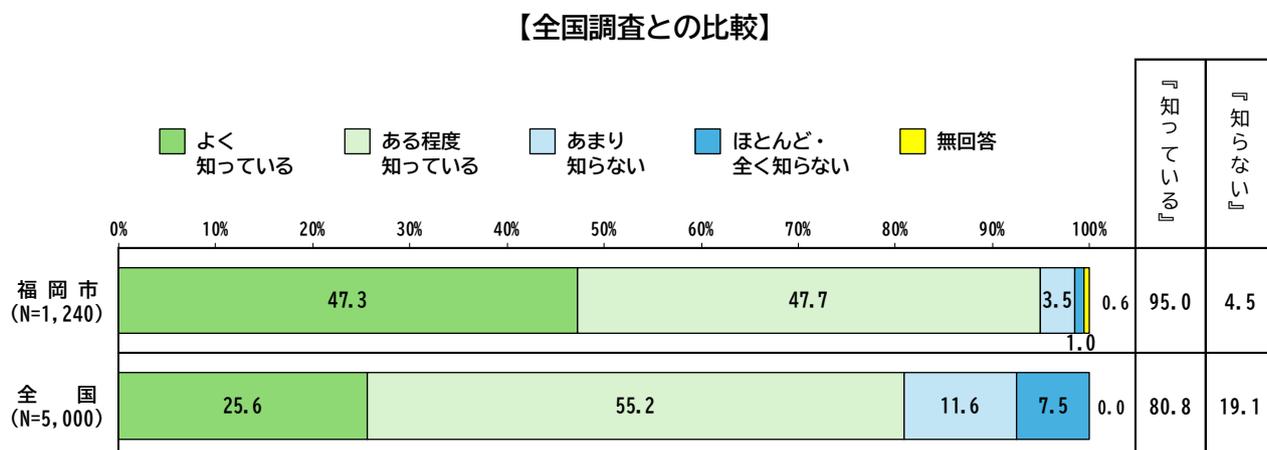
【属性別「食品ロス」の認知度】

単位：%

		サンプル数	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	ほとんど・全く知らない	無回答	『知っている』	『知らない』
全 体		1240	47.3	47.7	3.5	1.0	0.6	95.0	4.5
性別	男性	451	47.5	46.1	5.5	0.4	0.4	93.6	5.9
	女性	751	47.1	49.0	2.0	1.3	0.5	96.1	3.3
	その他	5	40.0	60.0	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	51.5	36.4	9.1	-	3.0		
年齢別	10代	17	47.1	52.9	-	-	-	100.0	0.0
	20代	92	40.2	56.5	2.2	1.1	-	96.7	3.3
	30代	145	41.4	51.0	5.5	0.7	1.4	92.4	6.2
	40代	196	41.3	52.0	5.6	0.5	0.5	93.3	6.1
	50代	210	45.2	51.9	2.4	0.5	-	97.1	2.9
	60代	219	50.7	45.7	2.7	0.9	-	96.4	3.6
	70代以上	352	54.3	40.3	2.8	1.7	0.9	94.6	4.5
	無回答	9	44.4	33.3	11.1	-	11.1	77.7	11.1
男性年齢別	10代	8	25.0	75.0	-	-	-	100.0	0.0
	20代	33	36.4	57.6	6.1	-	-	94.0	6.1
	30代	43	37.2	53.5	7.0	2.3	-	90.7	9.3
	40代	69	44.9	43.5	10.1	-	1.4	88.4	10.1
	50代	79	48.1	48.1	3.8	-	-	96.2	3.8
	60代	88	51.1	42.0	5.7	1.1	-	93.1	6.8
	70代以上	131	53.4	42.0	3.8	-	0.8	95.4	3.8
女性年齢別	10代	9	66.7	33.3	-	-	-	100.0	0.0
	20代	58	41.4	56.9	-	1.7	-	98.3	1.7
	30代	98	41.8	51.0	5.1	-	2.0	92.8	5.1
	40代	121	38.0	58.7	2.5	0.8	-	96.7	3.3
	50代	126	43.7	54.0	1.6	0.8	-	97.7	2.4
	60代	127	50.4	48.0	0.8	0.8	-	98.4	1.6
	70代以上	211	55.9	38.4	1.9	2.8	0.9	94.3	4.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	0.0
職業別	自営業者	91	49.5	46.2	2.2	2.2	-	95.7	4.4
	会社員・団体職員	373	43.7	50.4	5.6	0.3	-	94.1	5.9
	公務員	39	41.0	56.4	2.6	-	-	97.4	2.6
	契約社員・派遣社員	48	45.8	52.1	2.1	-	-	97.9	2.1
	パート・アルバイト	176	50.0	44.9	4.0	0.6	0.6	94.9	4.6
	家事専業	166	50.6	47.6	-	1.2	0.6	98.2	1.2
	学生	39	46.2	53.8	-	-	-	100.0	0.0
	無職	256	49.2	45.3	3.5	0.8	1.2	94.5	4.3
	その他	37	45.9	40.5	2.7	8.1	2.7	86.4	10.8
	無回答	15	53.3	26.7	6.7	6.7	6.7	80.0	13.4

《全国調査との比較》

全国調査と比較すると、『知っている』は、福岡市では 95.0%だが、全国では 80.8%となっており、福岡市の方が 14.2 ポイント高くなっている。



※全国調査 出典 令和5年度 第2回消費者生活意識調査（消費者庁 消費者教育推進課 食品ロス削減推進室）

全国調査質問 問1 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。以下の項目のうち、当てはまるものを一つお選びください。（単一回答）

(2) 食品ロスを軽減するために実践していること

問 14-2 <<問 14 で「1」「2」と回答した方におたずねします。>>

あなたは、「食品ロス」を軽減するために実践していることはありますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

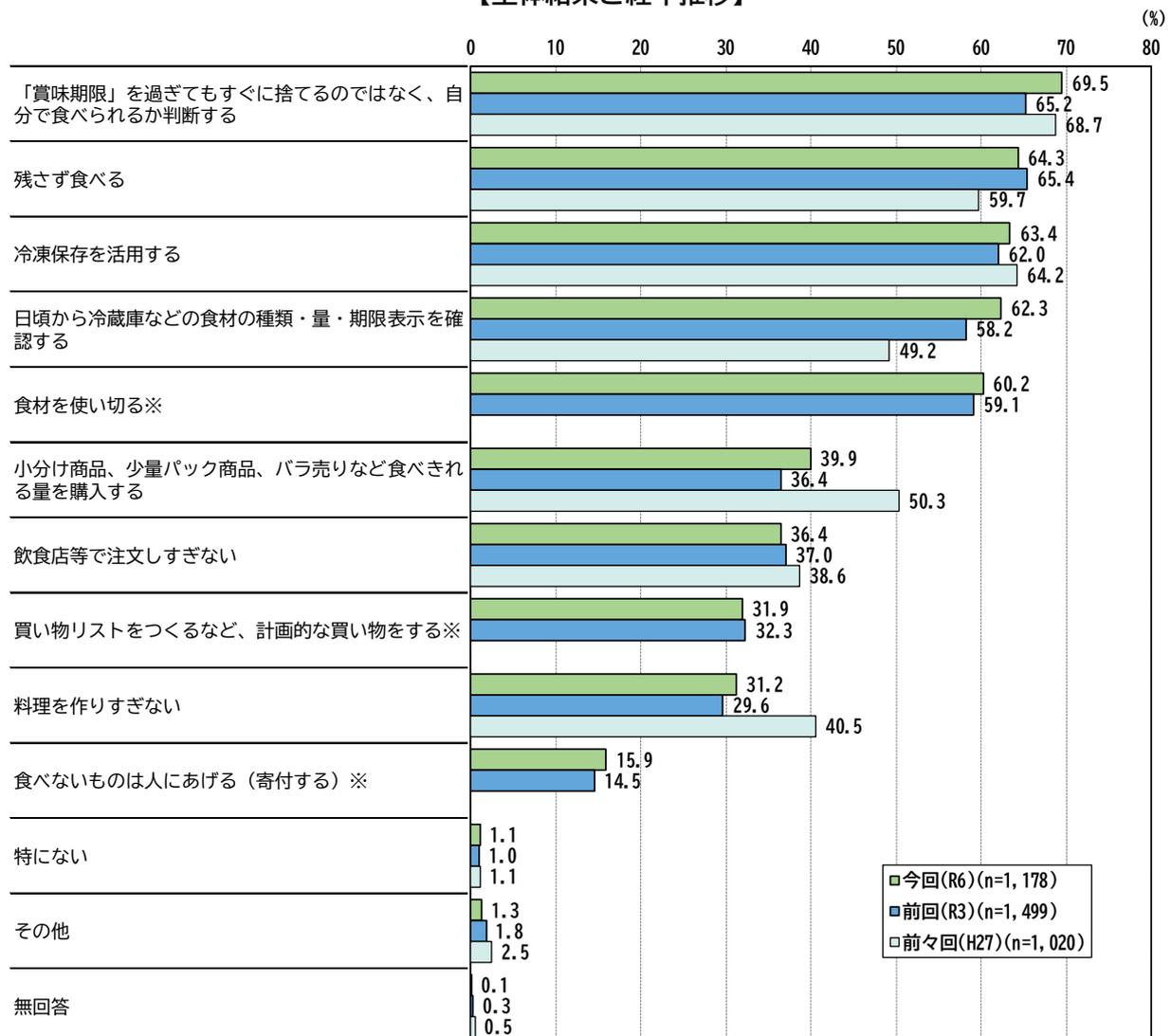
■全体結果

「食品ロス」を軽減するために実践していることとしては、「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が69.5%と最も高い。次いで「残さず食べる」が64.3%、「冷凍保存を活用する」が63.4%、「日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する」が62.3%、「食材を使い切る」が60.2%の順となっている。

■経年推移

「日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する」（前々回 49.2%、前回 58.2%、今回 62.3%）は増加傾向、「飲食店等で注文しすぎない」（前々回 38.6%、前回 37.0%、今回 36.4%）は減少傾向にある。また、「小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど食べきれの量を購入する」、「料理を作りすぎない」は前々回に比べ前回・今回にかけて減少幅が他の項目に比べ大きくなっている。

【全体結果と経年推移】



※前回（R3）より設定した選択肢

■属性別特徴

- 性別にみると、ほとんどの項目で、女性の方が男性よりも高くなっている。中でも差の大きいものは、「冷凍保存を活用する」(男性 49.3%－女性 71.6%)、「買い物リストをつくるなど、計画的な買い物をする」(男性 19.7%－女性 39.1%)、「食材を使い切る」(男性 48.8%－女性 66.8%)である。
- 年齢別にみると、30代、40代で「残さず食べる」、40代で「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」、「食材を使い切る」が7割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 男性年齢別にみると、20～40代で「残さず食べる」が7割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 女性年齢別にみると、50代以上でほとんどの項目で全体の割合よりも高くなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人とない人で差が大きいのは、「食材を使い切る」、「冷凍保存を活用する」、「日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する」の3つである。

【属性別食品ロスを軽減するために実践していること】

単位：%

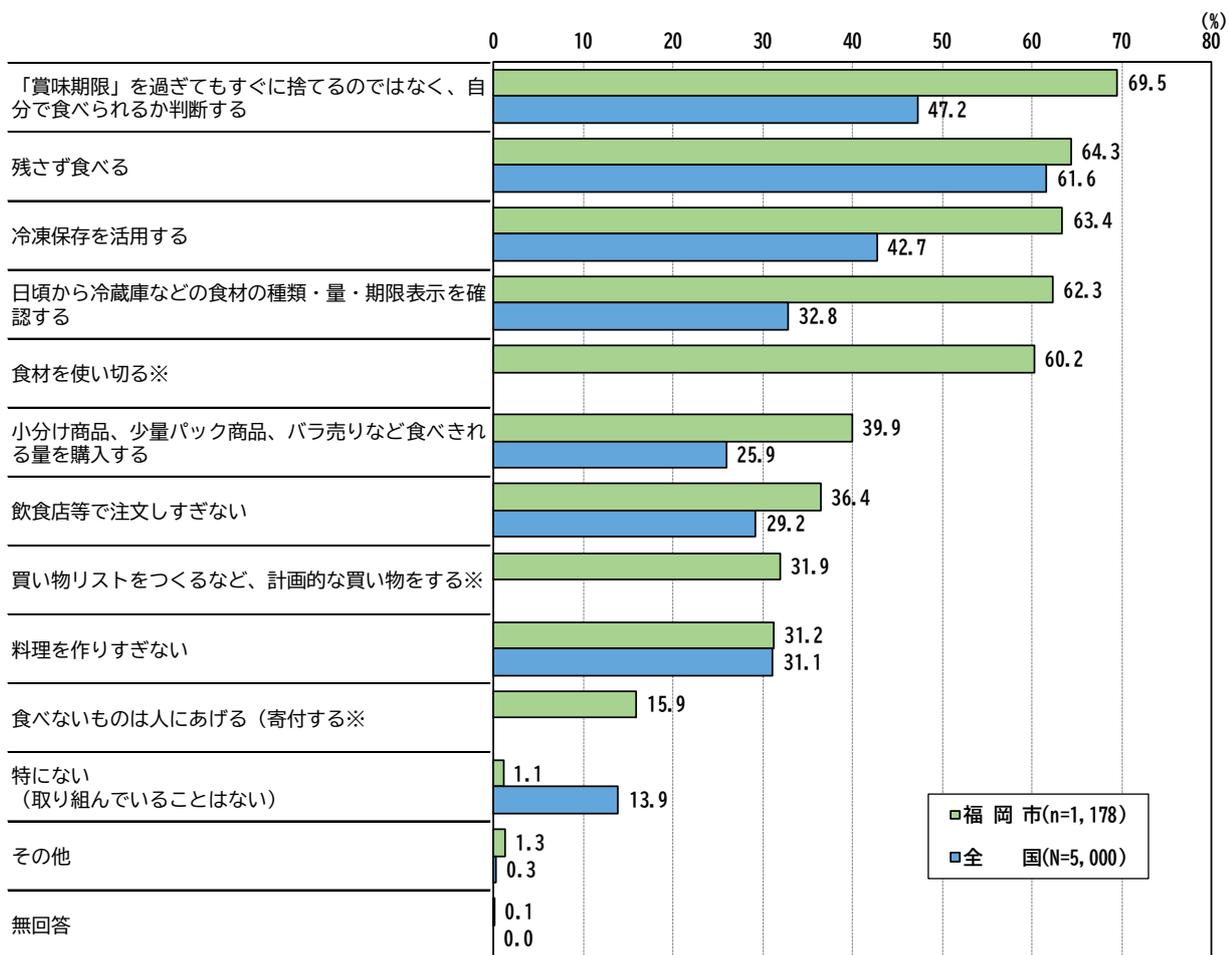
	サンプル数	自分で捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	賞味期限を過ぎてでも「残さず食べる」	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	食材を使い切る	小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど食べきれぬ量を購入する	飲食店等で注文しすぎない	買い物リストをつくるなど計画的な買い物をする	料理を作りすぎない	食べないものは人にあげる(寄付する)	特になし	その他	無回答	
全体	1178	69.5	64.3	63.4	62.3	60.2	39.9	36.4	31.9	31.2	15.9	1.1	1.3	0.1	
性別	男性	422	66.8	69.9	49.3	52.8	48.8	32.0	34.4	19.7	25.8	10.4	1.2	0.7	-
	女性	722	71.6	61.1	71.6	67.7	66.8	44.2	37.7	39.1	34.1	19.0	1.0	1.4	0.1
	その他	5	60.0	80.0	40.0	60.0	60.0	40.0	60.0	-	20.0	-	-	20.0	-
	無回答	29	58.6	58.6	69.0	65.5	62.1	48.3	31.0	37.9	37.9	20.7	3.4	3.4	-
年齢別	10代	17	52.9	94.1	41.2	52.9	52.9	29.4	29.4	11.8	23.5	17.6	-	-	-
	20代	89	60.7	64.0	64.0	50.6	50.6	39.3	43.8	27.0	18.0	15.7	3.4	1.1	-
	30代	134	64.2	70.1	67.9	59.7	62.7	35.1	29.9	33.6	25.4	11.9	2.2	1.5	-
	40代	183	78.1	71.6	61.2	61.7	71.6	36.1	36.1	34.4	23.5	16.4	0.5	-	-
	50代	204	68.6	66.2	62.3	60.8	65.2	41.7	45.1	33.8	33.3	19.6	0.5	1.0	-
	60代	211	73.0	58.8	61.1	64.5	55.9	42.7	35.1	29.4	35.5	19.4	0.9	0.5	-
	70代以上	333	69.1	59.5	66.1	66.7	55.6	42.0	32.7	32.1	37.5	12.6	0.6	2.7	0.3
	無回答	7	42.9	28.6	57.1	71.4	57.1	28.6	57.1	57.1	28.6	14.3	14.3	-	-
男性年齢別	10代	8	75.0	87.5	37.5	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-
	20代	31	58.1	71.0	51.6	51.6	48.4	35.5	45.2	12.9	22.6	19.4	-	-	-
	30代	39	46.2	79.5	51.3	43.6	48.7	30.8	20.5	20.5	28.2	7.7	7.7	2.6	-
	40代	61	75.4	75.4	44.3	44.3	60.7	26.2	36.1	32.8	21.3	9.8	-	-	-
	50代	76	63.2	68.4	43.4	48.7	52.6	32.9	39.5	17.1	22.4	13.2	1.3	1.3	-
	60代	82	73.2	69.5	46.3	57.3	51.2	34.1	37.8	13.4	22.0	8.5	1.2	-	-
	70代以上	125	68.8	64.0	56.8	60.8	40.0	33.6	31.2	20.8	33.6	8.8	-	0.8	-
女性年齢別	10代	9	33.3	100.0	44.4	66.7	66.7	44.4	44.4	11.1	33.3	22.2	-	-	-
	20代	57	63.2	59.6	71.9	50.9	50.9	42.1	42.1	35.1	14.0	14.0	5.3	-	-
	30代	91	70.3	65.9	73.6	64.8	68.1	37.4	34.1	38.5	24.2	13.2	-	-	-
	40代	117	78.6	70.1	70.1	69.2	76.1	40.2	35.0	35.0	23.9	20.5	0.9	-	-
	50代	123	73.2	65.0	74.0	69.1	73.2	48.0	50.4	45.5	39.0	22.0	-	0.8	-
	60代	125	75.2	52.0	71.2	69.6	59.2	47.2	32.8	39.2	44.8	27.2	0.8	0.8	-
	70代以上	199	68.8	55.8	71.4	70.9	66.3	46.2	34.2	39.7	40.7	15.1	1.0	4.0	0.5
	無回答	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
食育への関心度別	関心がある	918	71.1	65.1	66.9	64.3	63.9	39.8	37.6	34.6	32.5	16.2	0.7	1.3	0.1
	関心がない	180	64.4	60.6	51.1	54.4	46.1	40.6	32.8	23.3	23.9	15.6	3.3	1.7	-
	知らない	57	63.2	64.9	47.4	56.1	43.9	42.1	29.8	17.5	31.6	14.0	-	-	-
	無回答	23	60.9	56.5	60.9	60.9	60.9	34.8	34.8	26.1	34.8	8.7	4.3	-	-

《全国調査との比較》

全国調査と比較すると、福岡市では「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が最も高いが、全国調査では「残さず食べる」が最も高くなっている。

他の項目でも、福岡市と全国で差がみられるが、これは、福岡市では、食品ロスについて「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答した人が対象であるのに対し、全国調査では全員回答となっていることにも留意する必要がある。

【全国調査との比較】



※全国調査 出典 令和5年度 第2回消費者生活意識調査（消費者庁 消費者教育推進課 食品ロス削減推進室）

全国調査質問 問2（全員回答）あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。（複数回答）

7 食の安全について

(1) 安全な食生活を送るための取り組みの実践状況

問15 安全な食生活を送るためのポイントとして、以下の項目をどの程度実践していますか。あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

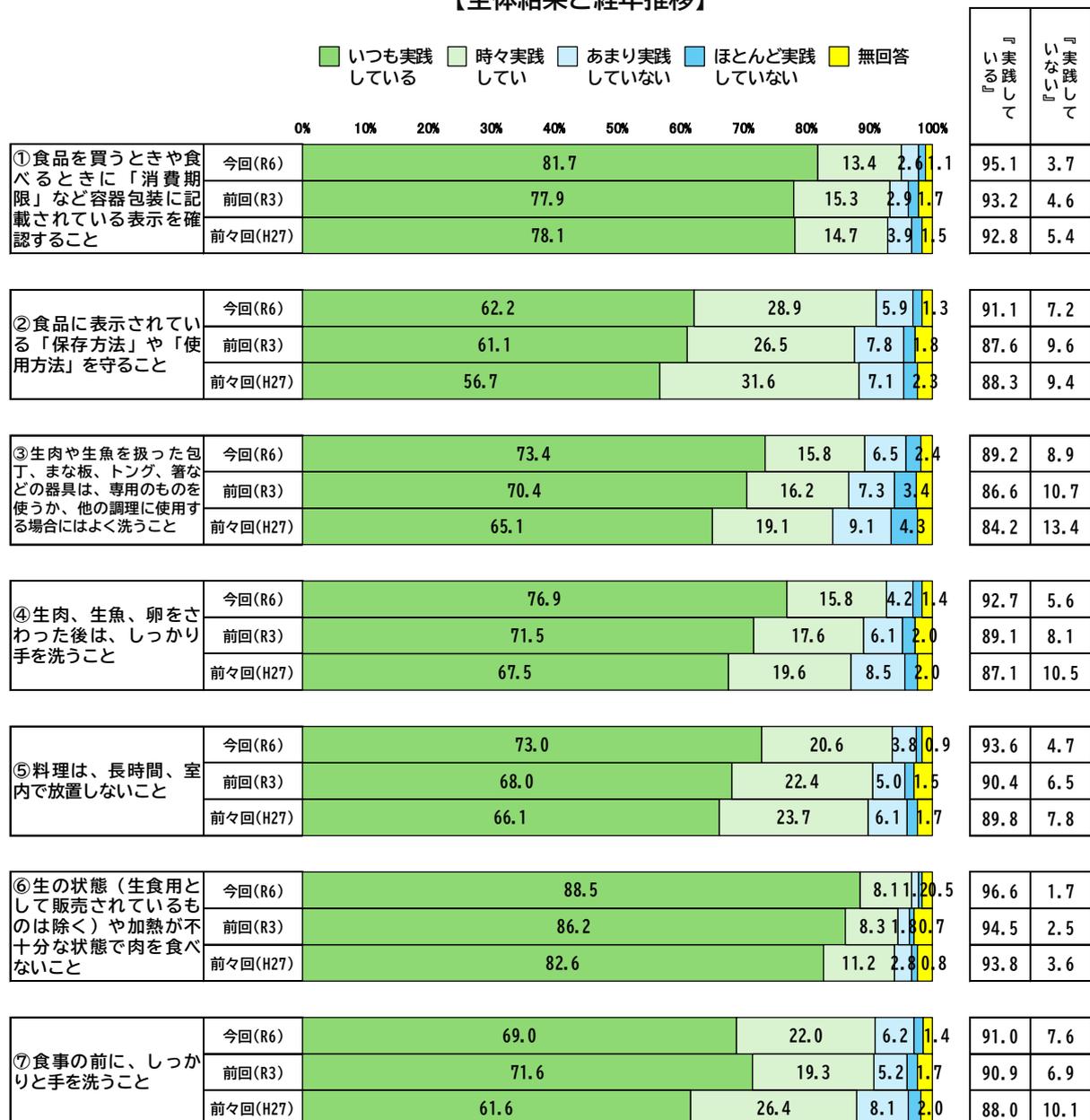
■全体結果

「③生肉や生魚を扱った包丁、まな板、トンゴ、箸などの器具は、専用のものを使うか、他の調理に使用する場合にはよく洗うこと」だけが『実践している』が9割を下回っている。

■経年推移

各取り組みとも『実践している』が着実に増加している。

【全体結果と経年推移】



※グラフを見やすくするために「無回答」のパーセントは表示していない。

(注1) 『実践している』 = 「いつも実践している」 + 「時々実践している」

(注2) 『実践していない』 = 「ほとんど実践していない」 + 「あまり実践していない」

① 食品を買うときや食るときに容器包装記載表示を確認すること

- 性別にみると、女性では「いつも実践している」が87.4%と、男性72.3%より高く、男性では「時々実践している」が20.2%と、女性9.3%より高くなっている。
- 男性年齢別にみると、30代で『実践している』が8割台と他の年齢層に比べ低くなっている。
- 女性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が9割台となっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では「いつも実践している」が84.3%と、関心のない人（75.5%）、知らない人（72.4%）よりも高くなっている。

単位：%

		サンプル数	いつも実践している	時々実践している	あまり実践していない	ほとんど実践していない	無回答	『実践している』	『実践していない』
全 体		1240	81.7	13.4	2.6	1.1	1.2	95.1	3.7
性別	男性	451	72.3	20.2	4.4	2.2	0.9	92.5	6.6
	女性	751	87.4	9.3	1.6	0.5	1.2	96.7	2.1
	その他	5	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	78.8	15.2	-	-	6.1	94.0	0.0
男性年齢別	10代	8	50.0	50.0	-	-	-	100.0	0.0
	20代	33	66.7	24.2	6.1	3.0	-	90.9	9.1
	30代	43	67.4	20.9	9.3	2.3	-	88.3	11.6
	40代	69	66.7	26.1	4.3	2.9	-	92.8	7.2
	50代	79	77.2	15.2	3.8	3.8	-	92.4	7.6
	60代	88	71.6	20.5	3.4	2.3	2.3	92.1	5.7
	70代以上	131	77.1	16.8	3.8	0.8	1.5	93.9	4.6
女性年齢別	10代	9	77.8	11.1	-	11.1	-	88.9	11.1
	20代	58	93.1	5.2	1.7	-	-	98.3	1.7
	30代	98	83.7	11.2	3.1	-	2.0	94.9	3.1
	40代	121	90.1	7.4	0.8	0.8	0.8	97.5	1.6
	50代	126	91.3	7.1	0.8	-	0.8	98.4	0.8
	60代	127	87.4	10.2	1.6	-	0.8	97.6	1.6
	70代以上	211	83.9	11.4	1.9	0.9	1.9	95.3	2.8
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
関心度別の食育への	関心がある	939	84.3	12.6	1.6	0.5	1.0	96.9	2.1
	関心がない	200	75.5	16.0	5.5	3.0	-	91.5	8.5
	知らない	76	72.4	14.5	7.9	3.9	1.3	86.9	11.8
	無回答	25	60.0	20.0	-	-	20.0	80.0	0.0

② 食品に表示されている「保存方法」や「使用方法」を守ること

- 性別にみると、女性では『実践している』が94.4%と、男性85.6%より高くなっている。
- 男性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が8割台となっている。
- 女性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が9割台となっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『実践している』が93.6%と、関心のない人(86.0%)、知らない人(76.3%)よりも高くなっている。

単位：%

		サンプル数	いつも実践している	時々実践している	あまり実践していない	ほとんど実践していない	無回答	『実践している』	『実践していない』
全 体		1240	62.2	28.9	5.9	1.3	1.8	91.1	7.2
性別	男性	451	53.4	32.2	10.4	2.7	1.3	85.6	13.1
	女性	751	67.2	27.2	3.3	0.5	1.7	94.4	3.8
	その他	5	80.0	20.0	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	63.6	24.2	3.0	-	9.1	87.8	3.0
男性年齢別	10代	8	25.0	37.5	25.0	12.5	-	62.5	37.5
	20代	33	57.6	30.3	12.1	-	-	87.9	12.1
	30代	43	41.9	46.5	7.0	4.7	-	88.4	11.7
	40代	69	52.2	33.3	11.6	2.9	-	85.5	14.5
	50代	79	58.2	30.4	7.6	3.8	-	88.6	11.4
	60代	88	53.4	28.4	13.6	3.4	1.1	81.8	17.0
	70代以上	131	55.7	30.5	9.2	0.8	3.8	86.2	10.0
女性年齢別	10代	9	55.6	22.2	22.2	-	-	77.8	22.2
	20代	58	62.1	34.5	3.4	-	-	96.6	3.4
	30代	98	59.2	32.7	6.1	-	2.0	91.9	6.1
	40代	121	61.2	33.1	3.3	1.7	0.8	94.3	5.0
	50代	126	71.4	27.0	0.8	-	0.8	98.4	0.8
	60代	127	75.6	18.9	3.9	-	1.6	94.5	3.9
	70代以上	211	69.2	24.2	2.4	0.9	3.3	93.4	3.3
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	0.0
関心度別の食育への	関心がある	939	65.9	27.7	4.4	0.7	1.3	93.6	5.1
	関心がない	200	52.5	33.5	10.5	2.5	1.0	86.0	13.0
	知らない	76	44.7	31.6	14.5	5.3	3.9	76.3	19.8
	無回答	25	52.0	28.0	-	-	20.0	80.0	0.0

③ 生肉や生魚を扱った包丁などの器具は専用のものを使うかよく洗うこと

- 性別にみると、女性では『実践している』が94.4%と、男性81.0%より高くなっている。
- 男性年齢別にみると、50代、70代以上で『実践している』が7割台と他の年齢層に比べ低くなっている。
- 女性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が9割台となっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『実践している』が92.5%と、関心のない人(82.5%)、知らない人(72.3%)よりも高くなっている。

単位：%

		サンプル数	いつも実践している	時々実践している	あまり実践していない	ほとんど実践していない	無回答	『実践している』	『実践していない』
全 体		1240	73.4	15.8	6.5	2.4	1.9	89.2	8.9
性別	男性	451	59.0	22.0	12.4	3.8	2.9	81.0	16.2
	女性	751	82.0	12.4	2.9	1.6	1.1	94.4	4.5
	その他	5	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	69.7	12.1	9.1	3.0	6.1	81.8	12.1
男性年齢別	10代	8	50.0	25.0	12.5	12.5	-	75.0	25.0
	20代	33	72.7	21.2	3.0	3.0	-	93.9	6.0
	30代	43	72.1	11.6	7.0	9.3	-	83.7	16.3
	40代	69	66.7	23.2	5.8	4.3	-	89.9	10.1
	50代	79	51.9	25.3	17.7	5.1	-	77.2	22.8
	60代	88	52.3	29.5	12.5	3.4	2.3	81.8	15.9
	70代以上	131	56.5	17.6	16.8	0.8	8.4	74.1	17.6
女性年齢別	10代	9	55.6	33.3	11.1	-	-	88.9	11.1
	20代	58	74.1	19.0	5.2	1.7	-	93.1	6.9
	30代	98	81.6	12.2	3.1	2.0	1.0	93.8	5.1
	40代	121	79.3	13.2	4.1	2.5	0.8	92.5	6.6
	50代	126	85.7	12.7	0.8	-	0.8	98.4	0.8
	60代	127	87.4	8.7	1.6	1.6	0.8	96.1	3.2
	70代以上	211	81.5	11.4	3.3	1.9	1.9	92.9	5.2
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
関心度別の食育への	関心がある	939	78.7	13.8	5.0	1.2	1.3	92.5	6.2
	関心がない	200	59.5	23.0	9.0	7.0	1.5	82.5	16.0
	知らない	76	52.6	19.7	17.1	6.6	3.9	72.3	23.7
	無回答	25	48.0	20.0	12.0	-	20.0	68.0	12.0

④ 生肉、生魚、卵をさわった後は、しっかり手を洗うこと

- 性別にみると、女性では『実践している』が96.1%と、男性87.6%より高くなっている。
- 男性年齢別にみると、60代以上で『実践している』が7～8割台と他の年齢層に比べ低くなっている。
- 女性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が9割台となっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『実践している』が95.7%と、関心のない人(86.5%)、知らない人(79.0%)よりも高くなっている。

単位：%

		サンプル数	いつも実践している	時々実践している	あまり実践していない	ほとんど実践していない	無回答	『実践している』	『実践していない』
全 体		1240	76.9	15.8	4.2	1.4	1.8	92.7	5.6
性別	男性	451	64.5	23.1	8.2	1.6	2.7	87.6	9.8
	女性	751	84.6	11.5	2.0	0.9	1.1	96.1	2.9
	その他	5	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	66.7	18.2	-	9.1	6.1	84.9	9.1
男性年齢別	10代	8	37.5	37.5	12.5	12.5	-	75.0	25.0
	20代	33	81.8	12.1	6.1	-	-	93.9	6.1
	30代	43	67.4	25.6	7.0	-	-	93.0	7.0
	40代	69	69.6	21.7	8.7	-	-	91.3	8.7
	50代	79	64.6	27.8	3.8	3.8	-	92.4	7.6
	60代	88	59.1	29.5	8.0	1.1	2.3	88.6	9.1
	70代以上	131	61.8	17.6	11.5	1.5	7.6	79.4	13.0
女性年齢別	10代	9	77.8	22.2	-	-	-	100.0	0.0
	20代	58	79.3	17.2	1.7	1.7	-	96.5	3.4
	30代	98	85.7	10.2	1.0	1.0	2.0	95.9	2.0
	40代	121	86.8	10.7	1.7	-	0.8	97.5	1.7
	50代	126	84.9	14.3	-	-	0.8	99.2	0.0
	60代	127	87.4	7.1	2.4	2.4	0.8	94.5	4.8
	70代以上	211	82.5	11.4	3.8	0.9	1.4	93.9	4.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
関心度別の食育への	関心がある	939	81.3	14.4	2.2	0.9	1.3	95.7	3.1
	関心がない	200	67.5	19.0	9.5	2.5	1.5	86.5	12.0
	知らない	76	56.6	22.4	13.2	5.3	2.6	79.0	18.5
	無回答	25	48.0	24.0	8.0	-	20.0	72.0	8.0

⑤ 料理は、長時間、室内で放置しないこと

- 性別にみると、女性では『実践している』が96.2%と、男性89.8%より高くなっている。
- 男性年齢別にみると、40代、60代、70代以上で『実践している』が8割台と他の年齢層に比べ低くなっている。
- 女性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が9割台となっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『実践している』が95.9%と、関心のない人(88.0%)、知らない人(84.2%)よりも高くなっている。

単位：%

		サンプル数	いつも実践している	時々実践している	あまり実践していない	ほとんど実践していない	無回答	『実践している』	『実践していない』
全 体		1240	73.0	20.6	3.8	0.9	1.8	93.6	4.7
性別	男性	451	65.9	23.9	6.7	1.3	2.2	89.8	8.0
	女性	751	77.4	18.8	2.1	0.5	1.2	96.2	2.6
	その他	5	80.0	20.0	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	69.7	15.2	3.0	3.0	9.1	84.9	6.0
男性年齢別	10代	8	37.5	25.0	25.0	12.5	-	62.5	37.5
	20代	33	72.7	24.2	3.0	-	-	96.9	3.0
	30代	43	58.1	32.6	7.0	2.3	-	90.7	9.3
	40代	69	63.8	26.1	10.1	-	-	89.9	10.1
	50代	79	69.6	22.8	5.1	2.5	-	92.4	7.6
	60代	88	61.4	26.1	9.1	2.3	1.1	87.5	11.4
	70代以上	131	70.2	19.1	3.8	-	6.9	89.3	3.8
女性年齢別	10代	9	88.9	11.1	-	-	-	100.0	0.0
	20代	58	74.1	24.1	1.7	-	-	98.2	1.7
	30代	98	74.5	20.4	2.0	1.0	2.0	94.9	3.0
	40代	121	73.6	24.8	0.8	-	0.8	98.4	0.8
	50代	126	71.4	23.0	4.8	-	0.8	94.4	4.8
	60代	127	85.0	11.8	1.6	0.8	0.8	96.8	2.4
	70代以上	211	80.1	15.2	1.9	0.9	1.9	95.3	2.8
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
関心度別の食育への	関心がある	939	76.5	19.4	2.6	0.2	1.4	95.9	2.8
	関心がない	200	64.0	24.0	8.0	2.5	1.5	88.0	10.5
	知らない	76	61.8	22.4	9.2	5.3	1.3	84.2	14.5
	無回答	25	48.0	32.0	-	-	20.0	80.0	0.0

⑥ 生の状態や加熱が不十分な状態で肉を食べないこと

- 性別にみると、女性では「いつも実践している」が92.7%と、男性81.8%より高く、男性では「時々実践している」が14.0%と、女性4.8%より高くなっている。
- 男性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が9割台となっている。
- 女性年齢別にみると、全ての年齢層で『実践している』が9割台となっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では「いつも実践している」が91.3%と、関心のない人（85.5%）、知らない人（71.1%）よりも高くなっている。

単位：%

		サンプル数	いつも実践している	時々実践している	あまり実践していない	ほとんど実践していない	無回答	『実践している』	『実践していない』
全 体		1240	88.5	8.1	1.2	0.5	1.7	96.6	1.7
性別	男性	451	81.8	14.0	2.0	0.9	1.3	95.8	2.9
	女性	751	92.7	4.8	0.5	0.3	1.7	97.5	0.8
	その他	5	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	81.8	6.1	6.1	-	6.1	87.9	6.1
男性年齢別	10代	8	75.0	25.0	-	-	-	100.0	0.0
	20代	33	97.0	3.0	-	-	-	100.0	0.0
	30代	43	81.4	16.3	-	2.3	-	97.7	2.3
	40代	69	76.8	18.8	4.3	-	-	95.6	4.3
	50代	79	81.0	13.9	2.5	2.5	-	94.9	5.0
	60代	88	75.0	21.6	1.1	1.1	1.1	96.6	2.2
	70代以上	131	86.3	7.6	2.3	-	3.8	93.9	2.3
女性年齢別	10代	9	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
	20代	58	89.7	8.6	1.7	-	-	98.3	1.7
	30代	98	91.8	5.1	1.0	-	2.0	96.9	1.0
	40代	121	92.6	6.6	-	-	0.8	99.2	0.0
	50代	126	91.3	6.3	1.6	-	0.8	97.6	1.6
	60代	127	94.5	4.7	-	-	0.8	99.2	0.0
	70代以上	211	93.4	1.9	-	0.9	3.8	95.3	0.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
食育への関心度別	関心がある	939	91.3	6.7	0.9	-	1.2	98.0	0.9
	関心がない	200	85.5	11.5	1.5	0.5	1.0	97.0	2.0
	知らない	76	71.1	13.2	5.3	6.6	3.9	84.3	11.9
	無回答	25	60.0	20.0	-	-	20.0	80.0	0.0

⑦ 食事の前に、しっかりと手を洗うこと

- 性別にみると、女性では『実践している』が93.6%と、男性86.7%より高くなっている。
- 男性年齢別にみると、30代で『実践している』が9割台と多くなっている。
- 女性年齢別にみると、30代で『実践している』が8割台と少なくなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『実践している』が93.8%と、関心のない人(84.5%)、知らない人(79.0%)よりも高くなっている。

単位：%

		サンプル数	いつも実践している	時々実践している	あまり実践していない	ほとんど実践していない	無回答	『実践している』	『実践していない』
全 体		1240	69.0	22.0	6.2	1.4	1.5	91.0	7.6
性別	男性	451	60.1	26.6	9.1	2.4	1.8	86.7	11.5
	女性	751	73.8	19.8	4.7	0.7	1.1	93.6	5.4
	その他	5	80.0	20.0	-	-	-	100.0	0.0
	無回答	33	78.8	9.1	3.0	3.0	6.1	87.9	6.0
男性年齢別	10代	8	62.5	12.5	12.5	12.5	-	75.0	25.0
	20代	33	63.6	24.2	9.1	3.0	-	87.8	12.1
	30代	43	62.8	30.2	4.7	2.3	-	93.0	7.0
	40代	69	53.6	31.9	8.7	4.3	1.4	85.5	13.0
	50代	79	54.4	27.8	15.2	2.5	-	82.2	17.7
	60代	88	56.8	28.4	10.2	3.4	1.1	85.2	13.6
	70代以上	131	67.2	22.1	6.1	-	4.6	89.3	6.1
女性年齢別	10代	9	77.8	22.2	-	-	-	100.0	0.0
	20代	58	69.0	24.1	3.4	3.4	-	93.1	6.8
	30代	98	71.4	18.4	7.1	1.0	2.0	89.8	8.1
	40代	121	73.6	22.3	3.3	-	0.8	95.9	3.3
	50代	126	70.6	23.8	4.8	-	0.8	94.4	4.8
	60代	127	75.6	16.5	6.3	0.8	0.8	92.1	7.1
	70代以上	211	76.8	17.5	3.8	0.5	1.4	94.3	4.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
関心度別の	関心がある	939	72.5	21.3	4.6	0.5	1.1	93.8	5.1
	関心がない	200	58.0	26.5	11.0	3.5	1.0	84.5	14.5
	知らない	76	55.3	23.7	13.2	6.6	1.3	79.0	19.8
	無回答	25	64.0	8.0	8.0	-	20.0	72.0	8.0

8 地産地消について

(1) 農水産物の入手経路

問 16 あなたはふだん野菜や魚などの農水産物をどこで入手しますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

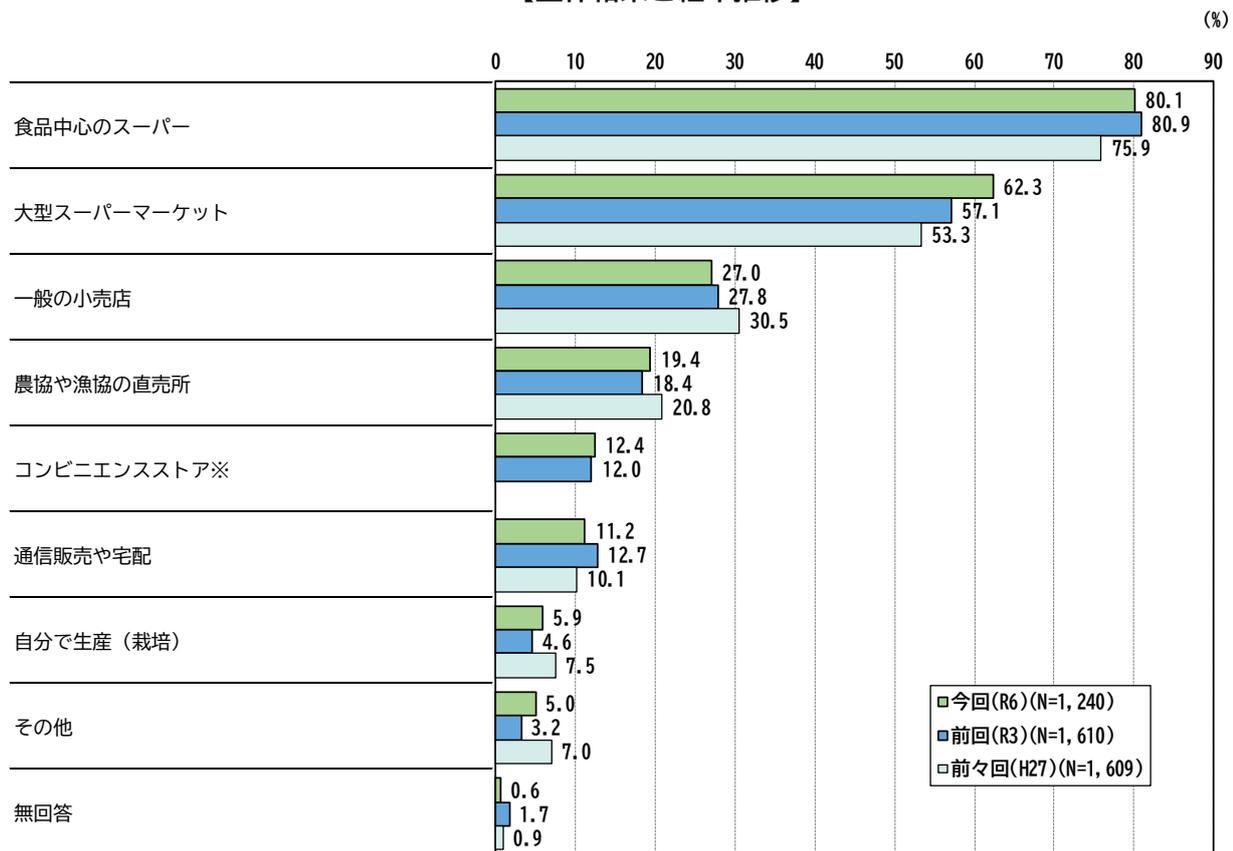
■全体結果

野菜や魚などの農水産物の入手先としては、「食品中心のスーパー」が80.1%と最も高い。次いで「大型スーパーマーケット」が62.3%の順となっている。

■経年推移

「大型スーパーマーケット」（前々回 53.3%、前回 57.1%、今回 62.3%）は増加傾向にあるが、「一般小売店」（前々回 30.5%、前回 27.8%、今回 27.0%）は減少傾向にある。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、20代では「一般の小売店」（15.2%）が他の年齢層に比べ低く、60代で「農協や漁協の直売所」（26.5%）が他の年齢層に比べ高くなっている。
- 居住区別にみると、西区で「大型スーパーマーケット」（71.0%）、中央区で「一般の小売店」（35.4%）が他の居住区に比べ高くなっている。

【属性別農水産物の入手経路】

単位：%

		サンプル数	食品中心のスーパー	大型スーパーマーケット	一般の小売店	農協や漁協の直売所	コンビニエンスストア	通信販売や宅配	自分で生産（栽培）	その他	無回答
全体		1240	80.1	62.3	27.0	19.4	12.4	11.2	5.9	5.0	0.6
性別	男性	451	76.7	62.5	23.7	18.4	15.5	10.0	4.2	3.1	0.2
	女性	751	82.2	62.1	28.8	20.4	10.4	11.6	7.1	6.1	0.8
	その他	5	80.0	60.0	60.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-
	無回答	33	78.8	63.6	27.3	9.1	18.2	18.2	-	6.1	3.0
年齢別	10代	17	82.4	41.2	5.9	5.9	-	-	-	11.8	-
	20代	92	80.4	63.0	15.2	8.7	12.0	7.6	1.1	4.3	-
	30代	145	82.1	64.8	26.2	13.1	12.4	13.8	0.7	2.8	0.7
	40代	196	84.2	61.7	30.1	21.4	12.2	15.3	4.6	3.1	-
	50代	210	83.3	61.9	31.9	21.0	13.8	9.5	4.3	5.7	0.5
	60代	219	79.9	65.3	25.6	26.5	10.0	10.5	10.5	6.4	-
	70代以上	352	74.7	61.6	27.8	19.6	13.4	10.8	8.5	5.7	1.4
	無回答	9	88.9	22.2	22.2	-	33.3	11.1	-	-	11.1
居住区別	東区	287	78.7	64.5	28.2	17.8	10.5	10.1	7.0	7.0	0.7
	博多区	154	79.2	68.2	24.0	16.2	16.2	12.3	5.2	4.5	0.6
	中央区	158	79.1	56.3	35.4	15.2	12.0	13.9	1.3	7.0	-
	南区	208	83.7	57.7	29.3	22.1	14.9	10.6	4.8	1.9	-
	城南区	100	80.0	56.0	23.0	17.0	12.0	11.0	6.0	5.0	1.0
	早良区	178	83.1	61.2	27.0	23.6	9.0	11.2	6.7	5.1	0.6
	西区	145	76.6	71.0	17.9	24.1	11.0	9.0	10.3	4.1	1.4
	無回答	10	70.0	50.0	30.0	10.0	50.0	30.0	-	-	10.0

(2) 農水産物は市内産や県内産を買うようにしているか

問 17 あなたはふだん野菜や魚などの農水産物について、なるべく福岡市内産や福岡県内産のものをかうようにしていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

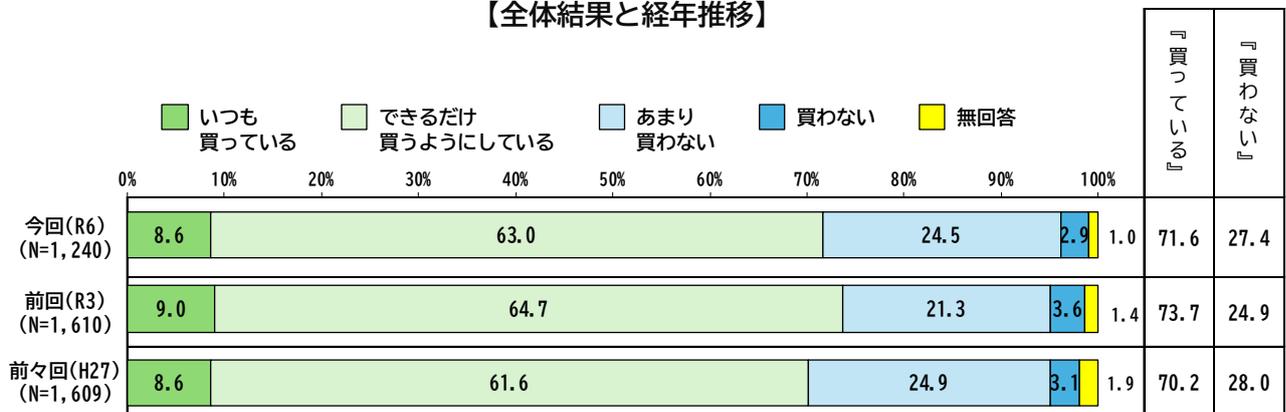
■全体結果

福岡市内産や福岡県内産の野菜や魚などの農水産物の購入については、「いつも買っている」が8.6%、「できるだけかうようにしている」が63.0%、合計した『買っている』は71.6%となっている。一方、『買わない』は27.4%（「買わない」2.9%+「あまり買わない」24.5%）となっている。

■経年推移

『買っている』が前々回70.2%、前回73.7%、今回71.6%となっており、大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



(注1) 『買っている』 = 「いつも買っている」 + 「できるだけかうようにしている」

(注2) 『買わない』 = 「買わない」 + 「あまり買わない」

■属性別特徴

- 性別にみると、女性では『買っている』が75.5%と、男性65.7%より高くなっている。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど『買っている』が高くなっており、50代・60代は7割台、70歳以上は8割台となっている。
- 男性年齢別にみると、年齢が上がるほど『買っている』が高くなっており、60代は7割台、70歳以上は8割台となっている。
- 女性年齢別にみると、年齢が上がるほど『買っている』が高くなっており、50代・60代は8割台、70歳以上は9割台となっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では『買っている』が76.5%と、関心のない人(54.5%)、知らない人(52.6%)よりも高くなっている。

【属性別農水産物は市内産や県内産を買うようにしているか】

単位：%

		サンプル数	いつも買っている	できるだけ買おうようにしている	あまり買わない	買わない	無回答	『買っている』	『買わない』
全 体		1240	8.6	63.0	24.5	2.9	1.0	71.6	27.4
性別	男性	451	6.9	58.8	29.7	4.7	-	65.7	34.4
	女性	751	9.6	65.9	21.6	2.0	0.9	75.5	23.6
	その他	5	-	40.0	60.0	-	-	40.0	60.0
	無回答	33	12.1	57.6	15.2	-	15.2		
年齢別	10代	17	5.9	23.5	58.8	11.8	-	29.4	70.6
	20代	92	3.3	40.2	45.7	10.9	-	43.5	56.6
	30代	145	1.4	48.3	44.1	6.2	-	49.7	50.3
	40代	196	4.6	60.2	32.1	2.6	0.5	64.8	34.7
	50代	210	6.7	68.6	22.9	1.9	-	75.3	24.8
	60代	219	7.3	71.7	19.6	0.9	0.5	79.0	20.5
	70代以上	352	17.3	70.7	9.4	1.1	1.4	88.0	10.5
	無回答	9	11.1	22.2	11.1	-	55.6	33.3	11.1
男性年齢別	10代	8	12.5	25.0	62.5	-	-	37.5	62.5
	20代	33	6.1	39.4	42.4	12.1	-	45.5	54.5
	30代	43	-	44.2	39.5	16.3	-	44.2	55.8
	40代	69	4.3	49.3	42.0	4.3	-	53.6	46.3
	50代	79	2.5	62.0	30.4	5.1	-	64.5	35.5
	60代	88	3.4	67.0	27.3	2.3	-	70.4	29.6
	70代以上	131	15.3	67.9	16.0	0.8	-	83.2	16.8
女性年齢別	10代	9	-	22.2	55.6	22.2	-	22.2	77.8
	20代	58	1.7	41.4	46.6	10.3	-	43.1	56.9
	30代	98	2.0	51.0	44.9	2.0	-	53.0	46.9
	40代	121	5.0	64.5	28.1	1.7	0.8	69.5	29.8
	50代	126	9.5	72.2	18.3	-	-	81.7	18.3
	60代	127	10.2	74.8	14.2	-	0.8	85.0	14.2
	70代以上	211	18.0	73.0	5.2	1.4	2.4	91.0	6.6
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	0.0
関食 心度 への 別	関心がある	939	9.6	66.9	21.8	1.2	0.5	76.5	23.0
	関心がない	200	5.0	49.5	35.0	8.5	2.0	54.5	43.5
	知らない	76	2.6	50.0	36.8	10.5	-	52.6	47.3
	無回答	25	20.0	64.0	4.0	-	12.0	84.0	4.0

(3) 市内産や県内産のものを買わない理由

問 17-2 <<問 17 で「3」「4」と回答した方にお尋ねします。>>

福岡市内産や福岡県内産のものを買わない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

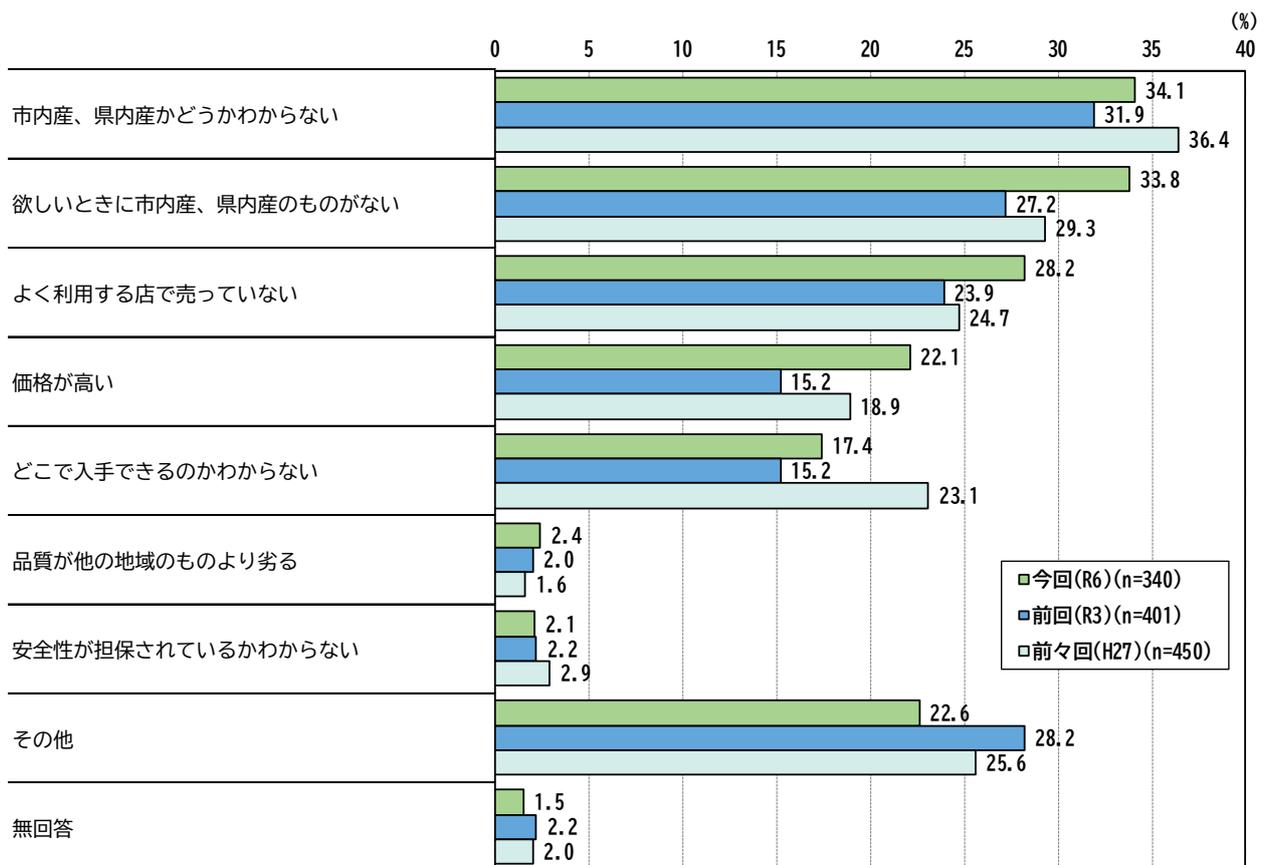
■全体結果

福岡市内産や福岡県内産のものを買わない理由としては、「市内産、県内産かどうかわからない」が 34.1%と最も高い。次いで「欲しいときに市内産、県内産のものがない」が 33.8%、「よく利用する店で売っていない」が 28.2%、「価格が高い」が 22.1%の順となっている。

■経年推移

前回から今回にかけて増加幅が大きいのは、「欲しいときに市内産、県内産のものがない」、「価格が高い」である。また、「どこで入手できるかわからない」は前々回から前回・今回にかけて減少幅が他の項目と比べ大きくなっている。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別にみると、女性では「欲しいときに市内産、県内産のものがない」が39.5%と、男性27.1%より高くなっている。
- 年齢別にみると、50代、70代以上では「市内産、県内産かどうかわからない」、60代では「欲しいときに市内産、県内産のものがない」が5割台と他の年齢層に比べ高くなっている。

【属性別市内産や県内産のものを買わない理由】

単位：%

		サンプル数	市内産、 県内産か どうか わからない	欲しい ときに 市内 産、 県 内 産 の もの が ない	よく 利用 する 店 で 売 っ て い な い	価 格 が 高 い	ど こ で 入 手 で き る の か わ ら な い	品 質 が 他 の 地 域 の もの よ り 劣 る	安 全 性 が 担 保 さ れ て い る か わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体		340	34.1	33.8	28.2	22.1	17.4	2.4	2.1	22.6	1.5
性別	男性	155	36.1	27.1	25.2	18.7	20.0	2.6	2.6	23.9	1.9
	女性	177	33.3	39.5	31.6	24.3	15.3	1.1	1.7	21.5	1.1
	その他	3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	66.7	-
	無回答	5	20.0	40.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-
年齢別	10代	12	16.7	25.0	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	25.0	8.3
	20代	52	25.0	28.8	26.9	15.4	28.8	-	-	23.1	-
	30代	73	28.8	31.5	30.1	24.7	16.4	2.7	2.7	23.3	-
	40代	68	35.3	26.5	26.5	33.8	13.2	1.5	1.5	23.5	1.5
	50代	52	50.0	36.5	34.6	11.5	13.5	3.8	-	23.1	1.9
	60代	45	24.4	55.6	35.6	20.0	11.1	-	4.4	22.2	4.4
	70代以上	37	51.4	32.4	13.5	24.3	24.3	2.7	2.7	18.9	-
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
男性年齢別	10代	5	40.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-
	20代	18	16.7	22.2	27.8	16.7	44.4	-	-	22.2	-
	30代	24	25.0	20.8	8.3	25.0	20.8	4.2	-	29.2	-
	40代	32	40.6	15.6	21.9	25.0	15.6	3.1	3.1	21.9	3.1
	50代	28	53.6	32.1	39.3	14.3	14.3	-	-	21.4	3.6
	60代	26	26.9	46.2	30.8	11.5	11.5	-	7.7	30.8	3.8
	70代以上	22	45.5	27.3	18.2	22.7	22.7	4.5	-	18.2	-
女性年齢別	10代	7	-	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	28.6	14.3
	20代	33	30.3	33.3	27.3	15.2	21.2	-	-	21.2	-
	30代	46	32.6	34.8	41.3	26.1	13.0	-	4.3	19.6	-
	40代	36	30.6	36.1	30.6	41.7	11.1	-	-	25.0	-
	50代	23	47.8	39.1	30.4	8.7	13.0	8.7	-	26.1	-
	60代	18	22.2	72.2	44.4	27.8	11.1	-	-	11.1	5.6
	70代以上	14	57.1	42.9	7.1	21.4	28.6	-	7.1	21.4	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

9 農林漁業体験について

(1) 自分や家族で農林漁業体験に参加した人の有無

問 18 これまで、あなたまたはあなたの家族の中で、農林漁業体験に参加したことがある人はいますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

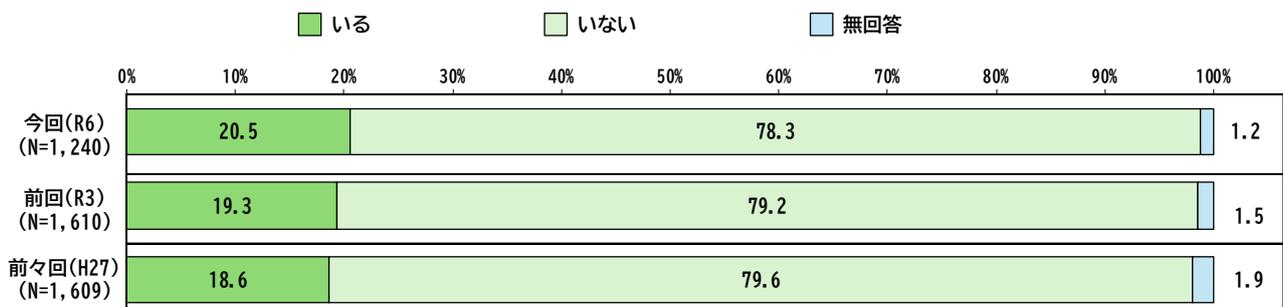
■全体結果

自身も含め家族が農林漁業体験に参加した経験としては、「いる」が 20.5%、「いない」が 78.3%となっている。

■経年推移

「いる」は、前々回 18.6%、前回 19.3%、今回 20.5%と増加傾向にある。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別にみると、男性で「いる」が 25.9%と、女性 17.8%より高くなっている。
- 年齢別にみると、20代で「いる」が 31.5%と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 男性年齢別にみると、20代・30代で「いる」が3割台と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 女性年齢別にみると、20代で「いる」が 29.3%と他の年齢層に比べ高くなっている。
- 食育への関心度別にみると、関心のある人では「いる」が 22.6%と、関心のない人 (15.0%)、知らない人 (11.8%) よりも高くなっている。

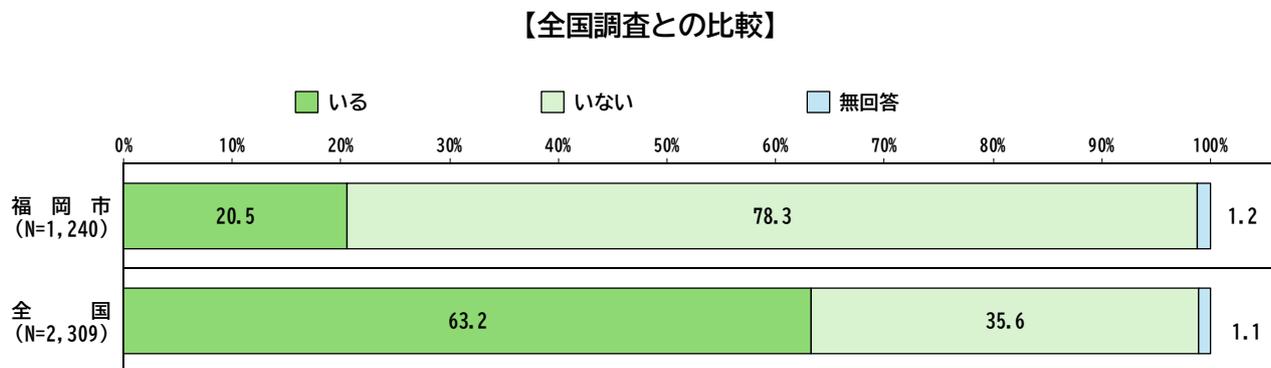
【属性別自分や家族で農林漁業体験に参加した人の有無】

単位：%

		サンプル数	いる	いない	無回答
全 体		1240	20.5	78.3	1.2
性別	男性	451	25.9	73.4	0.7
	女性	751	17.8	81.2	0.9
	その他	5	-	100.0	-
	無回答	33	9.1	75.8	15.2
年齢別	10代	17	23.5	76.5	-
	20代	92	31.5	68.5	-
	30代	145	23.4	76.6	-
	40代	196	23.5	76.0	0.5
	50代	210	22.9	76.7	0.5
	60代	219	19.2	79.9	0.9
	70代以上	352	14.5	83.8	1.7
	無回答	9	-	44.4	55.6
男性年齢別	10代	8	37.5	62.5	-
	20代	33	36.4	63.6	-
	30代	43	32.6	67.4	-
	40代	69	27.5	71.0	1.4
	50代	79	27.8	72.2	-
	60代	88	22.7	76.1	1.1
	70代以上	131	20.6	78.6	0.8
女性年齢別	10代	9	11.1	88.9	-
	20代	58	29.3	70.7	-
	30代	98	20.4	79.6	-
	40代	121	20.7	79.3	-
	50代	126	20.6	78.6	0.8
	60代	127	17.3	81.9	0.8
	70代以上	211	10.9	86.7	2.4
	無回答	1	-	100.0	-
食育への関心度別	関心がある	939	22.6	76.6	0.9
	関心がない	200	15.0	84.0	1.0
	知らない	76	11.8	84.2	3.9
	無回答	25	12.0	80.0	8.0

《全国調査との比較》

全国調査と比較すると、「いる」は、福岡市では20.5%、全国では63.2%となっており、全国の方が42.7ポイント高くなっている。



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問20 これまで、あなた又はあなたの家族の中で、田植え（種まき）、稲刈り、野菜の収穫、家畜の世話など農林漁業体験に参加したことがある人はいますか。（○は1つだけ）

10 食に関する情報への関心について

(1) 食に関する情報で関心があるもの

問 19 あなたは食に関するどのような情報に関心がありますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

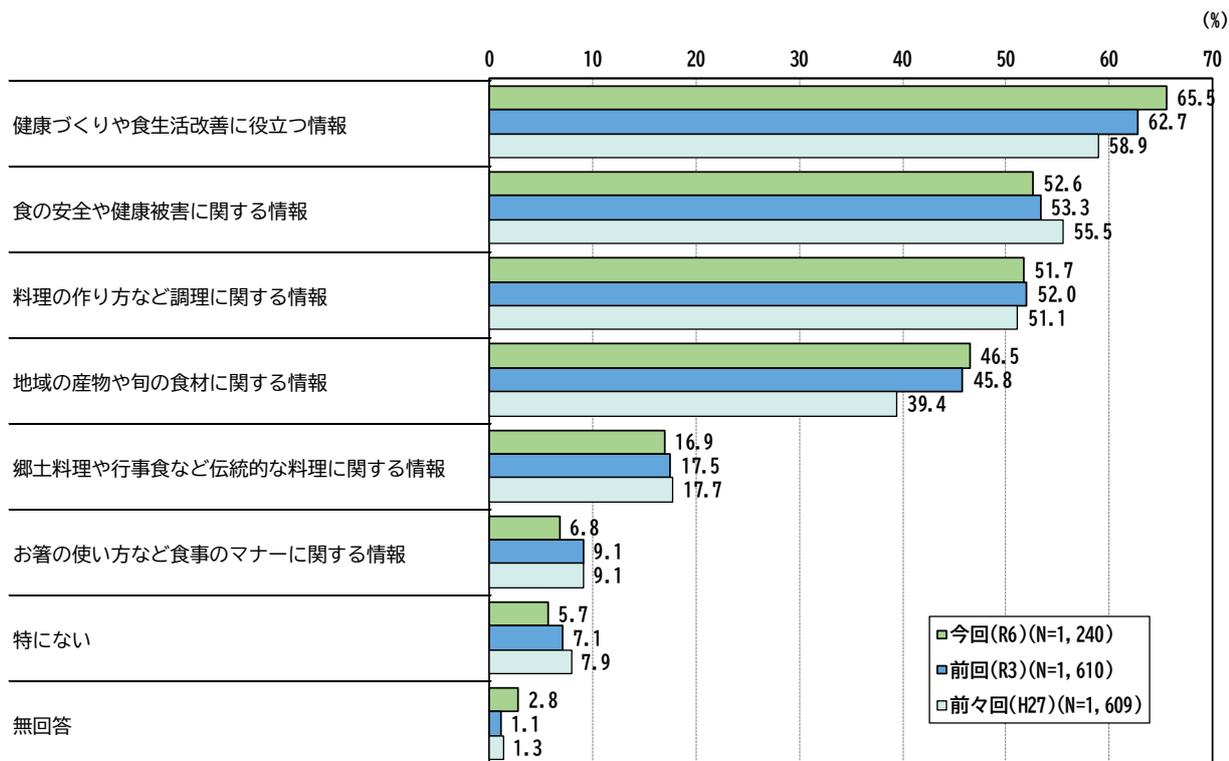
■全体結果

関心がある食に関する情報としては、「健康づくりや食生活改善に役立つ情報」が65.5%と最も高い。次いで「食の安全や健康被害に関する情報」が52.6%、「料理の作り方など調理に関する情報」が51.7%、「地域の産物や旬の食材に関する情報」が46.5%の順となっている。

■経年推移

「健康づくりや食生活改善に役立つ情報」（前々回 58.9%、前回 62.7%、今回 65.5%）、「地域の産物や旬の食材に関する情報」（前々回 39.4%、前回 45.8%、今回 46.5%）は増加傾向にあり、「食の安全や健康被害に関する情報」（前々回 55.5%、前回 53.3%、今回 52.6%）、「郷土料理や行事食など伝統的な料理に関する情報」（前々回 17.7%、前回 17.5%、今回 16.9%）、「特にない」（前々回 7.9%、前回 7.1%、今回 5.7%）は減少傾向にある。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別にみると、女性では「料理の作り方など調理に関する情報」が 59.5%と、男性 39.9%より高くなっている。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど「食の安全や健康被害に関する情報」が高くなっている。
- 男性年齢別にみると、20代で「健康づくりや食生活改善に役立つ情報」(72.7%)、「料理の作り方など調理に関する情報」(57.6%)が他の年齢層に比べ高くなっている。また、年齢が上がるほど「食の安全や健康被害に関する情報」が高くなる傾向がみられる。
- 女性年齢別にみると、40代、60代で「健康づくりや食生活改善に役立つ情報」が7割台と、他の年齢層に比べ高くなっている

【属性別食に関する情報で関心があるもの】

単位：%

		サンプル数	健康づくりに役立つ情報	食の安全や健康被害に関する情報	料理の作り方など調理に関する情報	地域の産物や旬の食材に関する情報	郷土料理や行事に関する情報	お箸の使い方など食事のマナーに関する情報	特になし	無回答
全体		1240	65.5	52.6	51.7	46.5	16.9	6.8	5.7	2.8
性別	男性	451	64.5	51.7	39.9	45.5	18.2	6.7	9.1	2.2
	女性	751	66.8	53.4	59.5	47.4	16.0	6.4	3.9	2.7
	その他	5	40.0	40.0	60.0	40.0	60.0	-	-	-
	無回答	33	51.5	48.5	33.3	39.4	15.2	18.2	3.0	15.2
年齢別	10代	17	47.1	41.2	47.1	23.5	11.8	11.8	17.6	5.9
	20代	92	69.6	39.1	57.6	38.0	19.6	8.7	7.6	2.2
	30代	145	58.6	42.8	55.2	51.0	21.4	11.0	4.8	3.4
	40代	196	66.3	42.9	53.1	41.8	18.4	14.3	5.6	3.1
	50代	210	67.1	51.4	48.1	49.5	23.8	7.1	4.3	2.4
	60代	219	68.9	52.1	49.8	53.9	15.5	1.8	5.5	0.9
	70代以上	352	65.6	67.3	52.3	44.9	11.1	3.1	6.3	2.6
	無回答	9	22.2	44.4	22.2	11.1	-	-	-	55.6
男性年齢別	10代	8	37.5	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	37.5	-
	20代	33	72.7	42.4	57.6	36.4	21.2	9.1	9.1	-
	30代	43	67.4	30.2	48.8	55.8	27.9	14.0	7.0	2.3
	40代	69	56.5	42.0	39.1	37.7	17.4	14.5	10.1	4.3
	50代	79	68.4	51.9	38.0	43.0	26.6	1.3	7.6	5.1
	60代	88	67.0	54.5	34.1	54.5	12.5	1.1	9.1	1.1
	70代以上	131	63.4	66.4	38.2	44.3	13.0	6.1	8.4	0.8
女性年齢別	10代	9	55.6	66.7	55.6	11.1	-	11.1	-	11.1
	20代	58	69.0	37.9	58.6	37.9	17.2	8.6	6.9	3.4
	30代	98	54.1	46.9	59.2	49.0	18.4	9.2	4.1	4.1
	40代	121	72.7	44.6	61.2	44.6	19.0	13.2	2.5	2.5
	50代	126	65.9	52.4	55.6	54.0	21.4	8.7	2.4	0.8
	60代	127	70.9	50.4	60.6	54.3	17.3	2.4	3.1	0.8
	70代以上	211	67.8	67.3	61.1	44.5	9.5	1.4	5.2	3.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-

11 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 食生活の質の低下や、食費を切り詰めざるを得なかった状況の有無

問 20 新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの食生活の質が低下したり、食費を切り詰めざるを得なかったりした状況はありましたか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

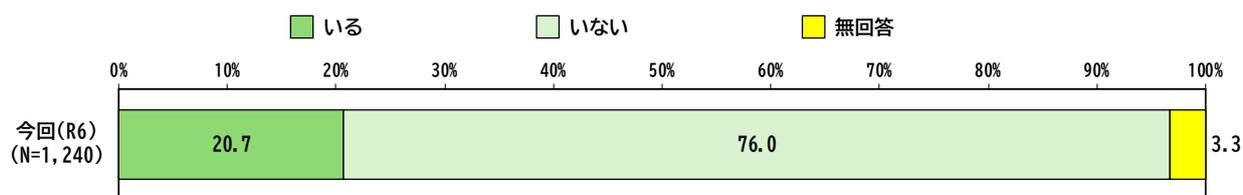
■全体結果

新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでの食生活の質が低下したり、食費を切り詰めざるを得なかったりした状況としては、「いる」が20.7%、「いない」が76.0%となっている。

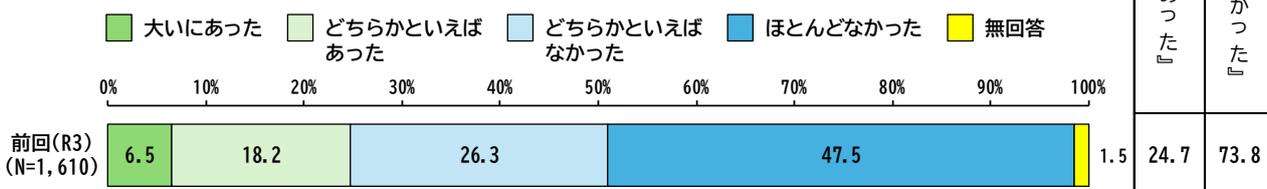
■経年推移

「いる（前回『あった』）」は、前回の24.7%から20.7%に減少している。

【全体結果と経年推移】



《前回 (R3)》



(注1) 『あった』 = 「大いにあった」 + 「どちらかといえばあった」

(注2) 『なかった』 = 「ほとんどなかった」 + 「どちらかといえばなかった」

■属性別特徴

- 性別にみると、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、30代、40代で「いる」が他の年齢層に比べ高くなっている。
- 男性年齢別にみると、大きな差はみられない。
- 女性年齢別にみると、30代、40代で「いる」が他の年齢層に比べ高くなっている。

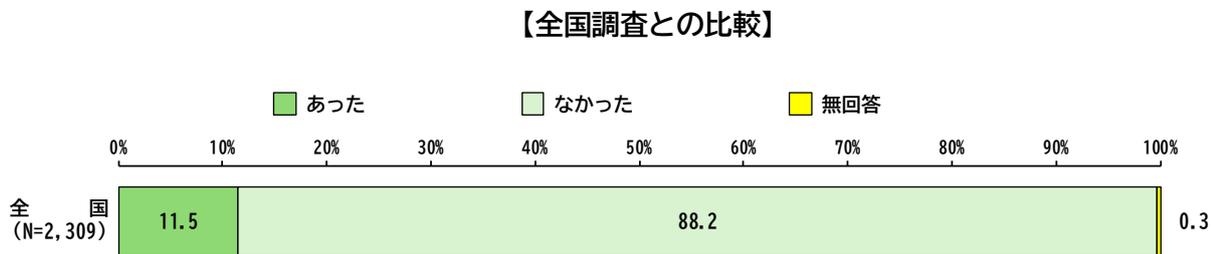
【属性別食生活の質の低下や、食費を切り詰めざるを得なかった状況の有無】

単位：%

		サンプル数	いる	いない	無回答
全 体		1240	20.7	76.0	3.3
性別	男性	451	20.4	77.4	2.2
	女性	751	21.2	75.6	3.2
	その他	5	20.0	60.0	20.0
	無回答	33	15.2	66.7	18.2
年齢別	10代	17	23.5	70.6	5.9
	20代	92	23.9	76.1	-
	30代	145	26.9	72.4	0.7
	40代	196	27.6	71.4	1.0
	50代	210	21.4	77.6	1.0
	60代	219	19.2	78.1	2.7
	70代以上	352	14.2	79.0	6.8
	無回答	9	11.1	33.3	55.6
男性年齢別	10代	8	12.5	87.5	-
	20代	33	21.2	78.8	-
	30代	43	18.6	79.1	2.3
	40代	69	24.6	73.9	1.4
	50代	79	20.3	79.7	-
	60代	88	22.7	73.9	3.4
	70代以上	131	17.6	78.6	3.8
女性年齢別	10代	9	33.3	55.6	11.1
	20代	58	25.9	74.1	-
	30代	98	29.6	70.4	-
	40代	121	29.8	70.2	-
	50代	126	22.2	77.0	0.8
	60代	127	17.3	80.3	2.4
	70代以上	211	11.8	79.1	9.0
	無回答	1	100.0	-	-

《全国調査との比較》

全国調査とは、質問内容、選択肢が異なるが、回答内容に類似するものがあるため、参考資料として下図に示す。



※全国調査 出典 令和5年度 食育に関する意識調査（農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課）

全国調査質問 問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、家族が必要とする食料（菓子などの嗜好品は除く）を経済的な理由で購入できないことがありましたか。（○は1つだけ）